optimus X
IS11LG

取扱説明書（詳細版）’12.04

ごあいさつ

このたびは、IS11LGをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』（本体付属品）または『取扱説明書（詳細版）』をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切保管してください。『取扱説明書』（本体付属品）を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

『取扱説明書』（本体付属品）では、主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本書またはIS11LG内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』をご参照ください。

■ 取扱説明書アプリケーション

IS11LGでは、au電話本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［取扱説明書］

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ 取扱説明書ダウンロード

『取扱説明書』（本体付属品）、『設定ガイド』、『取扱説明書（詳細版）』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

IS11LGをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

IS11LGをご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動させると、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGはデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- IS11LGは電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、CDMA方式は通信上の高い秘匿機能を備えております。）
- IS11LGは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- IS11LGは電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査をお受けいただく場合があり、その際にはお使いのIS11LGを一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入し、電源を入れたときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。

■マナーも携帯！

- 電源をいれておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでご使用の際は、発信を控えるのはもちろん、着信音で周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- IS11LGはパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のIS11LGの動作が不安定になったり、お客様の位置情報やIS11LGに登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

■周りの人への配慮も大切！

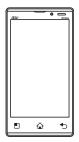
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内でIS11LGを使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11LGの電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

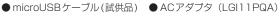
同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がそろっていることをご確認ください。

● IS11LG本体

● 電池パック（LGI11UAA）

● microSDメモリカード（2GB）（試供品）

● microUSBケーブル（試供品）

● ACアダプタ（LGI11PQA）

● 設定ガイド

● 取扱説明書（本体付属品）

● 保証書

● ご使用上の注意

以下のものは同梱されません。

● イヤホン

memo

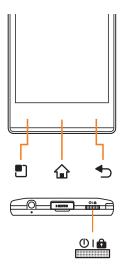
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本文中で使用している携帯電話などのイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］▶［ ］	ホーム画面下部の「 （電話）」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「 」をタップします。
ホーム画面 ▶［ ］▶［通知］	ホーム画面で「 」をタップします。続けて「通知」をタップします。

memo

- 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。
- 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- IS11LGの使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- IS11LGの故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※IS11LGで表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI株式会社
　　　　沖縄セルラー電話株式会社

輸入元：LG Electronics Japan株式会社

製造元：LG Electronics Inc.

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ 安全にお使いいただくために必ずお読みください。

- この「安全上のご注意」には、IS11LGを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

- 図記号の意味は以下のとおりです。

禁止	してはいけないこと（禁止）を示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■IS11LG本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示　必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止　高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、コタツの中、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）での使用や保管、放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示　ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS11LGの電源を切り、充電をしている場合は、中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

禁止　電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止　火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止　接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

禁止　金属製のアクセサリーを使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止　ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

禁止　カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止　お客様による分解・改造・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS11LGまたはソフトウェアなどに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

IS11LGが落下などによって破損し、IS11LG内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

水濡れ禁止

濡れ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグや電池パック、microUSBケーブルを抜いてください。また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、有償修理となります。

禁止

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止　ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止　使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止　乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。また、テレビアンテナの取り扱いにもご注意ください。

禁止　外部から電源が供給されている状態のIS11LG本体・電池パック・ACアダプタに、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止　コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止　電池フタを外したまま使用しないでください。

禁止　腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

禁止　IS11LG本体から電池パックを外した状態でACアダプタをつながないでください。発火・感電の原因となります。

禁止　本体から電池フタや電池パックを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

禁止　長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してください。その後IS11LGの電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

指示

イヤホン(市販品)などをIS11LGに挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ IS11LG本体について

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示

航空機内では電源をお切りください。IS11LGの電波により、電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従って、ご使用ください。IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11LGの電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

指示

高精度な電子機器の近くではIS11LGの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器のお近くでIS11LGを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、IS11LGを心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、IS11LGの電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはIS11LGを持ち込まないでください。
- 病棟内では、IS11LGの電源をお切りください。IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11LGの電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、IS11LGの電源をお切りください。

4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ（ワンセグ）を見たり、音楽を聴いたりするときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指示

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止 夏期に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないでください。IS11LGが熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなったりIS11LG本体が変形し故障の原因となる場合があります。

指示 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

■IS11LGで使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース（側面）	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
電池フタ	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
HDMI端子カバー	PC樹脂・ウレタン	アクリル系UV硬化処理
テレビアンテナ	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
電源キー	アルミニウム合金	陽極処理
音量キー（UP／DOWN）	アルミニウム合金	陽極処理
ディスプレイ	強化ガラス	防汚コーティング
ディスプレイ飾り	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
受話口	ステンレス鋼	アクリルウレタン系熱硬化処理
アウトカメラレンズ	強化ガラス	なし
カメラレンズ飾り	ステンレス鋼	クロムメッキ処理

禁止
人の混雑している場所では使用しないでください。携帯電話が人にあたり、思わぬけがをする場合があります。

禁止
キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止
接続端子やmicroSDメモリカードスロットなどに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止
イヤホン（市販品）やテレビアンテナなどを持って本体を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因になります。

指示
通常はHDMI接続端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。

指示
テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではテレビアンテナを格納してください。テレビアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり、思わぬけがの原因となります。

指示
心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

指示
受話口部やスピーカー部の吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。

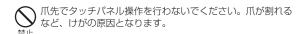
禁止
テレビアンテナを伸ばした状態でIS11LGを振り回さないでください。傷害やテレビアンテナの変形・破損の原因となります。

指示
砂浜などの上に直に置かないでください。受話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったりIS11LG本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示
通話・通信中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となるおそれがあります。

禁止
ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

禁止

■ 電池パックについて

IS11LGの電池パックはリチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠ 危険 誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

電池パックのプラス（+）とマイナス（−）をショートさせないでください。

禁止

電池パックをIS11LG本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分に確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解禁止

お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

水濡れ禁止

電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。
誤って水などに落としたときは、直ちにIS11LG本体の電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと、直ちに医師の診断を受けてください。

指示

電池パックをIS11LG本体から取り外すときは、IS11LGのくぼみに指（爪など）を入れ、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

指示

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。
なお、寿命は使用状態などにより異なります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ACアダプタ：AC100V ～ 240V

指示

ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。ACアダプタが傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

禁止

ACアダプタの電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。

指示

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水濡れ禁止

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

禁止

本書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
発熱・発火・感電・傷害の恐れがありますので、次のことはおこなわないでください。

- 指定のau電話の電池パック以外の充電
- 家庭用AC100 ～ 240V以外での使用
- 端子をショートさせる
- 分解や改造
- 水などをかけたり濡れた手での使用

⚠注意 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

水濡れ禁止

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

指示

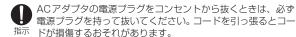
充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

水濡れ禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

指示

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

禁止

IS11LG本体から電池パックを外した状態でACアダプタを差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は以下のとおりです。
外装ケース：ポリカーボネート
プラグ部分：ニッケルメッキ

■ au ICカードについて

⚠警告 必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

au ICカードをIS11LGに取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。

指示 au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止 au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードのIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

水濡れ禁止 au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。

禁止 au ICカードのIC（金属）部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

禁止 au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止 au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示 au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS11LG本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35％～85％の範囲内でご使用ください。調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中など、ご使用状況によってはIS11LG本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、IS11LGが高温となった場合、IS11LG本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■IS11LG本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中は、ご使用状況によってはIS11LG本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 電池フタを外したところに貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されているIS11LGおよび通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- IS11LGに登録された連絡先・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGに保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS11LGで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影したフォト／ムービーデータや音楽データなどは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えができないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中は使用しないでください。ハンズフリーキットなどを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS11LG本体が損傷するおそれがあります。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。

- IS11LGは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がIS11LG本体の銘板シールに表示されております。
- IS11LG本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- テレビ（ワンセグ）視聴中など、テレビアンテナを伸ばしたり、立てた状態で電話に出る場合は、特にテレビアンテナの先端部分が周囲の方々へ危害など及ぼさないよう、またお客様の目に入らないよう取り扱いには十分ご注意ください。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ（ワンセグ）視聴を繰り返し長時間連続作動させた場合、IS11LG本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- IS11LGに磁気を帯びたものや金属製のものなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- IS11LGを永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。IS11LGそのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材を使用しているものが、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS11LG内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- 長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 接続端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のmicroUSBプラグやコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- 接続端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったIS11LGの回収にご協力ください。auショップなどでIS11LGの回収をおこなっております。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。

- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して、タッチパネルや電源キーが操作できなくなります。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- HDMI端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- IS11LGは、防水仕様になっておりません。水をかけないでください。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、必ずテレビアンテナを格納してください。また、テレビアンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は1本の指（ピンチ操作の場合のみ2本の指）で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属バネになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、IS11LG本体から電池パックを外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 電池パックを交換する際は、必ず指定の方法で行ってください。指定以外の取り外しかたや取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池フタが破損する原因となります。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- ACアダプタの電源コードをアダプタ本体に巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードの取り付け、取り外しの際は、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
- au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。
- au ICカード以外のカードをIS11LGに挿入しないでください。au ICカード以外のカードをIS11LGに挿入して使用することはできません。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC（金属）部分に触れないようにご注意ください。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS11LGの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- 撮影時にレンズに指がかからないようにご注意ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ（ワンセグ）機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られるため、交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン（市販品）などからの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様がIS11LGで撮影・録音したデータの複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS11LGをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次のとおりとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	❶ お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	❷ お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロックNo.

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS11LGには次のような機能が用意されています。

機能	説明
画面ロック	起動時や画面ロック時に画面ロック解除パターン、画面ロック解除番号、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードロック」（▶P.245）で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」(▶P.246)で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS11LGが再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

Bluetooth® /無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

IS11LGのBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の2.412GHzから2.472GHzまでの周波数を使用します。

2.4	:2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	:変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■	:2.412GHz~2.472GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- IS11LGのBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth®や無線LAN（Wi-Fi®）機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

● Bluetooth®ご使用上の注意

IS11LGのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11LGを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11LGと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11LGの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発信を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- IS11LGの無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）のアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合せください。

● 無線LAN（Wi-Fi®）ご使用上の注意

IS11LGの無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11LGを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11LGと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11LGの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- IS11LGはすべてのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏れにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- IS11LGは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。

  このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。
- IS11LGでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

  (「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。)

  また、プランEシンプル/プランEにご加入された場合であっても、Eメール(~@ezweb.ne.jp)の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。(「Eメール(~@ezweb.ne.jp)」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。)

  ※ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はパケット通信料はかかりません。

■ Androidマーケット/ au one Market /アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となることもありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- IS11LGに搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中にスリープモードに移行しなくなる場合や、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。

ご利用の準備

各部の名称と機能

❶ **イヤホン端子**

❷ **HDMI端子**

HDMIケーブル（市販品）の接続時に使用します。

❸ **HDMI端子カバー**

❹ **電源キー**

スリープモードの移行／解除に使用します。

を長押しすると、マナーモードのON／OFF、機内モードのON／OFF、電源のON／OFFを行えます。

❺ **テレビアンテナ**

テレビ（ワンセグ）を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。

❻ **近接センサー／明るさセンサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

❼ **インカメラ（レンズ部）**

❽ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❾ **ホームキー**
ホーム画面を表示します。

❿ **戻るキー**
1つ前の画面に戻ります。

⓫ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⓬ **外部接続端子**
ACアダプタなどの接続時に使用します。

⓭ **メニューキー**
オプションメニューを表示します。

⓮ **音量キー（UP／DOWN）**
音量を調節します。

⓯ **受話口（レシーバー）**
通話中の相手の方の声、留守番電話の再生音などが聞こえます。

⓰ **au ICカードスロット**

⓱ **内蔵アンテナ部（Wi-Fi®、Bluetooth®、GPS）**
Wi-Fi®、Bluetooth®機能、GPS利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。

⓲ **アウトカメラ（レンズ部）**

⓳ **電池フタ**

⓴ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。

㉑ **内蔵アンテナ部（通話、インターネット）**
通話時、インターネット利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。

㉒ **電池パック**

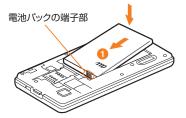
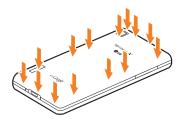
㉓ **microSDメモリカードスロット**

電池パックを取り付ける／取り外す

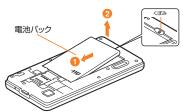
- 電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、IS11LG本体の電源を切ってから行ってください。
- IS11LG専用の電池パック（LGI11UAA）をご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 本体下部にある凹部に指（爪など）をかけ、矢印（❶-1）の方向に押さえながら矢印（❶-2）の方向に持ち上げて電池フタを取り外す

2 電池パックはauロゴがある面を上にして、IS11LGの接続部と電池パックの端子部を合わせて矢印（❶）の方向に挿入する

3 電池フタの向きを確認して本体に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

電池パックを取り外す

1 本体下部にある凹部に指（爪など）をかけ、矢印（❶-1）の方向に押さえながら矢印（❶-2）の方向に持ち上げて電池フタを取り外す

2 本体のくぼみに指（爪など）をかけ、電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら、矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

※ 電池パックを取り外すときは、くぼみから上に持ち上げてください。くぼみ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池パックの端子部を破損するおそれがあります。

au ICカードを利用する

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

《au ICカード》

memo

- au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au ICカードのIC（金属）部分や、IS11LG本体のICカード用端子には触れないでください。
  - au ICカード挿入時は、正しい挿入方向をご確認ください。
  - au ICカードは、電源を切り、電池パックを取り外してから、取り外し・取り付けを行ってください。
- 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au ICカードが挿入されていない、もしくはau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける※／受ける
- Eメール（～@ezweb.ne.jp）／SMS（Cメール）の送受信
- 自局電話番号／Eメールアドレスの確認
- UIMカードロック設定

※ 110番（警察）・119番（消防機関）・118番（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。

■ PINコードによる制限設定

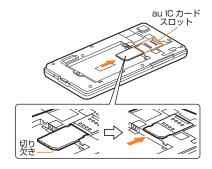
au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。（▶P.29「PINコードについて」）

au ICカードを取り付ける

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから、取り付けを行います。

1 電池フタを取り外す

2 電池パックを取り外す

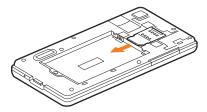
3 au ICカードのIC（金属）面を下にして図の向きでau ICカードスロットに差し込む

4 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから、取り外しを行います。

1 電池フタを取り外す

2 電池パックを取り外す

3 au ICカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

4 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。
ご利用可能時間は、次のとおりです。

連続待受時間※	約250時間（3G使用時） 約160時間（3GおよびWi-Fi® 機能使用時）
連続通話時間※	約500分

※ 日本国内でご利用の場合の時間です。
使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。

memo

- 充電中、IS11LGと電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、電池パックの温度が高くなります。）
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ACアダプタを接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
  - （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
  - Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、ワンセグ機能、位置情報、などの使用
  - アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
  - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

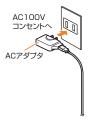
ACアダプタを使って充電する

ACアダプタを接続して充電する方法を説明します。
充電時間は、約160分です。

1 付属のmicroUSBケーブルのUSBコネクタをACアダプタのUSB接続端子に差し込む

2 microUSBケーブルのmicroUSBコネクタをIS11LGの外部接続端子にまっすぐ差し込む

- microUSBケーブルは、「B」の刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

3 ACアダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込む

画面上部のステータスバー（▶P.48）に が表示され、充電が開始されます。充電が完了するとステータスバーに が表示されます。

4 充電が終わったらIS11LGの外部接続端子からmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグをまっすぐ引き抜く

5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

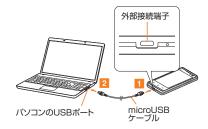
memo

が表示されない場合

- 画面上部のステータスバーに が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。ACアダプタが確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 microUSBケーブルのmicroUSBコネクタをIS11LGの外部接続端子に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

memo

- IS11LGの電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- USB充電を行った場合、指定のACアダプタでの充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ［電源キー］（2秒以上長押し）

ロック解除画面が表示されます。
下端から上方向へスライドすると、ロックが解除されます。

memo

- 電源を入れてから「au」のロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 ［電源キー］（2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 ［電源を切る］▶［OK］

スリープモードについて

［電源キー］を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に［電源キー］

ロック解除画面が表示されます。

memo

- スリープモード中に［電源キー］を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- 「スキップ」をタップすると該当の設定を省略できます。

1 （2秒以上長押し）

2 ［続ける］

3 言語を選択

4 日付と時刻の設定をして、［次へ］

5 Wi-Fi®が使用できないときにモバイルネットワークを使用するかの設定をして、［次へ］

6 Wi-Fi®の設定をして、［次へ］

7 紛失端末対応の設定をして、［次へ］

8 Googleアカウントの設定で、［次へ］
- Googleアカウントの追加画面が表示されます。Googleアカウントのセットアップについて、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参考ください。
- 文字入力方法について、詳しくは「文字入力について」（▶P.65）をご参考ください。

9 ［セットアップを完了］

10 ソフトウェア更新の説明画面が表示され、［OK］

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面 ▶［次へ］

2 ［作成］／［ログイン］
Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を選択します。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「作成」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

- Googleアカウントのセットアップは、ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Google］でも操作できます。
- IS11LGに初めて登録したGoogleアカウントを変更／削除する場合には、IS11LGを初期化してお買い上げ時の状態に戻す必要があります。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面 ▶［ブラウザ］▶ URL表示欄を選択 ▶「http://www.google.co.jp/」を入力 ▶［ ］

2 ［ログイン］

3 ［アカウントにアクセスできない場合］

4 画面の指示に従って操作する

au one-IDを設定する

au one-IDを設定すると、au one MarketやAndroidマーケットに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [au one-ID設定]

パケット通信に関する確認画面が表示されます。
「今後表示しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK] ▶ [au one-IDの設定・保存]

認証を開始します。
「au one-IDとは?」を選択するとブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。
au one-IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

基本操作

タッチパネルの使い方

IS11LGのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■主な操作目的
画面に表示された項目やアイコンを選択します。
ダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。

■ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■主な操作目的
コンテキストメニューの表示などを行います。

■スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■主な操作目的
画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーを操作します。

■フリック

画面を指で素早く上下左右にはらうように操作します。

■主な操作目的
ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ 主な操作目的
画像を拡大／縮小します。

■ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

■ 主な操作目的
画面上のアイコンを目的の位置まで移動します。

ホーム画面とメインメニュー

ホーム画面の見かた

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されており、各デスクトップにはショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。

❶ ステータスバー
❷ クイック検索ボックス
❸ ショートカット／ウィジェット／フォルダ
❹ クイックメニュー
❺ デスクトップ
❻ アプリアイコン
アプリケーション一覧画面が開きます。

■ デスクトップを切り替える

デスクトップを左右にスライド／フリックすることで、デスクトップを切り替えることができます。

- 画面上部には、現在の表示位置を示すインジケーターが表示されます。

memo

- お買い上げ時には左右に3枚ずつ、合計7枚のデスクトップがあらかじめ設定されています。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。

アプリケーションを起動する

アプリケーションアイコンをタップすると、アプリケーションが起動します。

memo

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

ホーム画面のメニューを利用する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

追加		▶P.50「ショートカット/ウィジェット/フォルダを追加する」
シーン		ホーム画面全体をシーンとして保存しておくことができます。また、シーンを選択してホーム画面を変更できます。
壁紙	ギャラリー	microSDメモリカード内のデータを選択して設定します。
	ライブ壁紙	あらかじめ登録されている画像から選択して設定します。
	壁紙	壁紙を選択します。
検索		IS11LG内やウェブサイトの情報を検索できます。
通知		メールや電話などの通知が表示される通知パネルを表示します。
設定		各種設定を行います。

memo

壁紙変更について

- ライブ壁紙を設定中は、電池の消耗が激しくなります。

ショートカット/ウィジェット/フォルダを追加する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [追加]

2 以下の項目をタップ

ウィジェット	アプリケーションマネージャー	アプリケーションを管理することができます。
	カレンダー	カレンダーに登録している予定を確認できます。
	ニュースEX	最新のニュースや天気、運勢を確認できます。
	ニュースと天気	最新のニュースと天気を確認できます。
	マーケット	Androidマーケットを利用できます。
	ミュージック	保存しているミュージックを再生できます。
	au one Friends Note	携帯電話の連絡先やmixiのマイミク、Facebookの友人など複数の友達リストをまとめて管理することができます。電話、メール、SNSの連絡を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿することができます。

ウィジェット	au Wi-Fi接続ツール	au SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。
	auお客さまサポート	(L)、(M)、(S)の3つのウィジェットがあります。通話料や請求情報などを表示します。
	Facebook	Facebookを利用してメッセージの投稿などができます。
	Latitude	Latitudeに参加して現在地情報を共有できます。
	LISMO Player	LISMOでダウンロードした曲や音楽CDから読み込んだデータなどの楽曲を再生して楽しむことができます。
	Skype	Skype™ | auを利用できます。
	YouTube	YouTubeの動画を簡単に再生できます。
	検索	クイック検索ボックスを表示します。
	渋滞状況	渋滞状況を確認できます。

ウィジェット	電力管理	Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、GPS機能、自動同期、画面の明るさを設定できます。設定をこまめに切り替えることで電池の消費を抑えることができます。
ショートカット		アプリ、ブックマーク、ミュージックプレイリスト、メッセージを送る、経路とナビ、設定、発信、連絡先などのショートカットを追加できます。
フォルダ	新しいフォルダ	ショートカットを格納できるフォルダを追加します。
	スター付きの連絡先	スター付きの連絡先を表示するフォルダを追加します。
	すべての連絡先	連絡先をすべて表示するフォルダを追加します。
	Bluetoothで受信	Bluetooth®で受信したデータを表示するフォルダを追加します。

フォルダ	Polaris Office最近使用したファイル	最近使用したドキュメントを表示するフォルダを追加します。
	最近ダウンロードしたアプリケーション	最近ダウンロードしたアプリケーションを表示するフォルダを追加します。
	電話番号付きの連絡先	電話番号が登録されている連絡先のみ表示するフォルダを追加します。
壁紙		ギャラリー、ライブ壁紙、壁紙から選択します。

memo

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチしても追加操作できます。
- 表示しているデスクトップに空きスペースがない場合などは追加できません。

フォルダについて

- フォルダを選択 ▶ フォルダ上部のフォルダ名をロングタッチ ▶ フォルダ名を入力 ▶［OK］と操作すると、フォルダ名を変更できます。

ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

1 **移動／削除するショートカット／ウィジェット／フォルダをロングタッチ**

■ 移動する場合
移動する位置へドラッグして、指を離す

■ 削除する場合
画面下部の［削除］にドラッグして、指を離す

memo

- デスクトップの左端または右端にドラッグすると、デスクトップを切り替えることができます。

メインメニューを利用する

インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンを選択して、アプリケーションを起動できます。

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ]**

メインメニューが表示されます。

《メインメニュー》

メインメニューに表示されるアプリケーションなどについては、「アプリケーション一覧」（▶P.189）をご参照ください。

メインメニューのレイアウトを変更する

メインメニューのレイアウトを変更することができます。

1 **メインメニューで [ ] ▶ [レイアウト]**

2 **レイアウトを選択**

メインメニューのアイコンを移動する

メインメニューのアイコンを移動することができます。

1 **メインメニューで [ ] ▶ [アプリ管理]**

2 **移動するアイコンをロングタッチ**

3 **移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す**

メインメニューのカテゴリーを管理する

メインメニューのカテゴリーを管理することができます。

1 **メインメニューで [ ] ▶ [カテゴリー管理]**

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
追加	カテゴリーを追加します。
削除	カテゴリーを削除します。
リセット	カテゴリーをリセットします。

基本操作

クイックメニューを利用する

よく使うアプリケーションをメインメニューからクイックメニューに移動すると、ホーム画面からアプリケーションを起動できるようになります。
クイックメニューには最大3件までアプリケーションを配置できます。
お買い上げ時には、「電話」、「Eメール」、「ブラウザ」が登録されています。

1 メインメニューで移動するアイコンをロングタッチ

2 アイコンをクイックメニューまでドラッグして、指を離す

アイコンがメインメニューからクイックメニューに移動します。すでに登録されているクイックメニューのアイコンの上で指を離すと、アイコンが置き換えられます。

起動中のアプリケーションを一覧表示する

アプリケーションを起動中に をタップするなどして利用を中断したり、利用するアプリケーションを切り替えたりすると、利用していたアプリケーションはバックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
起動中アプリ一覧画面を表示して、利用するアプリケーションを切り替えたり、アプリケーションを終了したりできます。

1 ホーム画面 ▶［ ］をロングタッチ

■ 利用するアプリケーションを切り替える場合

2 アプリケーションを選択

■ アプリケーションを終了する場合

2 [アプリケーションマネージャー]

3 [停止]

すべてのアプリケーションを終了する場合は［全て停止］をタップします。

memo

- 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- 複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。

クイック検索ボックスを利用する

IS11LG内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面 ▶ クイック検索ボックスを選択

クイック検索ボックス画面が表示されます。
ホーム画面 ▶［アプリ］▶［検索］でも同様に操作できます。
［ ］をタップすると検索対象一覧画面が表示され、検索対象を選択できます。検索対象一覧画面 ▶［ ］と操作すると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を選択できます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／クイック検索ボックスの［ ］

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

- 一覧表示された項目の［ ］をタップすると、選択した項目が、検索ボックスに入力されます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面 ▶ [🎤]

Google音声検索画面が表示されます。
ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［音声検索］ でも同様に操作できます。

2 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

検索候補が一覧表示されます。
一覧表示から項目を選択すると、ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索ボックスを設定する

1 クイック検索ボックス画面 ▶ [▣] ▶ [検索設定]

2 以下の項目をタップ

Google検索の設定	入力候補の表示	検索キーワード入力時にGoogleの検索候補を表示するかどうかを設定します。
	Googleと共有する	Googleが検索やサービスの品質向上のために位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。
	検索履歴	セットアップしたGoogleアカウント用にカスタマイズした検索履歴を表示するかどうかを設定します。
	検索履歴の管理	セットアップしたGoogleアカウント用に検索履歴をカスタマイズできます。ブラウザが起動し、カスタマイズ画面が表示されます。
検索対象		クイック検索ボックスで検索する対象を設定します。
ショートカットを消去		最近選択した検索候補へのショートカットをクリアします。

IS11LGの状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側にはIS11LGの状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示されます。

■ 通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着SMS（Cメール）あり
	アラーム終了 • アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグ起動中
	音楽再生中
	USBデバッグ接続中
	発信中、通話中
	応答保留中
	Skype™の状態 サインイン済み／新規イベントあり
	本体の空き容量が少ないとき
	Bluetooth® ファイル受信リクエストあり
	USB接続

基本操作

アイコン	概要
	データのアップロード、ファイルの送信 アップロード中、ファイル送信中、ファイル送信完了、ファイル送信失敗／アップロード完了／アップロード待機中 • アップロード中、ファイル送信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ、アプリケーションのダウンロード中、ダウンロード完了、インストール中、ファイル受信中、ファイル受信完了、ファイル受信失敗 • ダウンロード中、ファイル受信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	インストール完了
	VPN接続中、未接続
	利用可能なアップデートあり
	メジャーアップデート（OSアップデート）更新あり
	まとめられたアイコンあり

memo

• 同じ種類のお知らせが複数ある場合は、アイコンの右下に件数が表示されます。

■ ステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	アラーム設定あり
（ ） （ ） （ ）	電池レベル状態（充電中） （ ）十分／（ ）残量約60％／（ ）残量約10％／残量なし • 「十分」以外の充電中のアイコンはアニメーション表示されます。
	機内モード
	電波の強さ（受信電界）※ レベル4／レベル3／レベル2／レベル1／圏外
	3Gデータ通信状態※ 待機中／受信中／送信中／送受信中
	CDMA 1Xデータ通信状態※ 待機中／受信中／送信中／送受信中／データ通信OFF設定中
	ローミング中
あ AB 12 ｶﾅ A 1 カ	文字種 あ ひらがな漢字入力／AB 半角英字入力／12 半角数字入力／ｶﾅ 半角カタカナ入力／A 全角英字入力／1 全角数字入力／カ 全角カタカナ入力／音声入力

基本操作

アイコン	概要
	マナーモード設定中
	ハンズフリー通話中
	ミュート
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／ レベル0
	Bluetooth®利用中 待機中／ 接続中
	GPS利用中 • GPS取得中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ同期中

※ Googleアカウントでログインしている場合は、緑色で表示されます。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

❶ **マナー**
マナーモードのオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、サウンド画面が表示されます。

❷ **Wi-Fi**
Wi-Fi®の機能オン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、Wi-Fi設定画面が表示されます。

❸ **Bluetooth**
Bluetooth®機能のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

❹ **GPS**
GPS機能のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、現在地情報とセキュリティ画面が表示されます。

❺ **自動回転**
自動回転のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、画面設定画面が表示されます。

❻ **ミュージック**
「音楽」が起動します。ミュージックを選択すると、再生できます。

❼ **消去**
通知情報と通知アイコンを消去します。

❽ **実行中アプリケーション**
実行中のアプリケーションの情報を表示します。

❾ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❿ **閉じる**
タップすると、通知パネルが閉じます。

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

IS11LGの向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦（横）表示から左（右）に90°回転した場合

memo

- IS11LGを垂直に立てた状態で操作してください。IS11LGを水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」（▶P.244）で設定できます。
- アラーム時計などアプリケーションによっては、IS11LGの向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

■ オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で（メニューキー）をタップすると表示されるメニューです。

例：ホーム画面の場合

「その他」について

- 利用できるオプションメニューが、画面上にアイコンとして表示できる数を超える場合、「その他」のアイコンが表示されます。アイコンとして表示しきれないオプションメニューが「その他」にまとめられ、「その他」を選択すると表示されます。
- 同じ画面でも設定内容や状況によって表示されるオプションメニューの数は異なるため、「その他」にまとめられる項目の数も設定内容や状況によって異なります。
- 本書では、オプションメニューにおいて「その他」を選択する操作は記載していない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：文字入力画面の場合

ロックを解除する

「画面ロックの設定」で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、PINの入力を求められます。（▶P.29「ご利用いただく各種暗証番号について」）

「画面ロック解除」の設定（▶P.245「画面ロックの設定」）を変更することで、PINの代わりに指リストパターンやパスワードを使用することができます。

■ 指で入力する

1 パターンの入力が必要な操作をする

2 パターンを入力

■ PINを入力する

1 PINの入力が必要な操作をする

2 PINを入力 ▶ [OK]

■ パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする

2 パスワードを入力 ▶ [OK]

memo

- PIN／パターン／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」を選択し、入力可能になったら再入力してください。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン	説明
（緑）	設定が有効／項目が選択されている状態です。
（グレー）	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

ラジオボタンを利用する

設定項目の横にラジオボタンが表示されているときは、ラジオボタンをタップすることで設定を有効に切り替えることができます。
複数の設定項目のうち1件だけ項目を選択できます。

アイコン	説明
（緑）	設定が有効／項目が選択されている状態です。
（グレー）	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

文字入力について

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

IS11LGでは、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

テンキー	文字入力キーをタップするたびに文字を切り替え、文字を入力します。
フルキー（QWERTY）	文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。ローマ字で文字を入力します。

1 **文字入力画面 ▶ [ ] をロングタッチ ▶ [テンキー⇔フルキー]**

memo

- お買い上げ時には、入力ソフトとして「iWnn IME」がインストールされています。本書では「iWnn IME」の操作方法を説明しています。
- 入力文字種は、[ ] をタップして切り替えます。タップするたびに、「ひらがな漢字入力」▶「半角英字入力」▶「半角数字入力」▶「音声入力」の順に切り替わります。

テンキーキーボードで入力する

キーを上下左右にフリックすることで、各行の入力したい文字を入力できます。

■ フリック入力について

ソフトウェアキーボード「テンキー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。
例）「お」を入力する例で説明します。

1 **[ ] をロングタッチ**

[ ] が表示されます。

2 **下方向にフリック**

3 **必要に応じて変換候補をタップ**

フルキー（QWERTY）キーボードで入力する

入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字入力」の場合は、ローマ字入力になります。

文字入力画面の見かた

《文字入力画面（テンキー）》　《文字入力画面（QWERTY キー）》

❶ 文字入力エリア

❷ 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト

文字を入力して［ ］をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。

- ［ ］をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、［ ］をタップします。

❸ バックキー／戻すキー

：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。フリック入力では、バック機能を利用できません。

：文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

❹ ソフトウェアキーボード

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

❺ カーソルキー

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

❻ 記号・顔文字キー／英数・カナキー

：記号／顔文字一覧を表示します。

：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

❼ 文字種切替キー

入力する文字種を切り替えます。
文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

：ひらがな漢字入力
：半角英字入力
：半角数字入力
：半角カタカナ入力※
：全角英字入力※
：全角数字入力※
：全角カタカナ入力※
：音声入力

※［ ］をロングタッチ ▶［入力モード切替］で選択できます。

［ ］をロングタッチすると、iWnn IMEメニューを表示します。

❽ DELキー

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、文字は削除されません。

❾ 変換キー／スペースキー

：ひらがな入力中は通常変換候補リストを表示します。変換候補リストが表示されていない場合、スペースを入力します。

：数字／半角英字入力中などに表示され、スペースを入力します。

⑩ 確定キー／Enterキー

確定 ：入力中の文字を確定します。

↵ ：カーソルの位置で改行します。
アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ 大文字／小文字切替キー

ひらがな／カタカナ入力時に［ ］をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。
英字入力時に［ ］をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

⑫ シフトキー

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。

：小文字入力
：大文字入力
：大文字入力ロック

また、［ ］／［ ］時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換の機能を利用して入力することもできます。

例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面で「とうきょう」と入力

2 ［ ］

3 ［東京］

■ ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から予測変換の候補を表示し、入力できます。

例：「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面で「て」と入力

2 ［ ］▶［ ］

［ ］をタップするたびに「○」が入力され、文字数に合わせた予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 ［テレビ］

memo

予測変換について

- 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ ▶［学習削除］と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
- ひらがな入力中に［ ］をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。［ ］をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面 ▶ [文字] をロングタッチ ▶ [入力モード切替]

2 入力モードを選択

memo

- [文字] をタップするたびに、「ひらがな漢字入力」▶「半角英字入力」▶「半角数字入力」▶「音声入力」の順に切り替わります。
- 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字を入力する

1 文字入力画面 ▶ [絵文字]

絵文字／Ｄ絵文字／ピクチャ／ microSD一覧画面が表示されます。文字入力画面に変換対象がない状態でタップしてください。

2 絵文字／Ｄ絵文字／ピクチャを選択

microSDからも絵文字を選択することができます。

memo

- 操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／Ｄ絵文字／ピクチャがあります。

記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面 ▶ [記号]

2 [記号] ／ [顔文字]

記号／顔文字一覧画面が表示されます。

音声で入力する

1 文字入力画面 ▶ [文字] をロングタッチ ▶ [入力モード切替] ▶ [音声入力] ▶ [音声入力開始]

文字入力画面で [文字] を音声入力になるまでタップしても同様に操作できます。

2 送話口（マイク）に向かって話す

処理が完了すると文字が入力されます。

memo

- 音声入力を使用するには、あらかじめ「音声入力」にチェックを付けて、設定（▶P.71「iWnn IMEの設定を行う」）を有効にしてください。

文字入力の便利な機能を利用する

文字サイズを切り替える

文字入力時に表示する文字サイズを設定します。

1 文字入力画面 ▶ [ ] ▶ [文字サイズ]

2 文字サイズを選択

memo

- アプリケーションや入力中の項目によっては、設定できない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

■ 文字を選択して切り取り／コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ ▶ [語句を選択]

2 [ ] ／ [ ] をスライドして範囲を選択 ▶ タップ

3 [切り取り] ／ [コピー]

4 貼り付ける位置をタップ ▶ ロングタッチ ▶ [貼り付け]

■ 入力した文字をすべて切り取り／コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ ▶ [すべて選択] ▶ タップ

2 [切り取り] ／ [コピー]

3 貼り付ける位置をタップ ▶ ロングタッチ ▶ [貼り付け]

入力ソフトを切り替える

1 文字入力画面 ▶ [ ] をロングタッチ ▶ [入力方法]

文字入力エリアをロングタッチ ▶ [入力方法] でも同様に操作できます。

2 以下の項目をタップ

iWnn IME	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。

memo

- 入力ソフトは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。インストール後に、「言語とキーボード」でアプリケーションを有効にしてください。アプリケーションのインストール方法については、「Androidマーケットを利用する」（▶P.194）をご参照ください。

マッシュルーム拡張機能を利用する

マッシュルームを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 **文字入力画面 ▶［ 文字 ］をロングタッチ ▶［各種設定］▶［マッシュルーム］▶［使用する］▶［OK］**

2 **［ ⮌ ］**

文字入力画面が表示されます。

3 **［ 文字 ］をロングタッチ ▶［マッシュルーム］**

マッシュルーム拡張機能のアプリケーション選択画面が表示されます。

memo

- マッシュルーム拡張機能は、アプリケーションをインストールして利用することもできます。アプリケーションのインストール方法については、「Androidマーケットを利用する」（▶P.194）をご参照ください。
- 通常変換候補リスト／予測変換候補リストで候補をロングタッチ ▶［Mashup］と操作し、アプリケーションを選択しても起動できます。

iWnn IMEの設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 **文字入力画面 ▶［ 文字 ］をロングタッチ ▶［各種設定］**

iWnn IME設定画面が表示されます。

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたときに、キー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブレータ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
キーボードイメージ	ソフトウェアキーボードのイメージを変更します。
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。
フリック入力	フリック入力機能を利用するかどうかを設定します。

フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。
トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛（濁点）／゜（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
候補学習	よく使う言葉や過去に変換、確定した語句を学習するかどうかを設定します。
予測変換	よく使う言葉や過去に変換、確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
入力ミス補正	入力間違いの補正候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能を利用するかどうかを設定します。
候補表示行数	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
候補窓のフォントサイズ	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換など変換候補リストを表示するフォントサイズを変更します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書の単語を編集します。
英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書の単語を編集します。
学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。
iWnn IME	iWnn IMEバージョン情報などが表示されます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 **文字入力画面 ▶［ ］をロングタッチ ▶［各種設定］▶［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］**

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 **［ ］▶［登録］**

3 **読み／表記を入力 ▶［保存］**

memo

- 登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択 ▶［ ］▶［編集］と操作します。単語をダブルタップしても編集操作ができます。
- 日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面 ▶［ ］▶［削除］／［ユーザー辞書全消去］▶［ＯＫ］と操作すると、選択した単語／すべての単語を削除できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面 ▶ [電話]

電話番号入力画面が表示されます。

① **画面切替タブ**
画面表示を切り替えられます。

② **電話番号入力欄**
32桁まで入力できます。

③ **数字キー**

④ **SMS(Cメール)キー**
SMS（Cメール）を送信できます。

⑤ **削除キー**
カーソル左側の数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。

⑥ **発信キー**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [ ]

通話中画面が表示されます。
通話中に音量キー（UP ／ DOWN）を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 [終了]

連絡先に未登録の電話番号との通話終了後は、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

memo

- 発信中／通話中に近接センサーをおおうと、画面が消灯します。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へは電話をかけることができます。また、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へ電話をかけると「機内モード」の設定が解除されます。

memo

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 次のダイヤルサービスがご利用いただけます。
  - 全国の一般電話との通話
  - 全国の携帯電話･PHS･自動車電話との通話
  - 010（au国際電話サービス：お申し込みは不要です）
  - 171（災害用伝言ダイヤル）
  - 177（天気予報：市外局番が必要です）
  - 117（時報）
  - 104（電話番号案内）
  - 115（電報の発信）
  - 110（警察への緊急通報）※
  - 119（消防機関への緊急通報）※
  - 118（海上保安本部への緊急通報）※
  - 157（お客さまセンター）
  - 船舶電話

  ※ 緊急通報番号です。IS11LGは、緊急通報受理機関への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。
- 次のNTTサービスはご利用いただけません。
  - コレクトコール
  - 伝言ダイヤル
  - ダイヤルQ2
  - 116（NTT営業案内）

電話

■ 電話番号入力画面のオプションメニューの場合

1 電話番号入力画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

184を追加	電話番号の先頭に「184」を追加します。
186を追加	電話番号の先頭に「186」を追加します。
国際電話	相手の方の国番号を選択します。
連絡先に登録※	入力した電話番号を連絡先に登録します。
2秒間の停止を追加※	「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加※	「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「送信」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。

※ 電話番号が入力された場合のみ表示されます。

通話中の画面操作

録音	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。
終了	通話中の電話を終了します。
ダイヤル／非表示	数字キーを表示／非表示します。
Bluetooth	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続／解除します。
ミュート	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
スピーカー	ハンズフリーで電話するかどうかを設定します。

■ 通話中画面のオプションメニューの場合

1 通話中に［ ］

2 以下の項目をタップ

通話を追加	電話番号入力画面を表示します。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面 ▶［電話］

電話番号入力画面が表示されます。

2 ［通話履歴］

履歴一覧画面が表示されます。

3 電話をかけたい相手の［ ］

memo

- 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、お留守番サービスに着信があったことをSMS（Cメール）でお知らせするサービスです。
お留守番着信お知らせには、お留守番サービスで伝言をお預かりしたことをお知らせする「伝言お知らせ」と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」があります。

履歴のメニューを利用する

■ 履歴一覧画面のオプションメニューの場合

1 履歴一覧画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

フィルタ	フィルタを設定します。
削除	削除したい履歴をチェックして削除します。
全件削除	履歴をすべて削除します。

■ 履歴一覧画面のコンテキストメニューの場合

1 履歴一覧画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

発信	電話をかけます。
表示※1	連絡先の詳細内容を表示します。
編集して発信	電話番号を編集して発信します。
SMS作成	SMS（Cメール）を作成します。
連絡先に登録※2	電話番号を連絡先に新規登録したり、既存の連絡先に追加登録したりします。
削除	選択した履歴を削除します。

※1　電話番号が連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2　電話番号が連絡先に登録されていない場合に表示されます。

■ 履歴詳細画面のオプションメニューの場合

1 履歴詳細画面 ▶ [ ]

発信履歴または着信履歴詳細画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

着信拒否リストに登録／着信拒否リストから削除	着信拒否番号リストに発信履歴／着信履歴の電話番号を登録／削除します。

■ 履歴詳細画面のメニューを利用する

XXXXに発信※1／発信※2	電話をかけます。
SMS作成	SMS（Cメール）を作成します。
表示※1	連絡先の詳細内容を表示します。
連絡先に登録※2	電話番号を連絡先に新規登録したり、既存の連絡先に追加登録したりします。
削除	選択した履歴を削除します。

※1　電話番号が連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2　電話番号が連絡先に登録されていない場合に表示されます。

国際電話を利用する（au国際電話サービス）

IS11LGからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：IS11LGからアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶［ ］

電話番号入力画面 ▶［ ］▶［国際電話］で相手先の国名を選択して国際電話をかけることもできます。

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常どおりご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
- au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
  au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
  一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
  受付時間9：00～20：00(年中無休)

電話を受ける

1 着信中に［ ］を右へスライド

バックライト点灯中（ロック解除画面表示中を除く）に着信があった場合は、［ ］をタップします

2 通話 ▶［終了］

連絡先に未登録の電話番号との通話終了後は、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、画面に電話番号が表示されます。電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、画面に理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

電話

着信時に着信音を消音にするには

- 着信中に や音量キー（UP ／ DOWN）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- 連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。
- ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

応答を保留する

1 着信中に［応答保留］を上にスライド

バックライト点灯中（ロック解除画面表示中を除く）に着信があった場合は、「応答保留」をタップします。
保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に［応答保留解除］

保留が解除され、電話がつながります。

memo

- 保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。
- 一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。
- 海外で着信した場合は、応答を保留にできません。

着信時の操作

拒否	かかってきた電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。
消音	音量キー（UP／DOWN）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータを停止します。

自分の電話番号を確認する

1 **ホーム画面▶［ ］▶［設定］▶［デバイス情報］▶［デバイスの状態］**

ステータス画面が表示され、電話番号欄に電話番号が表示されます。

連絡先

連絡先を登録する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［連絡先］

連絡先一覧画面が表示されます。

❶ **検索**
名前や電話番号などを入力して連絡先を検索します。

❷ **画像**
連絡先に登録されている画像（顔）が表示されます。

❸ **連絡先**
登録されている連絡先が表示されます。

❹ **登録**
連絡先を新規に登録します。

❺ **インデックス**
スライドして連絡先を検索します。

2 ［ ］▶［連絡先を新規登録］▶［連絡先を新規登録］（連絡先）

連絡先編集画面が表示されます。

［連絡先を新規登録］（au one Friends Note）を選択すると、アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

3 項目を選択して編集

項目		説明
（顔）	写真を撮影して添付	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	ギャラリーから選択	ギャラリーに保存されている画像を登録します。
連絡先種別		アカウントを設定している場合、登録先が選択できます。
姓		名前を登録します。 • 姓／名を入力すると「よみがな」が自動的に入力されます。 をタップすると、姓と名のよみがなが表示されます。
名		
姓のよみがな		
名のよみがな		
電話番号		携帯電話などの電話番号を登録します。
eメール		メールアドレスを登録します。
グループ		グループを設定します。 • 連絡先にグループが1件も登録されていない場合は、グループの新規登録画面が表示され、グループを作成することができます。
住所		住所を登録します。
所属		会社／役職を登録します。
着信音		着信時の音を設定します。

その他	予定	誕生日や記念日や予定を登録します。
	チャット	チャットアドレスを登録します。
	メモ	メモを登録します。
	ニックネーム	ニックネームを登録します。
	ウェブサイト	URLを登録します。

4 ［保存］

memo

- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。また、microSDメモリカードにバックアップしておくことをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先の内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「 」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
- 連絡先編集画面 ▶ ［ ］／［ ］と操作すると、項目を追加／削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 複数の電話番号／メールアドレスを登録している場合、連絡先詳細画面にて通常使用する電話番号／メールアドレスをロングタッチしてメインの電話番号／メールアドレスを設定します。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列を種別として登録できます。
- チャットアドレス種別では、連絡先詳細画面 ▶ ［ ］と操作したときに起動するアプリケーションを設定します。
- 名前を以下の文字で登録すると、連絡先では名、姓の順に表示されます。
  - 姓名をアルファベットを含む半角英数字のみ
  - 姓をアルファベットを含む半角英数字のみ／名を漢字のみ、または漢字を含む半角英数字のみ
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音」の設定は有効になりません。

他の機能から連絡先に登録する

他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを連絡先に登録できます。

1 他の機能で連絡先に登録する操作を行う

2 以下の項目をタップ

連絡先を新規登録	他の機能で表示した情報を新規の連絡先に登録します。
既存の連絡先に追加	他の機能で表示した情報を既存の連絡先に追加登録します。 追加する連絡先を選択 ▶ 連絡先を登録

3 [保存]

グループを設定する

グループの追加、リネーム、削除を設定できます。

- 「アカウントと同期」を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面 ▶ [ ]

グループ一覧画面が表示されます。

2 [ ]

3 以下の項目をタップ

新しいグループ	グループを追加します。 **グループ名を編集し、メンバーを追加 ▶ [保存]**
メール作成	グループに登録されている連絡先に、Eメールまたは Gmail を使って送信します。
共有	グループに登録されている連絡先を、Bluetooth®、Eメール、Gmail を使って共有します。
削除	グループを削除します。

memo

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

■グループ名を変更する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 ［リネーム］

3 グループ名を入力

4 ［保存］

■グループを削除する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 ［削除］▶［OK］

memo

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

グループ詳細画面のメニューを利用する

1 グループ一覧画面でグループを選択

グループ詳細画面が表示されます。

2 ［ ］

3 以下の項目をタップ

メンバーを追加	メンバーを追加します。 **追加したいメンバーにチェック ▶［追加］**
メール作成	グループに登録されている連絡先に、Eメールまたは Gmail を使って送信します。
メンバーの削除	メンバーを削除します。 **削除したいメンバーにチェック ▶［削除］**
共有	グループに登録されている連絡先を、Bluetooth®、Eメール、Gmail を使って共有します。
グループを編集	グループ名を変更します。 **グループ名を入力 ▶［保存］**

連絡先の登録内容を利用する

連絡先の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 連絡先一覧画面で連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます。

❶ **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。

❷ **画面切替タブ**
画面表示を切り替えられます。

❸ **登録内容**
すべての登録内容を確認／利用できます。

❹ **スター**
お気に入りリストに登録されているかどうかが表示されます。

❺ **Google トークオンライン状況**

❻ **アクションアイコン**
連絡先に電話をかけたり、メールを作成したりできます。

memo

- アクションアイコンをタップすると次の機能を呼び出すことができます。

アクションアイコン	説明
(電話)	選択した電話番号に電話をかけます。
(SMS)	選択した電話番号を宛先としてSMS（Cメール）を作成します。
(メール)	選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
(チャット)	チャットアドレス種別で設定したアプリケーションが起動し、選択したチャットアドレスとチャットを開始します。※
(地図)	選択した住所をもとにGoogleマップが起動します。

※ 対応するアプリケーションがインストールされていない場合やアカウントへログインしていない場合など、アプリケーションを起動できないことがあります。

電話番号を利用する

■ 電話番号に発信／送信する場合

1 連絡先詳細画面で利用する電話番号の右側にある 📞 ／ ✉ をタップ

選択した相手に発信、またはSMS（Cメール）送信することができます。

■ 電話番号を設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する電話番号をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

発信	選択した電話番号に電話をかけます。
SMS作成	選択した電話番号を宛先としてSMS（Cメール）を作成します。
メインの電話番号に設定	選択した電話番号を通常使用する電話番号に設定します。
短縮番号に登録	選択した電話番号を短縮番号に登録します。
コピー	選択した電話番号をコピーします。

メールアドレスを利用する

■ メールアドレスにメールを送る場合

1 連絡先詳細画面で利用するメールアドレスを選択

■ メールアドレスを設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用するメールアドレスをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

メール作成	メールを作成します。
メインのメールアドレスに設定	通常使用するメールアドレスに設定します。
コピー	メールアドレスをコピーします。

チャットアドレスを利用する

1 連絡先詳細画面で利用するチャットアドレスを選択

選択したチャットアドレスに接続して、チャットを開始します。

住所を利用する

■ 住所から地図を表示する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所を選択

住所をもとにGoogleマップが起動します。

■ 住所を設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

地図でみる	住所をもとにGoogleマップを起動します。
メイン住所に設定	通常使用する住所に設定します。
住所のコピー	住所をコピーします。

ウェブサイトを利用する

1 連絡先詳細画面で利用するウェブサイトを選択

選択したウェブサイトが表示されます。

連絡先のメニューを利用する

連絡先一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 連絡先一覧画面 ▶ [ ]

マイプロフィール	自分のプロフィールを作成します。
連絡先を新規登録	新しい連絡先を登録します。
メール作成	連絡先一覧からメールの送信先を選択してメールを作成します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmailを使って、連絡先を共有します。
削除	削除したい連絡先をチェックして削除します。
その他	表示オプションや短縮ダイヤルやアカウントおよびインポート／エクスポートの設定をします。

■ コンテキストメニューの場合

1 連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

表示	選択した連絡先の詳細を表示します。
発信	選択した連絡先に電話をかけます。
SMS作成	選択した電話番号を宛先としてSMS（Cメール）を作成します。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選択した連絡先をお気に入りリストに追加／削除します。
ホーム画面に追加	ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。
連絡先を編集	選択した連絡先を編集します。
連絡先を削除	選択した連絡先を削除します。
microSDにエクスポート※	microSDメモリカードにデータをエクスポートします。

※ microSDメモリカードのマウント時のみ表示されます。

連絡先詳細画面のメニューを利用する

1 連絡先詳細画面 ▶ [ ]

連絡先を編集		選択した連絡先を編集します。
共有		Bluetooth®、Eメール、Gmailを使って、連絡先を共有します。
オプション		連絡先ごとに着信音を設定します。
エクスポート※		選択した連絡先の情報をmicroSDメモリカードにエクスポートします。
ホーム画面に追加		ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。
その他	連絡先を削除	選択した連絡先を削除します。
	短縮番号に登録	選択した連絡先の電話番号を短縮番号に登録します。

※ microSDメモリカードのマウント時のみ表示されます。

連絡先を編集する

1 連絡先詳細画面 ▶ [ ] ▶ [連絡先を編集]

アプリケーションを選択します。

2 編集したい項目を編集

メール

Eメールを利用する

Eメール（～@ezweb.ne.jp）はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』（本体付属品）および「Eメールを設定する」（▶P.120）をご参照ください。
- Eメールを利用するには、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポートCDMA」（▶P.291）をご参照ください。
- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
- Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi®）通信で利用できますが、初期設定はパケット通信にて行ってください。

Eメールを送る

1 ホーム画面 ▶［Eメール］▶［新規作成］

送信メール作成画面が表示されます。

2 ［ ］

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

《送信メール作成画面》

3 アドレスを選択

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。 au one Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のau one Friends Noteアプリをau oneマーケットからダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを付ける ▶［選択］** ［ ］▶［削除］▶ Eメールアドレスにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※ クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 件名入力欄をタップ ▶ 件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力 ▶［完了］

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 ［送信］▶［送信］

memo

- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ｰ（長音）ﾞ（濁点）ﾟ（半濁点）､｡･｢｣』は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。）までです。
- auの絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されて届きます。
  ※ 絵文字によっては変換されない場合があります。
- 異なる機種の携帯電話やパソコンなどに送信した絵文字は、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- 送信メール作成画面で［保存］をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.124）。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

1 送信メール作成画面

■ 宛先を追加する場合

2 未入力のアドレス入力欄の［ ］をタップ

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送る」（▶P.93）の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

2 入力済みのアドレスの［ ］をタップ ▶［削除］

■ 宛先の種類を変更する場合

2 入力済みのアドレスの［ To ］をタップ

3 以下の項目をタップ

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

- 一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面 ▶ 添付データ欄をタップ

2 以下の項目をタップ

SDカード	microSDメモリカードのデータを添付します。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	フォトを撮影して添付します。
カメラ（動画）	ムービーを録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

- 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- データを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面 ▶ 削除したいデータの[⊗]をタップ

2 [削除]

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ [絵文字]

2 [D絵文字] ／ [ピクチャ] ▶ [▲]

3 以下の項目をタップ

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードの絵文字を利用する場合

2 [microSD] ▶ [ダウンロード]

3 以下の項目をタップ

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます（デコレーションメール）。

1 **送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力**

2 **[装飾]**

デコレーションメニューが表示されます。

3 **装飾の開始位置をタップ ▶ [選択開始] ▶ [⇦] ／ [⇨] で終了位置を選択**

[全選択］をタップして、すべての文字を選択することもできます。

[■] ▶ [装飾全解除] ▶ [解除］と操作すると、装飾を解除できます。

4 **以下の項目をタップ**

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードやギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 **[完了] ▶ [送信]**

memo

- 本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
- 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。
  ※ 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
  ※ Flash®は20件のうち最大2件まで挿入できます。ただし、同一のFlash®は挿入できません。
  ※ 挿入できる画像／デコレーション絵文字／Flash®は、拡張子が「.jpg」「.gif」「.swf」のファイルです。
- 「Eメールにデータを添付する」（▶P.96）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめau one Marketから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

2 ［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 ［確定］

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 ホーム画面 ▶ ［Eメール］ ▶ ［テンプレート］

テンプレート一覧画面が表示されます。
［ ］▶［SDカードから読み込み］と操作すると、microSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ ▶ ［メール作成］

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面（▶P.93）▶ 本文入力欄をタップ ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 •冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.124）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信すると

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

- ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

《Eメールトップ画面》

4 フォルダをタップ ▶ 受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

- Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに [E] が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶P.122）を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。
- 「メール自動受信」（▶P.122）を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り [E] が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶P.101）の操作を行い、Eメールを受信してください。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字／半角約10,000文字（約10KB）までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 受信メール内容表示画面を表示

■ 受信済みの添付データを再生する場合

2 添付データをタップ ▶ [表示]

■ 未受信の添付データを受信して再生する場合

2 未受信の添付データをタップ

受信が開始されます。

3 添付データをタップ ▶ [表示]

memo

- 受信メール内容表示画面で添付データをタップ ▶ [SDカードへ保存] と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードに保存できます。
- 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif（アニメーションを含む）」「.bmp」のファイルです。
  ※ データによっては、インライン再生されない場合があります。
- デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶P.122）を自動受信しない設定にした場合や、Ｅメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 **ホーム画面 ▶［Ｅメール］▶［新着問合せ］**

新着のＥメールがあるかどうかを確認します。

Ｅメールを確認する

受信したＥメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのＥメールは送信ボックスに保存されます。受信したＥメールや送信したＥメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したＥメール、送信に失敗したＥメールは未送信ボックスに保存されます。

1 **ホーム画面 ▶［Ｅメール］**

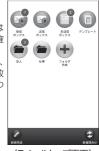
Ｅメールトップ画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにＥメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したＥメールがある場合は、赤丸に変わります）。

《Ｅメールトップ画面》

■ 受信メールを確認する場合

2 **［受信ボックス］またはフォルダを選択**

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

［返信］　：返信のEメールを作成
［転送］　：転送のEメールを作成
［保護］　：Eメールを保護
［フラグ］：Eメールにフラグを付ける
◀　　　　：前のEメールを表示
▶　　　　：次のEメールを表示

■送信メールを確認する場合

2 ［送信ボックス］またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は［送信］をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。

［再送信］　　：同じEメールをもう一度送信
［コピー編集］：Eメールをコピーして編集
［保護］　　　：Eメールを保護
［フラグ］　　：Eメールにフラグを付ける
◀　　　　　　：前のEメールを表示
▶　　　　　　：次のEメールを表示

■未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 ［未送信ボックス］

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ ▶［送信失敗理由］と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 Eメールをタップ

未送信メール内容表示画面が表示されます。

［送信］　　　：Eメールを送信
　　　　　　　　宛先が入力されている場合のみ送信できます。
［編集］　　　：Eメールを編集
　　　　　　　　保護されたEメールは編集できません。
［コピー編集］：Eメールをコピーして編集
　　　　　　　　保護されたEメールをコピーして編集できます。
［保護］　　　：Eメールを保護
［フラグ］　　：Eメールにフラグを付ける
◀　　　　　　：前のEメールを表示
▶　　　　　　　次のEメールを表示

memo

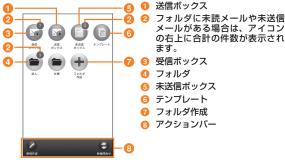
- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- Eメールトップ画面 ▶［ ］▶［au one メール］▶［au one メールTop］と操作すると、au one メールを利用できます。（▶P.139「au one メールを利用する」）
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。
- 受信ボックス／送信ボックス・未送信ボックスの最大容量については、「主な仕様」の「Eメール」（▶P.308）をご参照ください。

■Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《Eメールトップ画面》

1. 送信ボックス
2. フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
3. 受信ボックス
4. フォルダ
5. 未送信ボックス
6. テンプレート
7. フォルダ作成
8. アクションバー

メール

■Eメール一覧画面の見かた

《メール一覧画面(受信ボックス)》

《メール一覧画面(送信ボックス)》

《メール一覧画面(未送信ボックス)》

《メール一覧画面(フォルダ)》

1. ●：未読のEメール
   ○：本文を未受信のEメール
   ⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール
2. 件名
3. 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
   Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
   受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
   連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
   ※連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。
4. ：返信のEメール
   ：転送したEメール
   ：返信／転送したEメール
5. 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン
6. 添付データあり
7. 保護されたEメール
8. フラグあり
9. アクションバー
10. 本文
11. ：返信のEメール
    ：転送のEメール／転送したEメール
    ：返信／転送したEメール
12. 送信に失敗したEメール／サーバに元のメール（受信メール）がなく転送に失敗したEメール
13. 受信／送信切替スライダー
    フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

memo

- 横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■Eメール内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

❶ **送信メール**
To／CC／BCC：宛先の名前またはEメールアドレス
受信メール
From：差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC：宛先の名前またはEメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。［ ］をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

❷ ○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

❸ **送信メール**
：返信のEメール
：転送のEメール／転送したEメール
：返信／転送したEメール
受信メール
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール

メール

❹ Sub：件名
❺ ：受信済み／送信済みの添付データ
：未受信の添付データ
※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。［ ］をタップすると、その他の添付データを表示できます。
❻ 本文
❼ 次のEメール／前のEメールを表示
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。
❽ 添付データあり
❾ フラグあり
❿ 保護されたEメール
⓫ アクションバー

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面（▶P.104）／送信メール一覧画面（▶P.104）／未送信メール一覧画面（▶P.104）／検索結果一覧画面（▶P.120）▶［ ］**

2 **以下の項目をタップ**

検索	▶P.120「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動したいEメールにチェックを付ける ▶［移動］▶ 移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.115）。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除	Eメールを削除します。 **削除したいEメールにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。

保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除したいEメールにチェックを付ける ▶［保護］／［解除］** 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付けたい／外したいEメールにチェックを付ける ▶［つける］／［解除］** •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

その他	SDカードへ保存	EメールをmicroSDメモリカードに保存します。 **コピーしたいEメールにチェックを付ける ▶［保存］** •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • microSDメモリカードに保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」でIS11LGに読み込むことができます（▶P.127）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.115「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信したいEメールにチェックを付ける ▶［受信］** •「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.120「Eメールを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面（▶P.104）／送信メール一覧画面（▶P.104）／未送信メール一覧画面（▶P.104）／検索結果一覧画面（▶P.120）で操作したいEメールをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
転送	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。
保護／保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは［保護解除］をタップして保護を解除します。

フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・ フラグ付きのEメールでは［フラグ解除］をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** ・ あらかじめフォルダを作成してください（▶P.115）。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面（▶P.106）／送信メール内容表示画面（▶P.106）▶［ ］**

2 **以下の項目をタップ**

転送	**本文転送**	本文を転送するEメールを作成します。 ・ 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。 ・ 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 ・ 送信メール作成画面（▶P.93）が表示されます。 ・ 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・ サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 ・ デコレーションメールはサーバ転送できません。

移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.115）。
削除	Eメールを削除します。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーしたい文字列の開始位置をタップする、または［ ］／［ ］でカーソルを移動 ▶［選択開始］▶［ ］／［ ］で選択範囲を指定 ▶［コピー］** **本文をロングタッチ ▶［本文選択］と操作しても本文選択画面を表示できます。** • 本文選択画面をロングタッチ ▶［語句を選択］／［すべて選択］▶［ ］／［ ］をドラッグして選択範囲を指定 ▶［コピー］と操作することもできます。 • ［全選択］をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。

文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	**SDカードへ保存**	EメールをmicroSDメモリカードに保存します。 • microSDメモリカードに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」でIS11LGに読み込むことができます（▶P.127）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面（▶P.106）／送信メール内容表示画面（▶P.106）を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 以下の項目をタップ

Eメール作成	アプリケーションを選択してEメールを作成します。
アドレス帳登録	▶P.86「他の機能から連絡先に登録する」
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]▶[保存]** ・ロックされたフォルダ（▶P.119）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 ・［保存］をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は［再振分けする］をタップします。 ▶P.115「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.128「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ ▶ ［コピー］

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS（Cメール）作成	選択した電話番号を宛先としたSMS（Cメール）を作成します。 ▶P.131「SMS（Cメール）を送る」
アドレス帳登録	▶P.86「他の機能から連絡先に登録する」
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 以下の項目をタップ

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

• 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードに保存できます。

1 受信メール内容表示画面（▶P.106）／送信メール内容表示画面（▶P.106）で本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存したい画像にチェックを付ける

［全選択］をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

保存先選択画面が表示されます。

5 ［保存］

選択した画像がmicroSDメモリカードの「MyFolder」に保存されます。

memo

- 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.123）。

Eメールトップ画面でできること

1 Eメールトップ画面（▶P.99）▶［ ］

2 以下の項目をタップ

検索	▶P.120「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.115「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除したいフォルダにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。［削除しない］をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

メール

<table>
<tr><td colspan="2">Eメール設定</td><td>▶P.120「Eメールを設定する」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">au one メール</td><td>au one メール Top</td><td>▶P.139「au one メールを利用する」</td></tr>
<tr><td>au one メールへ自動保存</td><td>Eメール（～@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。
［次へ］▶ セキュリティパスワード入力欄をタップ ▶ セキュリティパスワードを入力 ▶［OK］▶ 画面に従って設定する
• あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶P.139）。</td></tr>
</table>

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面（▶P.99）▶［フォルダ作成］

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ ▶ フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

《フォルダ編集画面》

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択 ▶ カラーを選択 ▶ [OK] ▶ [保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ ▶ [ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択 ▶ 切り抜き範囲を指定 ▶ [切り抜き] ▶ [OK] ▶ [保存]

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面（▶P.99）▶ [ ] ▶ [フォルダ編集] ▶ フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 ［振分け条件追加］▶［ ］

3 以下の項目をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力 ▶［OK］▶［保存］** • ［ ］をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力 ▶［OK］▶［保存］** • ［ ］をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力 ▶［OK］▶［保存］** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 ［アドレス帳登録外］／［不正なメールアドレス］にチェックを付ける ▶［保存］

memo

- 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ［振分け条件設定］の一覧で、追加した条件の右横にある［ ］をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションを設定できます。

1 **Eメールトップ画面（▶P.99）▶［■］▶［フォルダ編集］▶ 受信ボックス／フォルダを選択**

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 **［フォルダ別設定］**

3 **以下の項目をタップ**

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	SDカードから探す	micro SDメモリーカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択 ▶［OK］▶［OK］▶［保存］**
LED		着信ランプを設定します。 **※IS11LGでは［OFF］にしか設定できません。**
着信音鳴動時間		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.121）。

1 **Eメールトップ画面（▶P.99）▶［ ］▶［フォルダ編集］▶ 受信ボックス／作成したフォルダを選択**

フォルダ編集画面が表示されます。

2 **［フォルダロック］▶ フォルダロック解除パスワードを入力 ▶［OK］**

「フォルダロック」にチェックが付きます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 **［保存］**

フォルダを並び替える

1 **Eメールトップ画面（▶P.99）▶ 移動したいフォルダをロングタッチ**

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 **そのまま指を離さず、移動したい位置にドラッグ**

memo

- 「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 **Eメールトップ画面（▶P.99）▶［ ］▶［検索］**

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面 ▶［ ］▶［検索］と操作します。

2 **キーワード入力欄をタップ ▶ キーワードを入力**

半角と全角を区別して入力してください。

3 **［ ］**

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

《検索結果一覧画面》

■ 検索結果を絞り込む場合

4 **［From］／［To］／［件名］／［本文］**

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 **Eメールトップ画面（▶P.99）／受信メール一覧画面（▶P.104）／送信メール一覧画面（▶P.104）／未送信メール一覧画面（▶P.104）／検索結果一覧画面（▶P.120）▶［ ］▶（［その他］▶）［Eメール設定］**

Eメール設定メニューが表示されます。
Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

《Eメール設定メニュー》

2 以下の項目をタップ

受信・表示設定		▶P.122「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.123「送信・作成に関する設定をする」
通知設定		▶P.125「通知に関する設定をする」
パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力 ▶［OK］▶ 同じパスワードを再度入力 ▶［OK］▶ ひみつの質問を選択 ▶［OK］▶ ひみつの質問の回答を入力 ▶［OK］** ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。［表示する］▶ 回答を入力 ▶［OK］と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
パスワード設定	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力 ▶［OK］▶［リセット］** ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更・その他の設定		▶P.126「アドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新		Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元		▶P.127「Eメールをバックアップ／復元する」
Eメール情報		自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ ▶［アドレスコピー］と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶ [受信・表示設定]

2 以下の項目をタップ

メール自動受信		サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	**全受信**	差出人・件名と本文を受信します。
メール受信方法	**指定全受信**	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**:連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**:「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**:個別アドレスを登録する • [ ] をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除したいアドレスの[ ] ▶ [削除] と操作します。

メール

メール受信方法	**差出人・件名受信**	差出人・件名のみを受信します。 • 受信メール一覧画面（▶P.104）で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ		Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶ ［送信・作成設定］

2 以下の項目をタップ

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **［設定する］▶ 返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力 ▶［OK］**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **［設定する］▶ 差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力 ▶［OK］**

冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。

署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※ Flash®は1件のみ挿入できます。 ※ 冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	送信時に誤送信を防止のための確認画面を表示するかどうかを設定します。

メール

通知に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶ [通知設定]

2 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	SDカードから探す	micro SDメモリーカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF] ／パターンを選択 ▶ [OK]**
LED		着信ランプを設定します。 **※ IS11LGでは[OFF]にしか設定できません。**
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶［アドレス変更・その他の設定］▶［OK］

2 以下の項目をタップ

Eメールアドレスの変更	Eメールアドレスはすべて Eメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶［送信］ 2.［承諾する］ 3.Eメールアドレス入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力 ▶［送信］▶［OK］ • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	▶P.128「迷惑メールフィルターを設定する」
オススメの設定はこちら	

メール

自動転送先	IS11LGで受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶ [送信] 2.入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスを入力 ▶ [送信] ▶ [終了] ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

・暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにmicro SDメモリカードにバックアップすることができます。また、micro SDメモリカードに保存したバックアップデータをIS11LGへ読み込むことができます。

Eメールをバックアップする

1. Eメール設定メニュー ▶ [バックアップ・復元]
2. [SDカードへバックアップ]
3. バックアップしたいフォルダにチェックを付ける ▶ [OK]

   ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定メニュー ▶［バックアップ・復元］

2［SDカードから復元］

3［受信メール］／［送信メール］／［未送信メール］／［SDカードから探す］▶［OK］

4 復元したいバックアップデータにチェックを付ける ▶［OK］

［全選択］をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
［Up］をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
［MyFolder］をタップするとMyFolderを開くことができます。

5［追加保存］／［上書き保存］▶［OK］

［上書き保存］を選択した場合は、確認画面で［OK］をタップします。

memo

- 添付ファイルはバックアップされません。
- バックアップデータを復元する際に［上書き保存］を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます）、バックアップしたEメールを復元します。
- 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

※ 迷惑メールフィルターは機能拡張が予定されています。詳細については、au ホームページでお知らせいたします。

1 Eメール設定メニュー ▶［アドレス変更・その他の設定］▶［OK］

■ おすすめの設定にする場合

2［オススメの設定はこちら］▶［登録］

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルター] ▶ 暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶ [送信]

3 以下の項目をタップ

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」をすべて無効にしてください。
	指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）	「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶P.131「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

- 暗証番号を同日内に連続３回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったＥメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
  指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信
- 「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」は、自動転送されてきたＥメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト（なりすまし・転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているＥメールについて、規制を受けることなく受信できます。
  ※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたＥメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるＥメールの中にHTML形式で記述されているＥメールが含まれる場合、それらのＥメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTML規制」を設定している場合でも受信できます。
- 「なりすまし規制」は、送られてきたＥメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
  この判定は、送られてきたＥメールのヘッダー部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダー、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダー、メール配信会社などにお問い合わせください。
  ※ パソコンなどで受け取ったＥメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。

PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。

PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

SMS（Cメール）を利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

SMS（Cメール）を送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。送信完了時には、相手の方にメールが届いたかどうかが分かります。

1 **ホーム画面▶［アプリ］▶［SMS（Cメール）］▶［新規作成］**

送信メール作成画面が表示されます。

2 **［ ］**

宛先入力欄をタップして電話番号を直接入力することもできます。

3 **宛先を選択**

4 **メッセージ入力欄をタップ▶メッセージを入力**

メッセージは、全角70／半角140文字まで入力できます。

《SMS（Cメール）作成画面》

5 **［送信］**

送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージか、メールが蓄積された旨のメッセージが表示されます。送信したメールはスレッドに保存されます。

memo

- 送信メール作成画面 ▶［ ⮌ ］をタップすると、メールを送信せずにスレッドへ保存できます。
- SMS（Cメール）センターは、次のとおりSMS（Cメール）をお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMS（Cメール）は、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMS（Cメール）センターでお預かりできない場合があります。

- 蓄積されたSMS（Cメール）が配信されるタイミングは、次のとおりです。

SMS（Cメール）蓄積後すぐに配信	新しいSMS（Cメール）がSMS（Cメール）センターに蓄積されるたびに、SMS（Cメール）センターでお預かりしていたSMS（Cメール）がすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMS（Cメール）を繰り返し送信するリトライ機能によりSMS（Cメール）を配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS11LGで通話を終了したときに、SMS（Cメール）センターにお預かりしていたSMS（Cメール）をすべて配信します。

- 発信者番号通知をせずにSMS（Cメール）を送信することはできません。
- IS11LGのSMS（Cメール）では絵文字に対応しておりません。絵文字を含むSMS（Cメール）を受信した場合は絵文字が正しく表示されません。
- SMS（Cメール）の送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「メッセージの送信失敗」と表示される場合があります。

SMS（Cメール）を受け取る

1 SMS（Cメール）を受信すると

SMS（Cメール）の受信が終了すると、ステータスバーに SMS が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにドラッグ

3 メールの情報を選択

SMS（Cメール）詳細画面が表示されます。複数の宛先から受信した場合、SMS（Cメール）トップ画面が表示されます。その場合は、宛先のスレッドをタップするとSMS（Cメール）詳細画面が表示されます。

《受信完了画面》

memo

- SMS（Cメール）の受信は、無料です。
- 受信したSMS（Cメール）では、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMS（Cメール）を確認する

SMS（Cメール）は、宛先ごとのスレッドに保存されます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［SMS（Cメール）］

SMS（Cメール）トップ画面が表示されます。

- スレッドに複数件のSMS（Cメール）がある場合は、宛先の右側に合計の件数が表示されます。

2 スレッドをタップ

SMS（Cメール）詳細画面が表示されます。

《SMS（Cメール）トップ画面》

memo

- SMS（Cメール）数が設定した上限を超えると、古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。端末内部メモリの空き容量が不足すると、メールの送信や受信ができません。

■SMS（Cメール）トップ画面の見かた

《SMS（Cメール）トップ画面》

1. 新規作成
2. スレッド
3. 画像
4. 最新のSMS（Cメール）アイコン
5. スレッド名（宛先）
6. メッセージ
7. 送信時刻／受信時刻

■SMS（Cメール）詳細画面の見かた

《SMS（Cメール）詳細画面》

1. 画像
2. スレッド名（宛先）
3. 受信SMS（Cメール）
   ：受信済みのSMS（Cメール）
   ：保護されたSMS（Cメール）
4. 送信SMS（Cメール）
   ：送信したSMS（Cメール）
   ：送信に失敗したSMS（Cメール）
   ：保護されたSMS（Cメール）
5. メッセージ
6. 送信

SMS（Cメール）トップ画面でできること

1 SMS（Cメール）トップ画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

作成	新しくSMS（Cメール）を作成します。
下書き※	下書きのスレッドを編集または削除することができます。
未配信メッセージ※	未送信メッセージ一覧が表示されます。
削除※	スレッドを削除します。 **削除したいスレッドにチェックを付ける ▶［削除］▶［OK］** ・保護されたSMS（Cメール）を削除するときは、「保護されたメッセージを削除」にチェックを付けます。
検索	▶P.137「SMS（Cメール）を検索する」
設定	▶P.137「SMS（Cメール）を設定する」

※ スレッドやメッセージの状況によっては、画面に表示される項目が異なることがあります。

メール

スレッドを個別に操作する

1 SMS（Cメール）トップ画面 ▶ 操作したいスレッドをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

メッセージ一覧	SMS（Cメール）詳細画面を表示します。
連絡先に追加／連絡先を表示	宛先が連絡先に登録されていない場合、連絡先を登録します。連絡先に登録されている場合、連絡先を表示します。
スレッドを削除	スレッドを削除します。 • 保護されたSMS（Cメール）を削除するときは、「保護されたメッセージを削除」にチェックを付けます。

SMS（Cメール）詳細画面でできること

1 SMS（Cメール）詳細画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

発信	宛先に電話をかけます。
連絡先に追加／連絡先を表示	宛先が連絡先に登録されていない場合、連絡先を登録します。連絡先に登録されている場合、連絡先を表示します。
送信	送信されていないSMS（Cメール）がある場合に送信します。
削除	SMS（Cメール）を削除します。 **削除したいSMS（Cメール）にチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］** • 保護されたSMS（Cメール）を削除するときは、「保護されたメッセージを削除」にチェックを付けます。
連絡先を転送	連絡先を選択すると、本文欄に連絡先が入力されます。
スレッド一覧表示	SMS（Cメール）トップ画面を表示します。
Eメールで返信※1	SMS（C メール）以外のアプリケーションでメールの返信を行います。
キャンセル※2	SMS（Cメール）の送信をキャンセルします。

※1　相手先のメールアドレスが連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2　SMS（Cメール）送信中のみ表示されます。

SMS（Cメール）を個別に操作する

1 SMS（Cメール）詳細画面 ▶ 操作したいSMS（Cメール）をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

メッセージを保護／メッセージの保護を解除	SMS（Cメール）の保護または保護の解除をします。
(××× ×××× ××××）に発信／（送信元の電話番号）に発信	宛先に電話をかけます。
連絡先にXXX XXXX XXXXを追加	連絡先を登録します。
編集	送信に失敗したSMS（Cメール）を編集します。
再送信	送信に失敗したSMS（Cメール）を再送します。
予定の新規作成	本文を内容とした予定を作成します。
転送	他の宛先にSMS（Cメール）を転送します。
メッセージテキストをコピー	本文のテキストをコピーします。
メッセージの詳細を表示	SMS（Cメール）の詳細情報を表示します。
メッセージを削除	SMS（Cメール）を削除します。 **[削除]**

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 SMS（Cメール）詳細画面

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中に電話番号を含むSMS（Cメール）をタップ

3 以下の項目をタップ

SMS（Cメール）	選択した電話番号にSMS（Cメール）を送信します。
電話	選択した電話番号に電話をかけます。

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中にEメールアドレスを含むSMS（Cメール）をタップ

3 アプリケーションを選択してEメールを作成

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中にURLを含むSMS（Cメール）をタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

memo

- 本文中に電話番号やURLを含むSMS（Cメール）を受信するには、SMS（Cメール）安心ブロック機能を解除する必要があります。（▶P.138「SMS（Cメール）安心ブロック機能を設定する」）
- 電話番号、Eメールアドレス、URLが複数含まれている場合は「操作を選択」画面が表示されます。
- アプリケーション選択画面で、「常にこの操作で使用する」にチェックを付けると、次回以降は選択したアプリケーションが自動で選択されます。

SMS（Cメール）を検索する

1 **SMS（Cメール）トップ画面（▶P.133）▶［ ］▶［検索］▶ キーワード入力欄をタップ ▶ キーワードを入力**

半角と全角を区別して入力してください。

2 **［ ］**

検索結果画面が表示されます。
日時が最も新しいSMS（Cメール）が表示されます。

《検索結果画面》

SMS（Cメール）を設定する

1 **SMS（Cメール）トップ画面（▶P.133）▶［ ］▶［設定］**

SMS（Cメール）設定メニューが表示されます。

《SMS（Cメール）設定メニュー》

メール

2 以下の項目をタップ

古いメッセージを削除	メッセージの保存件数の上限に達したとき、古いメッセージを削除するかどうかを設定します。
メッセージの保存件数	スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
通知	SMS（Cメール）受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、SMS（Cメール）を受信しても通知アイコンは表示されません。
通知音を選択	SMS（Cメール）受信時の通知音を設定します。 **通知音を選択 ▶［OK］**
バイブレータ	SMS（Cメール）受信時のバイブレーションを設定します。 **［常に使用］／［マナーモード時のみ］／［使用しない］**

SMS（Cメール）安心ブロック機能を設定する

SMS（Cメール）安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMS（Cメール）を受信拒否する機能です。

memo

- SMS（Cメール）安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
- ブロック対象のSMS（Cメール）は、通常のSMS（Cメール）（ぷりペイド送信含む）です。
- Eメールお知らせ、お留守番サービス（伝言お知らせ、着信お知らせ）、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。

■SMS（Cメール）安心ブロック機能の設定方法

SMS（Cメール）安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMS（Cメール）を送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMS（Cメール）を送信します。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMS（Cメール）を送信します。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMS（Cメール）を送信します。

※ 設定時のSMS（Cメール）送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMS（Cメール）は、「09044440012」の番号通知で届きます。

■SMS（Cメール）安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMS（Cメール）がSMS（Cメール）安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「このメッセージは送信できません」とエラーメッセージが表示され、送信されません。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール（～@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。

memo

- au one メールの機能や設定については、ホーム画面▶［アプリ］▶［au one］▶［サポート］▶［au one メール ヘルプ］と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「～@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau one-IDが必要です。「au one-IDを設定する」（▶P.45）をご参照ください。

1. Eメールトップ画面▶［ ］▶［au one メール］▶［au one メールTop］
2. au one-IDとパスワードを入力▶［ログイン］
3. ［今は保存しない］／［保存］／［保存しない］
   会員登録画面が表示されます。
   「保存」／「保存しない」をタップした場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む

5 [規約に同意して登録する]

登録内容の確認画面が表示されます。

6 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

- 一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
- au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面 ▶ [ ] ▶ [au one メール] ▶ [au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面（受信トレイ）が表示されます。

2 「au one メール表示形式：」の「標準HTML」をタップ

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [au one] ▶ [メール] と操作しても、受信トレイをau one メールの表示形式で表示できます。
画面を上へスライドして「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

メール

■au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド（最初のメールへの返信）単位で表示されます。重要なメールにスター（星印）を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール（～@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます（▶P.115）。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS11LGからGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、IS11LGの連絡先と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Gmail]**

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

❶ **トレイ/ラベル名、未読メール件数**

❷ **メール**

既読メッセージの背景色はグレーになります。

❸ **チェックボックス**

タップするとチェックが入り、メニューが表示されます。目的のメールにチェックを入れて、メニューを選択します。

❹ **アカウント名**

❺ **ラベル**

ラベルが設定されているメールに表示されます。

❻ **添付ファイルアイコン**

ファイルが添付されているメールに表示されます。

❼ **スターアイコン**

タップするとスター付きを設定/解除できます。スター付きを設定すると、受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [ラベルを表示] ▶ [スター付き]で設定したメールのみを表示することができます。

memo

- 受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [その他] ▶ [設定] ▶ 現在のアカウントをタップ ▶ [バッチ操作] でチェックボックスの表示/非表示を設定できます。

Gmailのアカウントを切り替える

1 **受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [アカウント]**

2 **アカウントを選択**

Gmailを更新する

IS11LGの「Gmail」アプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 **受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [更新]**

Gmailを送信する

1 **受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [新規作成]**

2 **宛先入力欄を選択 ▶ 宛先を入力**

Cc、Bccを追加する場合は、[ ] ▶「Cc/Bccを追加」をタップします。

3 **件名入力欄を選択 ▶ 件名を入力**

4 **本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力**

画像を添付する場合は、[ ] ▶「添付」▶ 画像を選択します。

5 **[ ]**

送信済みGmailを表示する

1 **受信トレイ画面 ▶［ ］▶［ラベルを表示］▶［送信済みメール］**

Gmailを受信する

1 **Gmailを受信すると**

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 **ステータスバーを下にスライド**

3 **メールの情報を選択**

受信トレイ画面が表示されます。

4 **受信したメールを選択**

受信メール内容表示画面が表示されます。

スレッドを操作する

1 **受信トレイで操作するスレッドをロングタッチ**

2 **必要な項目を選択**

- 「アーカイブ」を選択すると、スレッドを保管します。保管されたスレッドは受信トレイに表示されません。
- 「ミュート」を選択すると、スレッドを非表示にします。
- 「迷惑メールを報告」を選択すると、スレッドをスパムとして報告します。

memo

- 「削除」をタップすると、スレッドごと削除されます。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったスレッドは、受信トレイで ▶「ラベルを表示」▶「すべてのメール」をタップすると表示できます。アーカイブまたはミュートしたスレッドを受信トレイに戻すには、「すべてのメール」でスレッドをロングタッチ ▶「ラベルを変更」▶「受信トレイ」▶「OK」をタップします。
- IS11LGではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、IS11LG内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [検索]

2 検索する文字列を入力 ▶ [ ]

Gmailを返信／転送する

1 受信メール内容表示画面 ▶ [ ] ▶ [返信] ／ [全員に返信] ／ [転送]

新着Gmail通知を設定する

メールを受信したときに、通知アイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [その他] ▶ [設定] ▶ 現在のアカウントをタップ ▶ [通知するラベル] ▶ [受信トレイ]

2 以下の項目をタップ

メール着信通知	メール受信時に通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	メール受信時の音を設定します。
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
最初の新着メールのみ通知	最初の新着メールのみ通知するかどうかを設定します。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [その他] ▶ [設定] ▶ 現在使用しているアカウントを選択 ▶ [署名]

2 署名を入力 ▶ [OK]

インターネット

インターネットに接続する

IS11LGでは、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信（IS NET、au.NET）（▶P.146「パケット通信を利用する」）
- 無線LAN（Wi-Fi® 機能）（▶P.257「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）

memo

- IS NETにご加入されていない場合、パケット通信をご利用になるとau.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

パケット通信を利用する

IS11LGは、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスで、最大通信速度受信9.2Mbps ／送信5.5Mbps※でのパケット通信によるインターネット接続を行うことができます。

※ ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、IS11LGを手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、IS フラットなどのパケット通信料定額サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。IS11LGには、あらかじめIS NETやau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

IS NETやau.NET、パケット通信料定額サービスについては、最新のau総合カタログ／ auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※ 通信料については、最新のau総合カタログ／ auホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

Webページを表示する

1 **ホーム画面 ▶ [ブラウザ]**

ブラウザ画面が表示されます。
メインメニューで［au one］を選択すると、常にAndroid向けのau oneホームページが表示されます。

memo

- 非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面でURL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／URL表示欄の［→］

memo

- URL表示欄にキーワードを入力した場合、「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します。

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブラウザ画面 ▶［ ］

新しいウィンドウ※1	新しいウィンドウで、別のサイトを表示します。
ウィンドウ※1	ウィンドウを2枚以上開いている場合、別のウィンドウに表示を切り替えます。
進む※1	をタップしてサイトの表示を切り替えた場合、操作前に表示していたサイトに進みます。
後で読む	表示しているサイトを保存します。保存したサイトは後で読むことができます。
ブックマーク	ブックマークを追加します。（▶P.151）
ページの共有	表示しているサイトのURLをメールやBluetooth®、Facebookなどで送信できます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
テキストの選択	サイトに表示された文字列を選択します。

インターネット

RSSフィードの追加	RSSフィードを追加します。
ホームページ※2	ホームページとして設定しているサイトに移動します。
ホームページ設定※2	表示しているサイトをホームページとして設定します。
ショートカットを追加	表示しているサイトに接続するショートカットをデスクトップに追加します。
ページ情報	表示しているサイトのページ情報を表示します。
ダウンロード履歴	ダウンロードの履歴を表示します。
設定※1	▶P.153「ブラウザを設定する」

※1 ツールバーを表示している場合は、表示されません。
※2 ホームページを表示している場合は、表示されません。

memo

- 一部のメニューは、ブラウザ画面 ▶ [ ] ▶ [その他] と操作すると表示されます。

■ コンテキストメニューの場合

1 **ブラウザ画面でリンクまたは画像/メールアドレス/電話番号をロングタッチ**

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクをブックマーク	選択したリンク先をブックマークに登録します。 • 登録時に名前やURLを編集できます。
リンクを保存	選択したリンク先をリンク先のファイル形式でmicroSDメモリカードに保存します。保存されたデータは、Polaris Officeで[マイドキュメント]▶[download]▶データを選択と操作すると表示できます。
リンクを共有	選択したリンク先のURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードに保存します。 ※ 保存された画像は、表示できない場合もあります。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙に設定	選択した画像を壁紙に設定します。

メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
発信...	選択した電話番号に電話をかけたり、SMS（Cメール）を送信したりします。
連絡先を追加	選択した電話番号を連絡先に登録します。
地図	選択した位置情報の地図を表示します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号などの情報をコピーします。

memo

- 壁紙に設定した画像は保存はされないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を利用することもできません。

ブックマーク／履歴を利用する

1 **ブラウザ画面 ▶ [ ] ▶ [ブックマーク]**

ブックマーク画面が表示されます。

❶ **「ブックマーク」タブ**
登録されているブックマークを表示します。

❷ **「よく使用」タブ**
サイトの閲覧履歴を、閲覧回数の多い順に表示します。

❸ **「後で読む」タブ**
「後で読む」に登録したサイトを表示します。

❹ **「閲覧履歴」タブ**
サイトの閲覧履歴を表示します。

2 **表示したいサイトを選択**

ブックマークに追加する

表示中のサイトをブックマークに追加します。

1 ブックマーク画面 ▶ ［追加］

ブックマーク追加画面が表示されます。
リスト表示のときは、［現在のページをブックマーク］を選択すると、ブックマーク追加画面が表示されます。

2 ［OK］

ブックマーク画面を利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブックマーク画面 ▶ ［ ］

2 以下の項目をタップ

リスト表示／サムネイル表示	ブックマークの表示方法を切り替えます。
編集モード※1	ブックマークの並び順を変更したり、削除※2します。

※1　リスト表示の場合は、表示されません。
※2　初期登録されているブックマークは削除できません。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブックマーク画面でブックマークをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択したブックマークのサイトを表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したブックマークのサイトを新しいウィンドウで表示します。
ブックマークの編集※	選択したブックマークを編集します。
ショートカットを追加	選択したブックマークのショートカットをデスクトップに作成します。
リンクを共有	選択したブックマークのサイトのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
URLをコピー	選択したブックマークのサイトのURLをコピーします。
ブックマークの削除※	選択したブックマークを削除します。
ホームページに設定	ブラウザを起動したときや、新規にウィンドウを開いたときに表示するサイトとして設定します。

※ 初期登録されているブックマーク選択時は表示されません。

履歴を確認する

閲覧したサイトの履歴を確認できます。

1 ブラウザ画面 ▶ [ ] ▶ [ブックマーク]

2 「閲覧履歴」タブをタップ

閲覧履歴画面が表示され、閲覧したサイトの履歴が一覧で表示されます。

memo

- [(橙色)] / [(灰色)] と操作すると、選択した履歴をブックマークに登録/削除できます。

閲覧履歴画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 閲覧履歴画面 ▶ [ ]

2 [履歴のクリア]

ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 閲覧履歴画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択した履歴のサイトを表示します。
新しいウィンドウで開く	選択した履歴のサイトを新しいウィンドウで表示します。
ブックマークを追加※1	選択した履歴をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所(URL)を編集できます。
ブックマークの削除※2	選択した履歴をブックマークから削除します。
リンクを共有	選択した履歴のサイトのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
URLをコピー	選択した履歴のサイトのURLをコピーします。
閲覧履歴の削除	選択した履歴を削除します。
ホームページに設定	ブラウザを起動したときや、新規にウィンドウを開いたときに表示するサイトとして設定します。

※1 ブックマークに登録されていない場合に表示されます。
※2 ブックマークに登録されている場合に表示されます。ただし、初期登録されているブックマークの場合は表示されません。

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面 ▶［ ］

memo

- ツールバーが表示されていない場合は、ブラウザ画面 ▶［ ］▶［その他］▶［設定］▶［ツールバー］と操作します。

2 以下の項目をタップ

ツールバー	ツールバーを表示するかどうかを設定します。
表示倍率	表示倍率を変更します。
新しいページを開く	新しいWebページを開くときに、全体表示で開くかどうかを設定します。
エンコード	文字コードを変更します。
ポップアップブロック	ポップアップをブロックするかどうかを設定します。
画像の表示	サイトの画像を表示するかどうかを設定します。
自動調整	画面に合わせてサイトの表示やサイズを自動調整するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	サイトを常に横向きに表示するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	サイトにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定します。
プラグインの利用	プラグインの利用を許可するかどうかを設定します。
バックグラウンドで開く	リンクを新しいウィンドウで開くとき、現在表示しているウィンドウのバックグラウンドで開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ブラウザを起動したときに表示されるホームページを設定します。
キャッシュのクリア	サイトの閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。
履歴のクリア	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
Cookieを受け入れる	サイトによるCookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
すべてのCookieを消去	保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータの保存	サイトの閲覧中に入力したフォームデータを保存するかどうかを設定します。
フォームデータのクリア	保存されているフォームデータをすべて削除します。
位置情報の利用を許可する	位置情報のアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報のクリア	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。

パスワードの保存	サイトの閲覧中に入力したユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
パスワードのクリア	保存されているサイトのユーザー名とパスワードをすべて削除します。
セキュリティ警告の表示	サイトの安全性に問題があるときに警告を表示するかどうかを設定します。
検索エンジンの設定	URL表示欄にキーワードを入力して検索するときの検索エンジンを設定します。
ウェブサイトの設定	サイトごとに、位置情報アクセスやダウンロードしたデータの削除ができます。
初期設定に戻す	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

memo

- フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリーに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断できます。ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [フィルタリング設定] ▶ [はい] と操作すると、フィルタリング機能を設定できます。

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

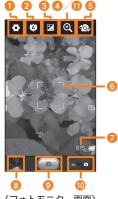
IS11LGは有効画素数約800万画素のCMOSアウトカメラと約30万画素のCMOSインカメラを搭載し、フォトやムービーの撮影ができます。
電池残量が少なくなった場合は、カメラを起動できません。また、カメラを使用する前にmicroSDメモリカードをセットしてください。
撮影したフォトまたはムービーはすべてmicroSDメモリカードに保存されます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- IS11LGを暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影や保存をすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかい布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷つけるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「白熱灯」に設定して撮影すると改善されます。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- IS11LGのカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ムービー撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。

- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついたフォトなどになる可能性があります。不安定な場所にIS11LGを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS11LGが落下するおそれがあります。
- プレビュー画面の表示、カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がIS11LGのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリケーションを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラ画面の見かた

撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

《フォトモニター画面》

《ムービーモニター画面》

① 設定
静止画：画像サイズ／撮影シーン／ ISO ／ホワイトバランス／色調調整／タイマー／撮影モード／シャッター音／オートレビュー／位置情報の記録
静止画（インカメラ）：画像サイズ／ホワイトバランス／色調調整／タイマー／シャッター音／オートレビュー／位置情報の記録
動画：ホワイトバランス／色調調整／録音／オートレビュー

② フォーカス※1
指定した位置（オート／顔追跡）にフォーカスを合わせます。

③ ブライトネス
輝度を調整します。

④ ズーム※2
ズームを調整します。

⑤ アウトカメラ／インカメラ切り替え

⑥ フォーカス枠※1

⑦ 撮影可能枚数※3

⑧ 直前に撮影したデータ

⑨ シャッター※3

⑩ 静止画／動画撮影モード切り替えボタン

⑪ ミラーイメージ※4
左右反転した画像を選択します。

⑫ 画像サイズ※5
撮影サイズを選択します。

⑬ **撮影時間**※5

⑭ **録画／停止**※5

※１　静止画撮影の場合のみ表示されます。
※２　静止画撮影／動画撮影の場合に表示されます。
※３　静止画撮影／静止画撮影（インカメラ）の場合に表示されます。
※４　静止画撮影（インカメラ）の場合のみ表示されます。
※５　動画撮影の場合のみ表示されます。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ］▶［ ］を右にドラッグ**

フォトモニター画面が表示されます。

2 **［ ］**

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。
「オートレビュー」（▶P.164）を「ON」に設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。

memo

オートフォーカスロックについて

- フォトモニター画面でピントを合わせたい場所をタップすると、タップした場所にピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が表示されロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。
- 「フォーカス」（▶P.158）を「顔追跡」に設定している場合は、オートフォーカス枠を移動して被写体を検出すると、被写体が動いてもオートフォーカス枠が追跡します。

フォトプレビュー画面について

❶ **名前の変更**
撮影したデータのファイル名を変更します。

❷ **設定**
撮影したデータを壁紙や連絡先のアイコンに設定します。

❸ **共有**
撮影したデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、Facebookなどにアップロードしたりできます。

❹ **新しく撮影**
フォトモニター画面が表示されます。

❺ **削除**
撮影したデータを削除します。

動画を録画する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ］▶［ ］を左にドラッグ

ムービーモニター画面が表示されます。

2 ［ ］

録画が開始されます。

3 ［ ］

録画したデータが自動的に保存されます。
「オートレビュー」（▶P.164）を「ON」に設定している場合は、録画停止直後にムービープレビュー画面が表示されます。

memo

- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に録画を停止・保存します。
- 録画中に着信があった場合は、録画を停止・保存して着信画面が表示されます。「オートレビュー」（▶P.164）を「ON」に設定している場合は、着信終了後または通話終了後に、ムービープレビュー画面が表示されます。

ムービープレビュー画面について

❶ **再生**
アプリケーションを選択して録画したデータを再生できます。

❷ **共有**
録画したデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、Facebookなどにアップロードしたりできます。

❸ **名前の変更**
録画したデータのファイル名を変更します。

❹ **削除**
録画したデータを削除します。

❺ **新しく録画**
ムービーモニター画面が表示されます。

撮影モードを切り替えて撮影する

1 フォトモニター画面

2 [⚙]
カメラ設定画面が表示されます。

3 [撮影モード]

4 以下の項目をタップ

ノーマル	▶P.159「静止画を撮影する」
連続撮影	▶P.162「連続してフォトを撮影する」
パノラマ	▶P.162「パノラマ写真を撮影する」

連続してフォトを撮影する

1回の撮影で連続したフォトを撮影できます。

1 カメラ設定画面 ▶［撮影モード］▶［連続撮影］

2 ［ ］

連続撮影モードでフォトモニター画面が起動します。

3 ［ ］

6枚のフォトの撮影が開始されます。
「オートレビュー」（▶P.164）を「ON」に設定している場合は、撮影が完了した後、連続撮影したすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。サムネイル表示画面で［ ］▶ 撮影した画像を選択 ▶［ ］と操作すると撮影した画像を削除できます。
連写中に［ ］をタップすると撮影を中止します。
その他の操作については、「フォトプレビュー画面について」（▶P.160）をご参照ください。

memo

- 連続撮影での撮影時は、画像サイズはVGA（640×480）固定になります。

パノラマ写真を撮影する

6回の撮影でパノラマ写真を作成します。

1 カメラ設定画面 ▶［撮影モード］▶［パノラマ］

2 ［ ］

パノラマモードでフォトモニター画面が起動します。

3 ［ ］

パノラマ撮影が開始されます。

4 フォーカス枠に四角枠が入るようにカメラを動かす

フォーカス枠と四角枠が合うと、シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。
「オートレビュー」（▶P.164）を「ON」に設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。
撮影中に［ ］をタップすると撮影を中止します。

memo

- パノラマ写真での撮影時は、画像サイズはVGA（640×480）固定になります。

設定を利用する

1 フォトモニター画面／ムービーモニター画面 ▶ [⚙]

2 以下の項目をタップ

項目	設定値	説明
画像サイズ※1	8M（3264X2448）	撮影サイズを選択します。
	5M（2560X1920）	
	3M（2048X1536）	
	2M（1600X1200）	
	1M（1280X960）	
	VGA（640X480）※2	
	QVGA（320X240）	
撮影シーン※3	ノーマル	撮影シーンに応じて自動調整します。
	ポートレイト	人物の撮影に適しています。
	風景	木や花などの自然な風景の撮影に適しています。
	スポーツ	スポーツなど動きが激しい被写体の撮影に適しています。
	夕日	夕日などの撮影に適しています。
	夜景	夜景の撮影に適しています。スローシャッターを使用します。
ISO※3	オート	ISO感度を設定します。
	400	
	200	
	100	
ホワイトバランス	オート	自動で色合いを調整します。
	白熱灯	白熱灯での撮影に適しています。
	晴天	晴れた屋外での撮影に適しています。
	蛍光灯	蛍光灯での撮影に適しています。
	曇り空	日陰や曇った屋外での撮影に適しています。
色調調整	なし	色調調整を行いません。
	モノクロ	モノトーンにします。
	セピア	セピア調にします。
	ネガティブ処理	明暗を反転します。
タイマー※1	OFF	シャッターを押してから撮影されるまでの時間を設定します。
	3秒	
	5秒	
	10秒	

撮影モード※3	ノーマル	1枚ずつ撮影します。
	連続撮影	シャッターを切った後、連写します。
	パノラマ	パノラマ写真を撮影します。
シャッター音※1	トーン1	撮影するときのシャッター音を設定します。
	トーン2	
	トーン3	
	トーン4	
録音※4	ON	映像と音声の両方を記録します。
	ミュート	映像のみ記録します。
オートレビュー	OFF	撮影後に撮影した画像を表示します。
	ON	
	2秒	
	5秒	
位置情報の記録※1	OFF	撮影したときの位置情報を記録します。
	ON	

※1　静止画撮影／静止画撮影（インカメラ）の場合に表示されます。
※2　静止画撮影（インカメラ）の場合は固定されます。
※3　静止画撮影の場合のみ表示されます。
※4　動画撮影の場合のみ表示されます。

memo

- 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

顔追跡について

- 被写体の色が薄い場合や背景と被写体が同系色の場合は、正しく検出できないことがあります。
- 被写体の動きが速い場合、追跡できない場合があります。

タッチフォーカスについて

- オートフォーカス枠が表示されているときは、タップした位置にピントを合わせます。

ISO感度について

- ISO設定を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

位置情報について

- 位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されますのでご注意ください。

動画や静止画を再生する

ギャラリーではmicroSDメモリカードに保存した画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［ギャラリー］**

アルバム選択画面が表示されます。
「 」をタップするとカメラが起動します。

2 **アルバムを選択**

サムネイル表示画面が表示されます。
「 」をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。
「 」をタップすると、画像の日付表示／サムネイル表示を切り替えることができます。
「 」を左右にスライドすると、サムネイルがスライドします。

3 **画像／動画を選択**

画像を選択した場合は、画像1件表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、データの種別に応じたアプリケーションが起動して再生されます。再生するアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーション選択画面が表示される場合があります。アプリケーションを選択すると再生されます。

■ 画像1件表示画面の操作

『 (●／●)』をタップ：ファイル番号／総ファイル数またはファイル名を切り替え
画像をタップ：「アイコン」、「スライドショー」、「メニュー」を表示／非表示

データを自動再生する

データをスライドショーで再生することができます。

1 **画像1件表示画面 ▶［スライドショー］**

表示した画像から順に、アルバム内の画像のスライドショーが再生されます。
再生中に画面をタップすると、スライドショーが停止します。

ギャラリーのメニューを利用する

1 **アルバム選択画面／サムネイル表示画面／画像１件表示画面でデータをロングタッチ**

アルバム選択画面／サムネイル表示画面の場合、「全件選択」をタップするとすべてのデータを選択します。「選択解除」をタップすると選択しているデータをすべて解除します。

2 **以下の項目をタップ**

共有		データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、Facebookなどにアップロードしたりできます。
削除		データを削除します。
その他	詳細情報	データの詳細情報を表示します。
	地図に表示※1※2	画像に付加されている位置情報を地図上に表示します。
	設定※1	画像を壁紙や連絡先のアイコンに登録します。
	トリミング※1	画像をトリミングします。
	左に回転※1	画像を左に回転します。
	右に回転※1	画像を右に回転します。

※１　画像の場合のみ表示されます。
※２　画像に位置情報が記録されている場合のみ表示されます。

ミュージックプレイヤーを利用する

「音楽」アプリケーションは、microSDメモリカードに保存されたデジタルオーディオファイルを再生します。再生可能なファイル形式については、「表示／再生できる画像・ムービー」(▶P.307)をご参照ください。

memo

- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。
- 音楽データによっては、著作権により再生できないものがあります。

ミュージックライブラリ画面を表示する

1 **ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［音楽］**

- ミュージックライブラリ画面が表示されます。
- ミュージックライブラリ画面は、「曲」「アルバム」「アーティスト」「プレイリスト」「フォルダ」の５つのタブがあります。タブはタップすることで、再生する曲が検索できます。

❶ **曲**
曲名が一覧表示されます。

❷ **アルバム**
アルバム名が一覧表示されます。いずれかをタップすると、選択可能な曲が一覧表示されます。

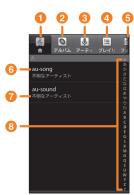
❸ **アーティスト**
アーティスト名が一覧表示されます。いずれかをタップすると、選択可能なアルバムまたは音楽が一覧表示されます。

❹ **プレイリスト**
プレイリストとして登録された曲名が一覧表示されます。

❺ **フォルダ**

❻ **曲名**

❼ **アーティスト名**

❽ **インデックス**

ミュージックライブラリ画面のメニューを利用する

■ **オプションメニューの場合**

1 **ミュージックライブラリ画面 ▶ [ ]**

2 **以下の項目をタップ**

再生		曲を選択して再生します。
すべて再生		すべての曲を再生します。
プレイリストに追加		曲を選択してプレイリストに追加できます。
シャッフル		すべての曲をシャッフル再生します。
削除		曲を選択して削除します。
設定※	**通知を表示**	通知パネルにミュージックプレイヤーのコントローラーを表示するかどうかを設定します。
	スリープタイマー	ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定します。

※ 再生可能な音楽ファイルがない場合、「設定」のみ表示されます。

■ コンテキストメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面で曲名をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

再生	曲が再生されます。
プレイリストに追加	曲をプレイリストに追加できます。
着信音に設定	曲を着信音に設定できます。
削除	曲を削除します。
共有	Bluetooth® やメール添付などで送信できます。
検索	同じタイトルの曲をYouTubeやブラウザ、音楽アプリから検索できます。
詳細情報	曲の詳細情報を表示します。

曲を検索して再生する

microSDメモリカードに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。

- 楽曲の再生中に「SDカードのマウント解除」（▶P.237）は行わないでください。

1 ミュージックライブラリ画面で「曲」「アルバム」「アーティスト」「プレイリスト」「フォルダ」

2 曲名をタップ

音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

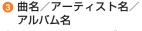
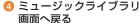
❶ シャッフル

シャッフルのON／OFFを切り替えます。
ボタンのアイコンが白色だとシャッフルがON、グレーだとOFFであることを示します。

❷ リピート設定

リピートのON／OFFを切り替えます。
ボタンのアイコンが白色だと全曲リピート／1曲リピートがON、グレーだとOFFであることを示します。

❸ 曲名／アーティスト名／アルバム名

❹ ミュージックライブラリ画面へ戻る

❺ プレイリスト

❻ ジャケット画像

ジャケット画像をロングタッチすると、検索メニューが表示されます。「曲名」「アーティスト名」「アルバムタイトル」のいずれかをタップして、同じタイトルの音楽ファイルをYouTubeやブラウザ、音楽アプリから検索できます。

❼ キー操作のガイド表示

⏮：再生中の曲の先頭から再生を始めます。
ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。
⏸／▶：一時停止／再生します。
⏭：次の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

❽ 再生経過時間

❾ 音量調整ボタン

❿ 曲全体の長さ

⓫ 再生経過バー

ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。

memo

- 再生中は、ステータスバーに 🎵 が表示されます。

音楽再生画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 音楽再生画面 ▶［ ］

<table>
<tr><td colspan="3">お気に入りに追加／
お気に入りから削除</td><td>再生中の曲をお気に入りに追加したり、削除したりできます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">SmartShare</td><td>他のDLNA対応機器と音楽ファイルを共有できます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">プレイリストに追加</td><td>曲をプレイリストに追加できます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">削除</td><td>曲を削除します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">共有</td><td>Bluetooth®やメール添付などで送信できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">その他</td><td colspan="2">着信音に設定</td><td>曲を着信音に設定できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">詳細情報</td><td>曲の詳細情報を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定</td><td>通知を表示</td><td>通知パネルにミュージックプレイヤーのコントローラーを表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>スリープタイマー</td><td>ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定します。</td></tr>
</table>

プレイリストを利用する

プレイリストを利用することで、好みの曲を集めて簡単に再生できます。プレイリストは複数作成できます。

プレイリストを作成する

1［プレイリスト］タブ

2［新規プレイリスト］

3 再生リスト名を入力

4［保存］

マルチメディア

プレイリストに曲を追加する

1 ミュージックライブラリ画面で追加したい曲を検索

2 追加したい曲をロングタッチ

3 ［プレイリストに追加］

4 操作したい項目をタップ

- 「現在のプレイリスト」をタップした場合、現在設定されているプレイリストに追加できます。
- 「新規プレイリスト」をタップすると、新たにプレイリスト名を指定して、そのプレイリストに追加できます。
- 登録済みのプレイリストがある場合、該当のプレイリスト名をタップすると、そのプレイリストに追加できます。

memo

- 音楽再生画面 ▶「プレイリストに追加」をタップするか、ミュージックライブラリ画面 ▶［ ］▶［プレイリストに追加］▶ 曲を選択 ▶［追加］▶ 操作したい項目をタップしても、曲をプレイリストに追加することができます。

プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 「プレイリスト」タブ

2 いずれかのプレイリストをタップ

3 いずれかの曲をタップ

音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

ビデオプレイヤーを利用する

microSDメモリカードに保存されている動画を簡単に再生できます

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［ビデオプレイヤー］

2 いずれかの動画をタップ

動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

❶ **再生経過バー**

ドラッグまたはタップすると、再生中の動画を任意の場所から再生します。

❷ **再生経過時間**

❸ **動画全体の長さ**

❹ **音量**

❺ **キー操作のガイド表示**

◀◀：再生中の動画の先頭から再生を始めます。

ダブルタップすると、前の動画の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の動画を巻き戻します。

❚❚／▶：一時停止／再生します。

▶▶：次の動画の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の動画を早送りします。

❻ **画面のロック**

memo

- 動画の一覧画面で動画をタップすると、「アプリケーションを選択」メニューが表示されます。次からメニューを表示しないようにするには、「常にこの操作で使用する」にチェックを付けてから、アプリケーションを選択してください。

LISMO Playerを利用する

音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［LISMO Player］**

- 初回起動時には許可画面の内容を確認して［閉じる］をタップします。続けて、サービス利用確認設定画面の内容を確認し、お客様の音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを選択してください。

2 **いずれかの曲や動画をタップ**

再生画面が表示されます。

memo

- ［ 🔍 ］をタップするとサービスメニューが表示されます。
- LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
- 楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、Gracenote®音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。
- 通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。
- 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。
  Gracenote®は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
  詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

外部機器を利用する

HDMI接続を利用する

HDMI（High Definition Multimedia Interface）は、非圧縮デジタル形式の音声や映像を伝送する通信インターフェースの標準規格です。IS11LGをHDMIケーブル（市販品）で映像機器（テレビ・モニター）に接続すると、IS11LGのギャラリーやビデオプレイヤーの音声や映像を映像機器で再生することができます。

memo

- IS11LGに接続されている映像機器によっては、音声や映像の再生に時間がかかる場合があります。HDMI認証を取得していないケーブル、また製品を使用した場合、音声や映像が正しく表示できない可能性があります。音声や映像は、IS11LGと同じ方向で映像機器に表示されます。

SmartShareを利用する

SmartShareは、DLNA（Digital Living Network Alliance）技術を用いたワイヤレスネットワークでデジタルコンテンツを共有できます。
この機能を利用するには、DLNA認証されたDLNA対応機器が必要です。DLNA対応機器は、映像や音楽を蓄積可能なサーバと再生機器のみを持つプレイヤー（クライアント）があります。

SmartShareを起動しコンテンツを共有する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［SmartShare］

2 ［ ］▶［設定］

3 以下の項目を操作

項目	説明
検出可能	他のDLNA対応機器から検出可能な状態にするかどうかを設定します。
機器名	他のDLNA対応機器に表示される機器名を設定できます。
常に要求を許可する	他のDLNA対応機器からのリクエストを自動的に共有を許可するかどうかを設定します。
受信ファイル	他のDLNA対応機器からのファイルのアップロードを許可するかどうかを設定します。
写真	対象の種類のコンテンツを共有するかどうかを設定します。
ビデオ	
音楽	
相手先（共有を要求する）	他のDLNA対応機器と共有するかどうかを設定します。

コンテンツをサーバからプレイヤーへ共有する

サーバ（PCなど）にあるコンテンツをプレイヤー（TVなど）で再生します。

- ご利用の機器のDLNA機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［SmartShare］

2 右上の［To］（ など）をタップ

プレイヤー一覧画面が表示されます。

3 プレイヤーをタップ

4 左上の［From］（ など）をタップ

サーバ一覧画面が表示されます。

5 サーバをタップ

コンテンツライブラリが閲覧できます。

6 コンテンツサムネイルをタップ

複数のコンテンツを一度に再生する場合は、コンテンツライブラリで［ ］▶［再生］▶ コンテンツにチェック ▶［再生］と操作します。

マルチメディア

IS11LGからプレイヤーへコンテンツを共有する

- ご利用の機器のDLNA機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 「ギャラリー」でフォトやムービーを閲覧中に、共有したいファイルをロングタッチ

複数のファイルを選択して共有することができます。

2 [共有] ▶ [SmartShare]

「SmartShare」が選択されたファイルと自動的に起動されます。

3 プレイヤー一覧画面で、DLNA対応機器をタップ

memo

- コンテンツを共有するにはミュージックプレイヤーの使い方をご参照ください。
- このアプリを利用するには、ご使用のDLNA対応機器がWi-Fi®でホームネットワークと接続していることを確認してください。
- DLNAのDMP機能のみ対応しているプレイヤーの場合、プレイヤー一覧画面に表示されないことがあります。
- また、一部のプレイヤーではコンテンツを再生することができない場合があります。

コンテンツをリモートコンテンツライブラリからダウンロードする

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [SmartShare]

2 左上の［From］（ など）をタップ ▶ ライブラリのDLNA対応機器をタップ

コンテンツ一覧が表示されます。

3 ダウンロードしたいファイルをロングタッチ ▶ [ダウンロード]

memo

- 一部のコンテンツは対応していません。

コンテンツをIS11LGからリモートコンテンツライブラリにアップロードする

- microSDメモリカードが正しく取り付けられたことを確認してください。
- 設定メニューの「受信ファイル」にチェックが付いていることを確認してください。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [SmartShare]

2 左上の [From] (など) をタップ ▶ [本体]

コンテンツ一覧が表示されます。

3 アップロードしたいファイルをロングタッチ ▶ [アップロード]

4 ファイルをコピーしたいDLNA対応機器をタップ

memo

- DLNAが使用可能のDLNA対応機器はDMSアップロード機能に対応しない場合があります。一部のコンテンツに対応していません。

ワンセグ

ワンセグでできること

■ テレビ（ワンセグ）を見る

日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。

■ データ放送を見る

テレビ（ワンセグ）では、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

ワンセグをご利用になる前に

■ テレビ（ワンセグ）利用時のご注意

- テレビ（ワンセグ）の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ（ワンセグ）は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、ＢＳ・１１０度ＣＳデジタル放送、地上アナログ放送、ＢＳアナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、ＩＳ１１ＬＧが温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ 電池残量による動作

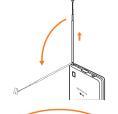
- 電池残量が少なくなった場合は、ワンセグを起動できません。
- ワンセグ起動中に電池残量が少なくなると、自動的にワンセグが終了します。

■ 連続視聴可能時間について

テレビ（ワンセグ）	約４時間20分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

テレビアンテナについて

テレビ（ワンセグ）を視聴する際は、電波を十分に受信できるようにテレビアンテナを伸ばしてご利用ください。
テレビアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、テレビアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビ（ワンセグ）を見ることができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［テレビ］▶［同意する］

2 地域（広域）を選択

3 地域を選択

放送局の検索が開始されます。

4 ［OK］

ワンセグ視聴画面が表示されます。

ワンセグを見る

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［テレビ］

ワンセグ視聴画面が表示されます。

❶ 映像
❷ 字幕
❸ データ放送
❹ データ放送操作パネル

決定：項目の選択

：カーソル移動

戻る：前ページに戻る

ﾃﾝｷｰ：テンキーを表示

memo

- ワンセグを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

ワンセグ

ワンセグ視聴画面の操作

■ 縦表示時の操作

映像を左右にスライド/フリック:チャンネルの切り替え
映像をタップ:番組情報、ワンセグ操作パネルを表示

■ ワンセグ操作パネル

❶ 番組表を表示
❷ チャンネル一覧を表示
❸ チャンネル一覧/番組表
❹ 音量
❺ チャンネルの切り替え

■ 横表示時の操作

ワンセグの視聴画面、ワンセグ操作パネルの操作は縦表示のときと同じです。
また、データ放送の操作は行えません。

■ チャンネル一覧表示時の操作

放送局名を選択:選択した放送局に切り替え

■ ワンセグ視聴画面のメニューを利用する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [テレビ] ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

視聴予約	▶P.185「テレビ番組を視聴予約する」
番組表	▶P.183「番組表を利用する」
TV リンク	▶P.182「テレビリンクを利用する」
画面向き固定	画面の向きを固定します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
設定	▶P.187「ワンセグの設定をする」

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

memo

- データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクをIS11LGに登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 ワンセグ視聴画面で登録するテレビリンクを選択

テレビリンクを表示する

1 ワンセグ視聴画面 ▶ [ ] ▶ [TVリンク]

テレビリンクリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクを選択

登録されたサイトに接続します。

テレビリンクリスト画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 テレビリンクリスト画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

全件削除	テレビリンクをすべて削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 テレビリンクリスト画面 ▶ テレビリンクをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

接続	リンク先を表示します。
詳細	選択したテレビリンクの詳細を表示します。
削除	テレビリンクを削除します。

番組表を利用する

テレビ.Gガイド番組表を利用できます。番組表からワンセグ視聴画面の表示や視聴の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。

1 ワンセグ視聴画面 ▶ [ ] ▶ [番組表]

番組表画面が表示されます。
ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [テレビ.Gガイド] ▶ [番組表] でも同様に操作できます。
番組表を初めて起動したときは、年齢、性別、利用規約、視聴地域の選択、au one-ID設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 番組を選択

番組詳細画面が表示されます。

ワンセグ

3 以下の項目をタップ

<table>
<tr><td colspan="2">裏番組を見る</td><td>裏番組の詳細を確認できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">リモート録画</td><td>Panasonic製の録画機器を選択して、リモート録画予約することができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ワンセグ</td><td>ワンセグ起動</td><td>選択した番組のチャンネルでワンセク視聴画面が表示されます。
▶P.180「ワンセグを見る」</td></tr>
<tr><td>ワンセグ視聴予約</td><td>ワンセグの視聴予約ができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">番組登録</td><td>好きなタレントやお気に入りの番組を登録しておくと、放送前に番組情報をメールでお知らせすることができます。
※ ご利用には「au one テレビ.Gガイドプレミアム（有料）」に登録する必要があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[t]／[f]／[m]／[G]</td><td>お気に入りの番組をTwitterやFacebook、mixi、GREEを通じて友達と共有できます。</td></tr>
</table>

番組表のメニューを利用する

1 番組表画面／番組詳細画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

日付変更	番組表を表示する日付を変更します。
地域設定	番組表を表示する地域を設定します。
Myページ	Myページを表示します。
検索	設定した地域の番組表から番組を検索します。
au one テレビ.Gガイド TOPへ	au one テレビ.GガイドTOPを表示します。

その他	手動更新		番組表を更新します。
	予約一覧		視聴予約画面が表示されます。 ▶P.185「テレビ番組を視聴予約する」
	リモート録画予約サイトトップ		リモート録画予約画面が表示されます。
	設定	視聴チャンネル設定	番組表に表示するチャンネルを設定します。
		番組詳細情報を表示する	番組表に番組詳細情報を表示させるかどうかを設定します。
		ヘルプ	番組表アプリの使い方を説明します。

memo

- 番組表のメニューでは、上記以外にバージョン情報の確認ができます。

テレビ番組を視聴予約する

テレビ番組の視聴の予約ができます。

番組表から予約する

1 **ワンセグ視聴画面 ▶ [ ] ▶ [視聴予約]**

視聴予約リスト画面が表示されます。

2 **[ ] ▶ [新規視聴予約] ▶ [番組表から予約]**

3 **予約したい番組を選択**

4 **[ワンセグ] ▶ [ワンセグ視聴予約] ▶ [完了]**

視聴予約リストに設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認できます。

手動で予約する

1 ワンセグ視聴画面 ▶ ［ ］ ▶ ［視聴予約］

視聴予約リスト画面が表示されます。

2 ［ ］ ▶ ［新規視聴予約］ ▶ ［番組表から予約］ ／ ［手動で予約］

3 以下の項目をタップ

開始日	開始日を設定します。
開始時刻	開始時刻を設定します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
番組名	番組名を登録します。
繰り返し	予約の繰り返しを設定します。

4 ［完了］

視聴予約リストに設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認できます。

■ 視聴予約した時刻になると

「予約アラーム設定」（▶P.187）で設定した時刻になると、アラーム通知音が鳴り、予約開始画面が表示されます。予約開始画面が表示された状態で、視聴予約した時刻になるとワンセグが起動し、予約した番組を視聴できます。

視聴予約画面のメニューを利用する

■ コンテキストメニューの場合

1 視聴予約リスト画面 ▶ 予約をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

予約の詳細	選択した予約内容の詳細を表示します。
予約を編集	選択した予約内容を編集します。
予約を削除	選択した予約を削除します。

ワンセグの設定をする

1 ワンセグ視聴画面 ▶ ［ ］ ▶ ［設定］

2 以下の項目をタップ

字幕表示	字幕の表示／非表示を切り替えます。
字幕言語切替	複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。
主・副音声切替	副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
音声切替	複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。
チャンネル設定	チャンネルリストの切り替えや編集などを行います。
予約アラーム設定	予約番組の開始時のアラーム音、アラーム時間などの設定を行います。
放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

チャンネルリストを設定する

お使いの地域（視聴エリア）によって受信チャンネルは異なります。視聴エリアは３件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面 ▶ ［ ］ ▶ ［設定］ ▶ ［チャンネル設定］ ▶ ［チャンネルリスト切替］

2 チャンネルリストを選択

チャンネルリストが設定されます。

■チャンネル設定画面のメニューを利用する

1 ワンセグ視聴画面 ▶ ［ ］ ▶ ［設定］ ▶ ［チャンネル設定］

2 以下の項目をタップ

チャンネルリスト切替	視聴エリアを切り替えます。
チャンネルリスト編集	チャンネルリストを編集します。
チャンネル追加	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに登録します。
チャンネルリスト初期化	チャンネルリストを初期化します。

アプリケーション

アプリケーション一覧

■基本機能		
	電話	電話をかけることができます。（▶P.75）
	連絡先	電話番号やメールアドレスを登録して利用できます。（▶P.84）
	SMS（Cメール）	テキストメッセージの送受信ができます。（▶P.131）
	Eメール	～@ezweb.ne.jpのEメールの送受信ができます。（▶P.93）
	ブラウザ	Webページの閲覧ができます。（▶P.147）
	マップ	現在地や目的地の地図を表示したり、目的地の検索ができます。（▶P.201）
	au one Market	auがおすすめするAndroidアプリをインストールできます。（▶P.196）
	マーケット	Androidマーケットを利用できます。（▶P.194）
	ギャラリー	microSDメモリカードに保存した静止画や動画を閲覧できます。（▶P.165）
	設定	IS11LGの各種設定を行います。（▶P.240）

■ツール		
	アラーム時計	アラームやタイマーの設定、ワールドクロックやストップウォッチが利用できます。（▶P.222）
	時計	時刻や天気予報の表示ができます。
	カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。（▶P.219）
	電卓	電卓を利用できます。（▶P.226）
	ボイスレコーダー	音声を録音したり、再生したりできます。（▶P.217）
	検索	検索ワードを入力して、IS11LG内の連絡先やアプリケーションを検索したり、Webページの検索ができます。（▶P.55）
	音声検索	Webページの情報を音声で検索します。（▶P.56）
	Link Backup	データをバックアップしたり、復元したりできます。（▶P.226）
	Wi-Fi Cast	Wi-Fi Direct™を使用して、メディアコンテンツを送受信できます。（▶P.228）
	Polaris Office	様々な文書フォーマットを簡単に読んだり、編集したりできます。（▶P.230）

■ユーティリティ		
	au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。
	au one-ID 設定	au one-IDの設定を行います。（▶P.45）
	アプリケーションマネージャー	実行中のアプリ一覧を表示したり、一括終了することができます。また、インストール済みのアプリをアンインストールすることができます。（▶P.197）
	GLOBAL PASSPORT PLUS	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
	ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。（▶P.205）
	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新を行います。（▶P.300）

■コミュニケーション		
	Skype	音声通話や、インスタントメッセージ（チャット）ができます。（▶P.206）
	Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやmixiなど複数のソーシャル・ネットワーキング・サービスの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。
	Facebook	Facebookを利用できます。（▶P.206）
	トーク	Googleトークでチャットができます。（▶P.198）
	Gmail	Gmailの送受信ができます。（▶P.141）

■カメラ／AV機能		
	カメラ	静止画／動画を撮影できます。（▶P.156）
	テレビ	テレビ（ワンセグ）やデータ放送の視聴ができます。（▶P.178）
	テレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。（▶P.183）
	音楽	保存している音楽を再生できます。（▶P.166）
	ビデオプレイヤー	保存している動画を再生できます。（▶P.172）
	LISMO Player	音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。（▶P.173）
	SmartShare	Wi-Fi® を使用して、メディアコンテンツの共有や再生ができるアプリです。（▶P.174）
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。（▶P.198）

■サービス		
	au one	au one ポータルサイトに接続します。
	GREEマーケット	au one GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。（▶P.196）
	SmartWorld	SmartWorldのサイトに接続します。
	Riptide GP	水上をジェットバイクで駆け抜けるレースゲームです。
	LISMO Book Store	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。
	地球書店 for LG	地球書店のサイトに接続します。
	ニュースEX※	最新のニュース・天気・占いなどの情報を確認することができます。（▶P.209）
	ニュースと天気	トップニュースや天気予報を閲覧できます。（▶P.207）
	プレイス	現在地の近くにあるレストランやカフェ、観光地などを簡単に探すことができます。（▶P.204）
	ナビ	Googleマップナビを起動して、目的地までの音声案内などができます。（▶P.205）

	Latitude	友だちや家族の居場所をGoogleマップで確認できます。(▶P.202)
	安心アプリ制限	お子さまに利用させたくないアプリや機能を制限できます。
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）を利用することができるアプリです。(▶P.214)
	3LM Security	IS11LGを盗難･紛失された場合に、IS11LGを遠隔操作でロックすることができます。(▶P.213)
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のIS11LGの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.213)
	ウイルスバスター	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。(▶P.213)
	auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。(▶P.210)
	取扱説明書	IS11LGの取扱説明書を表示します。(▶P.ii)

■ショートカット		
	(S) きせかえtouch<チョッパー無料Ver.>※	「きせかえtouch」は、ホーム画面をお好みのテーマにきせかえできる、スマートフォン版きせかえサービスです。
	(S) ソラテナ※	身近な天気をアンテナがつぶやきます。
	(S) ナビウォーク※	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
	(S) unlimited※	100万曲の楽曲ラインナップが聴き放題となる、月額定額制の音楽サービスを利用できます。
	(S) LISMO WAVE※	全国のFMラジオやミュージッククリップ・ライブなどの映像が楽しめます。
	(S) じぶん銀行※	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。
	(S) セカイカメラ※	セカイカメラは、スマートフォンのカメラをかざすと「その場所」「その時」に対応した情報である「エアタグ」が浮かんで見えるソーシャルARアプリです。

	(S) Photo Air※	スマートフォンで撮影した写真を、自動で自宅のパソコンに保存できます。 (C)KDDI / Powered by Eye-Fi
	(S) 瞬間日記※	日記やメモを時刻とともに記録します。ideaメモ、お薬の記録、ダイエット記録、ペットやお子様の成長記録、夢日記など、様々な用途で便利にお使いいただけます。
	(S) トレンド(ついっぷるトレンド)※	ツイッターで盛り上がっている話題（ワード·画像·有名人・ツイートなど）をランキング形式で表示します。
	(S) まとめ※	『話題やニュースを5分で』NAVERまとめは、移動中や待ち時間に、いま気になる情報を、立ち読み感覚で手軽に確認できます。
	(S) Feel on!※	ユーザーのツイートを解析して「愛情」「喜び」「悲しみ」「驚き」などの感情を特定、タイムラインをイラスト付きで漫画のように表示するなどの機能を備えます。ご利用は無料です。
	(S) picplz※	スマートフォンで撮影した写真などを簡単操作でミニチュア風やトイカメラ風のテイストに加工ができます。
	(S) LiveShare※	スマートフォンで撮影した旅行の写真などをまとめて家族や友人へ簡単に共有することができます。
	(S) Sockets LIVE※	世界や日本の様々なニュースを動画で視聴できます。

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

- 各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。
- アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

Androidアプリ

Androidマーケットを利用する

Googleが提供するAndroidマーケットから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.44)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Androidマーケット画面 ▶ [ ] ▶ [ヘルプ] と操作してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。
初回起動時には利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

memo

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中スリープモードに移行しなくなる場合やバックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。
- アプリケーションをインストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションを検索する

Androidマーケット画面には、検索アイコン、注目のアプリケーションや映画、「アプリ」「ゲーム」「映画」カテゴリへのリンクが表示されます。

- 検索アイコンをタップしてキーワードを入力すると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。
- 注目のアプリケーションや映画は、縦方向にスクロールして確認できます。
- 「アプリ」または「ゲーム」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「注目」「人気（有料）」「人気（無料）」「売上トップ」「人気の新着（有料）」「人気の新着（無料）」「最新※」に分類して表示できます。
- 「映画」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「注目」「人気のレンタル映画」「新作」に分類して表示できます。

※「アプリ」カテゴリ画面でのみ表示されます。

無料のアプリケーションをインストールする

1 Androidマーケット画面でダウンロードする無料のアプリケーションをタップ ▶［ダウンロード］または［インストール］▶［同意してダウンロード］

アプリケーションのタウンロード・インストールが開始されます。

有料のアプリケーションをダウンロードする

有料のアプリケーションをダウンロードするには、「auかんたん決済」に登録するか、Google Checkoutアカウントを作成する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションをタップ ▶ 価格をタップ ▶［au利用料金と一緒に支払い］／［カードを追加］▶［同意して購入］

- アプリケーションの初回購入時は、「auかんたん決済」に登録するか、Googleチェックアウト支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。
- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

- 詳細については、Androidマーケット画面 ▶［ ］▶［ヘルプ］と操作してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード・インストールできます。目的のアプリをカテゴリやキーワード、ランキングから検索できます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDを設定する」(▶P.45)をご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［au one Market］

au one Market画面が表示されます。
初回起動時には利用規約とご利用にあたっての注意点が表示されます。内容をご確認のうえ、［同意］▶［OK］と操作してください。

memo

- au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketの配信元によって異なります。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットではau one GREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［GREEマーケット］

GREEマーケット画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

memo

- GREEマーケットで探したゲームを利用するには、au one GREEの会員登録が必要となる場合があります。

アプリケーションを管理する

アプリケーションマネージャーを利用して、起動中のアプリケーションの確認・終了などができます。

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [アプリケーションマネージャー]**

ホーム画面で［ ］をロングタッチ ▶［アプリケーションマネージャー］でも同様に操作できます。

2 **以下の項目をタップ**

実行中のアプリケーション	起動中のアプリケーションの確認・終了ができます。
インストール済みアプリケーション	インストール済みアプリケーションの確認・アンインストールができます。
ヘルプ	アプリケーションマネージャーのヘルプを表示します。

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

Androidマーケット以外のアプリケーションのインストールの許可／無許可を設定します。

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定]**

2 **[アプリケーション]**

3 **「提供元不明のアプリ」にチェック ▶ [OK]**

インストールされたアプリケーションを削除する

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [アプリケーションマネージャー]**

2 **[インストール済みアプリケーション]**

3 **削除するアプリケーションの[アンインストール] ▶ [OK] ▶ [OK]**

YouTube

YouTubeを利用する

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の検索や視聴などができます。また、撮影した動画をアップロードすることもできます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［YouTube］

利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 動画を選択

memo

- YouTubeの詳細については、YouTube画面 ▶［ ］▶［設定］▶［ヘルプ］と操作して確認してください。

Googleサービス

Googleトークを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleトーク」を利用して、メンバーに追加した相手の方とチャットをすることができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［トーク］

トーク画面が表示されます。

❶ **ステータス**

画像や名前、ステータスメッセージなどが表示されます。相手の方の画像をタップすると、登録内容によってアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、対応したアプリケーションが起動します。

❷ ステータスアイコン

❸ モバイルインジケーター

Android搭載端末からログインしている場合に表示されます。

ステータスを編集する

1 トーク画面で自分のステータスをタップ

ステータスの設定画面が表示されます。

❶ 自分の画像

❷ ステータスメッセージ欄

❸ カスタムステータス

❹ ステータス欄

2 項目を選択して編集

画像	削除	自分の画像を削除します。
	変更	自分の画像に表示するデータを選択して登録します。
ステータスメッセージ欄		カスタムメッセージを作成できます。 メッセージを入力 ▶［完了］
ステータス欄		ステータスを変更できます。

■ ステータスの設定画面のメニューを利用する

1 ステータスの設定画面 ▶［ ］

2 以下の項目をタップ

カスタムメッセージを削除	カスタムメッセージをすべて削除します。
ログアウト	Googleトークを終了します。

アプリケーション

チャットをする

1 トーク画面でチャットするメンバーを選択

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力 ▶［送信］

■ チャット画面のメニューを利用する

1 チャット画面 ▶［ ］

2 以下の項目をタップ

<table>
<tr><td colspan="2">オフレコにする／オフレコをやめる</td><td>チャット内容の非公開／公開を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャット相手の切替</td><td>2人以上とチャットをしているとき、会話する相手の方を切り替えます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">友だちリスト</td><td>トーク画面を表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">グループチャット</td><td>チャットにメンバーを追加します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャット終了</td><td>チャットを終了します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td>チャットの履歴を消去</td><td>チャットの履歴を消去します。</td></tr>
<tr><td>絵文字を挿入</td><td>絵文字を挿入します。</td></tr>
<tr><td>連絡先を表示</td><td>連絡先を表示します。</td></tr>
</table>

友だちを管理する

■ 新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 トーク画面 ▶［ ］▶［友だちを追加］

2 追加するメンバーのGoogleアカウントを入力 ▶［招待状を送信］

■ 招待状を表示・承認する

招待状を受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示され、トーク画面に招待状が届いた旨のメッセージが表示されます。

1 トーク画面で招待状のメッセージを選択

2 ［承諾］／［キャンセル］／［ブロック］

「ブロック」を選択すると、招待状を送信した相手の方をブロックします。

■ メンバーをブロックする

1 トーク画面でメンバーをロングタッチ ▶［ユーザーをブロック］

Google トークの設定を変更する

1 **トーク画面 ▶ [ ] ▶ [設定]**

2 **以下の項目をタップ**

自動ログイン	IS11LGの電源を入れたとき、Google トークに自動でログインするかどうかを設定します。
モバイルインジケーター	相手の方にAndroid搭載端末で送信していることを通知するかどうかを設定します。
不在への自動切り替え	画面が消灯している場合、ステータスを不在に切り替えるかどうかを設定します。
検索履歴を消去	検索履歴が表示されている場合、検索履歴を消去します。
チャットの通知	メッセージ受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メッセージ受信時の音を設定します。
バイブレーション	メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
招待通知	招待状受信時に、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
利用規約とプライバシー	Googleの利用規約を表示します。

Google トークを終了する

1 **トーク画面 ▶ [ ] ▶ [ログアウト]**

Googleマップを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、現在地の確認や目的地までの経路の検索ができます。また、航空写真や渋滞状況（データ提供エリアのみ）を地図に重ねて表示できます。

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」／「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面 ▶ [ ] ▶ [ヘルプ] と操作してGoogleマップのヘルプをご参照ください。

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [マップ]**

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」を選択するとGoogleマップ画面が表示されます。
現在地を素早く検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」を選択してください。「設定」を選択すると、各機能の設定画面が表示されます。

Google Latitudeを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、友だちと位置を確認できます。また、友だちの位置までの移動経路を検索できます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［Latitude］

Latitude画面が表示されます。
現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、項目を選択します。
以降、Latitude起動時にGoogleマップ画面が表示された場合は、［ ］▶［その他］▶［Latitude］と操作するとLatitude画面を表示することができます。

友だちを招待する

Latitudeに参加したときに位置情報を共有する友だちを招待します。自分が招待した友だち、または自分を招待した友だちとだけ、位置情報を共有することができます。

1 Latitude画面 ▶［ ］▶［友だちを追加］

■ 連絡先から選択して追加する場合

2 ［連絡先から選択］▶ 連絡先を選択 ▶［はい］

■ メールアドレスを入力して追加する場合

2 ［メールアドレスから追加］▶ メールアドレスを入力 ▶［送信］▶［はい］

招待に応じる

友だちからLatitudeで現在地を共有する招待を受けたときは、共有方法を設定できます。

1 ［○件の新しい共有リクエスト］

○には、招待された件数が表示されます。

2 以下の項目をタップ

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の位置情報は共有せず、友だちの位置情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの位置情報を共有しません。

チェックインをする

現在地周辺の店舗やビルなどを指定してチェックインすることで、具体的な現在地を表示することができます。

1 **Latitude画面 ▶ 自分の情報を選択**

詳細情報画面が表示されます。

2 **[チェックイン] ▶ チェックインする場所を選択**

選択した場所が表示されたチェックイン画面が表示されます。
チェックインの共有設定や選択した場所に自動的にチェックインするかどうかなどを設定できます。
初回起動時には「Google+に参加する」画面が表示されます。「続行」を選択し、Android マーケットから「Google+」をダウンロードする必要があります。画面の指示に従って操作してください。

3 **[チェックイン]**

■ チェックアウトをする

1 **詳細情報画面でチェックイン情報を選択**

2 **[チェックイン済み] ▶ [チェックアウトする]**

memo

- 自動的にチェックインするように設定すると、その場所に行くだけで自動的にチェックインできます。

友だちの位置情報を確認する

1 **Latitude画面 ▶ 友だちの情報を選択**

友だちの詳細情報画面が表示されます。

2 **[ ]**

友だちの現在地を地図上で確認できます。

- 地図上での友だちの位置情報は、おおよその位置に友だちの名前と写真アイコンで示されます。

memo

- 友だちの詳細情報画面では、次の項目が表示／設定できます。
  - 選択した友だちの位置までの移動経路の検索
  - 位置のストリートビューの表示
  - チェックイン情報の表示／チェックインのリクエスト
  - 選択した友だちとの共有設定
  - 選択した友だちの削除

Google Latitudeを設定する

1 Latitude画面 ▶ [ ] ▶ [現在地送信]

2 以下の項目をタップ

現在地送信	現在地を検出	自分の位置情報を自動検出するように設定します。
	現在地を設定	自分の位置情報を地図上の任意の場所に指定するように設定します。
	現在地を更新しない	自分の位置情報を表示しないように設定します。
ロケーション履歴		検出した位置情報を保存するかどうかを設定します。
友だちの管理		現在地を見ることができる友だちを追加または削除します。
Latitudeからログアウト		Latitudeを終了して、Googleマップ画面を表示します。
自動チェックイン		自動的にチェックインするかどうかを設定します。
チェックイン通知		チェックインできる候補を自動的に通知するかどうかを設定します。
場所の管理		自動チェックインや非通知設定の場所を確認／変更します。

Googleプレイスを利用する

Googleが提供する「Googleプレイス」を利用して、現在地周辺の施設を、レストランやATMなどのジャンルから選び検索することができます。また、キーワードを入力して検索することもできます。

- Googleプレイスを利用するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」／「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [プレイス]

検索画面が表示されます。

■ ジャンルから周辺の施設を検索する場合

2 ジャンルを選択

［ ］▶「検索を追加」▶ キーワードを入力 ▶［追加］をタップすると、検索画面にジャンルが追加されます。

3 検索候補を選択

■ キーワードから検索する場合

2 [ ]

クイック検索ボックスが表示されます。

3 キーワードを入力 ▶ [ ]

Googleナビを利用する

Googleが提供する「Googleマップ」を利用して、現在地から目的地までのルートを検索し、ナビゲートします。

- Googleナビを利用するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」／「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［ナビ］

2 ［同意する］

■ 音声で検索する場合

3 ［目的地を音声入力］▶ 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

■ 入力して検索する場合

3 ［目的地を入力］▶ キーワードを入力 ▶［ ］

■ 連絡先に登録されている住所から検索する場合

3 ［連絡先］▶ 目的地を選択

■ スター付きの場所から検索する場合

3 ［スター付きの場所］▶ 目的地を選択

ダウンロードを利用する

ブラウザからダウンロードしたデータの一覧を表示し、データの管理を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［ダウンロード］

ダウンロードしたデータの一覧が表示されます。
ホーム画面 ▶［ブラウザ］▶［ ］▶［その他］▶［ダウンロード履歴］でも同様に操作できます。

2 データを選択

Facebookを利用する

Facebookを利用して、メッセージの投稿や閲覧などができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。

  http://www.facebook.com/

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Facebook]**

初回起動時にはエンドユーザーライセンス契約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意します」を選択してください。

2 **メールアドレスとパスワードを入力 ▶ [ログイン] ▶ [完了]**

アカウントをお持ちではない場合は「登録」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

Skype™ | auを利用する

音声通話やインスタントメッセージ（チャット）が利用できます。

- Skype™ | auを利用するには、あらかじめ、Skype™のアカウントを作成しておく必要があります。アカウントの作成や利用方法などの詳細については、Skype™のホームページやauホームページ、Skype™ | auメイン画面 ▶ [ ] ▶ [ヘルプ] と操作してSkype™ | auのヘルプをご参照ください。

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Skype]**

初回起動時にはSkype™ | auについての説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する] ▶ [続行] と操作してください。

2 **Skype名とパスワードを入力 ▶ [サインイン]**

初めてサインインしたときは、利用規約や同期設定、操作選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

❶ ムードメッセージ欄

相手の方に自分の今の状況や気分を知らせるためのムードメッセージを表示します。変更する場合は、入力した後、「共有」を選択します。

《Skype™ | au メイン画面》

❷ **コンタクト**
コンタクトリストを登録／表示します。「Skype™に発信する場合は、相手の方を選択します。」

❸ **最近**
履歴を表示します。

❹ **ダイヤルパッド**
電話をかけます。

❺ **プロフィール**
クレジット＆サービスの確認／購入や自分のプロフィールを表示／編集します。

memo

- 海外の一般電話に発信する場合は、別途Skype™クレジットの購入が必要となります。
- 国内の一般電話に発信する場合は、通常のau電話として発信／課金されます。

ニュースと天気を利用する

1 **ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［ニュースと天気］**

ニュースと天気TOP画面が表示されます。
天気情報をタップすると、当日の気温、降水確率などを確認できます。また、インターネットに接続して詳細情報を確認することもできます。
ニュースをタップすると、インターネットに接続して詳細情報を閲覧できます。

■ニュースと天気のメニューを利用する

1 **ニュースと天気TOP画面 ▶ ［ ］**

2 **以下の項目をタップ**

更新			ニュースと天気を更新します。
設定	天気予報の設定	現地情報を使用	位置情報を自動的に特定するかどうかを設定します。
		位置情報の設定	現在地情報を指定して、天気予報が表示される場所を設定します。 都市名または郵便番号を入力 ▶ ［ ］ • 日本国内の郵便番号を入力するときは、郵便番号の後にスペースを入力し、「jp」または「japan」を入力してください。 • 日本国内の都市名はローマ字で入力してください。

設定			
設定	天気予報の設定	メートル法を使用	メートル法・摂氏温度とヤードポンド法・華氏温度を切り替えます。
	ニュースの設定	ニューストピックの選択	アプリケーションで表示するトピックを設定します。 • ［カスタムトピック］▶ カスタムトピック名を入力 ▶［OK］と操作すると、カスタムトピックを追加できます。 • ［×］をタップするとカスタムトピックを削除できます。 • ニューストピックではカテゴリを選択します。
		記事のプリフェッチ	短時間でアクセスするために記事を事前に読み込むかどうかを設定します。
		画像のプリフェッチ	短時間でアクセスするために画像を事前に読み込むかどうかを設定します。
		ニュース利用規約	利用規約が掲載されているサイトへ接続します。
		モバイル版プライバシーポリシー	モバイル版プライバシーポリシーが掲載されているサイトへ接続します。
	更新の設定	自動更新	ニュースと天気を自動更新するかどうかを設定します。
		更新間隔	自動更新の間隔を設定します。
		ステータスの更新	前回の更新日時を表示します。
	アプリケーションのバージョン		ニュースと天気のバージョン情報を表示します。

au oneニュースEXを利用する

au oneニュースEXでは、ニュース・天気・占いなどの最新情報を確認することができます。

- 一部のコンテンツをご利用になるには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDを設定する」（▶P.45）をご参照ください。
- au oneニュースEXのすべてのコンテンツをご利用になるには別途お申し込み（情報料有料）が必要です。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [ニュースEX]

au oneニュースEX画面が表示されます。
初回起動時には、インストールや利用規約、各種設定を行う画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行い、[ ] をタップすると、au oneニュースEX画面が表示されます。

■ au oneニュースEX画面のメニューを利用する

1 au oneニュースEX画面 ▶ [ ]

更新			au oneニュースEXを更新します。
設定	地域の設定		天気や超速報のエリアを設定します。
	星座の設定		表示したい星座を設定します。
	表示の設定	ウィジェット	ウィジェットの色を設定します。
		アプリケーション	アプリケーションの色を設定します。
		記事の文字サイズを変更	記事の文字サイズを変更します。トップページは変更されません。
	超速報のPush通知設定		この機能はお試し版です。Googleアカウントが必要となります。
	超速報の鳴動設定	深夜帯は鳴動しない	超速報がある場合に深夜帯（23：00～07：00）に鳴動を行うかどうかを設定します。
		バイブレーションする	超速報がある場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
		音の選択	超速報がある場合にお知らせする音を設定します。

設定	省電力設定	電池持ち優先	ウィジェットの更新間隔を変更して、電池消費を調整します。
		標準	
		情報更新優先	
	カスタム設定		データ取得について設定します。
	キャッシュを削除する		サイト閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。
レイアウト再取得			レイアウトを再取得します。
利用規約			au oneニュースEXの利用規約を表示します。
ヘルプ			ヘルプを表示します。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［MENU］▶［ヘルプ］とタップしてauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［auお客さまサポート］

- 初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」を選択します。
- サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト（https://cs.kddi.com/）にて行えます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 以下の項目をタップ

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート&サービス	▶P.211「安心セキュリティパックを利用する」
ウェブサイト	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

memo

- 画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や、設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は［ ］をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター ™ モバイル for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリ ティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

- 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター ™ モバイル for au」のセットアップを行ってください。

■3LM Security

- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- IS11LGを盗難・紛失された場合に、IS11LG内のデータを削除する 場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- IS11LGを盗難・紛失された場合に、IS11LGを遠隔操作でロックすることができます。また、遠隔操作でロックを解除することもできます。
- 「3LM Security」を起動したときやIS11LGが遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的にIS11LGの端末情報をサーバーに送信します。

■リモートサポート

- 携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のIS11LGの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ウイルスバスター™モバイル for au

- 不正アプリ対策：
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ：
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策：
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック／SMSブロック：
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容に関わらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ご利用上のご注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「GPS機能を使用」（▶P.245）をオフにしていると、位置情報は通知されません。
- ご契約いただいているau ICカード情報と利用開始設定時のau ICカード情報が一致している端末の検索ができます。

3LMSecurityを利用する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [サポート&サービス] ▶ [安心セキュリティパック] ▶ [3LM Security] ▶ [個人向け設定]

- ホーム画面 ▶［アプリ］▶［3LM Security］▶［個人向け設定］でも同様に操作できます。
- 初回起動時には3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。
  内容をご確認のうえ、［同意します］▶［有効にする］をタップしてください。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [サポート&サービス] ▶ [安心セキュリティパック] ▶ [リモートサポート]

- ホーム画面 ▶［アプリ］▶［リモートサポート］でも同様に操作できます。
- 起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、［同意する］をタップしてください。

3 オペレータの指示に従って操作

ウイルスバスター™ モバイル for auを利用する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [サポート&サービス] ▶ [安心セキュリティパック] ▶ [ウイルスバスター]

- ホーム画面 ▶［アプリ］▶［ウイルスバスター］でも同様に操作できます。
- 初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、［同意する］をタップしてください。

2 項目を選択

3 画面の指示に従って操作

memo

- Webフィルタは、Android標準ブラウザでのIS NET、無線LAN（Wi-Fi®）接続時に有効です。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）を利用することができるアプリです。

1 ホーム画面▶［アプリ］▶［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がIS NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー▶［災害用伝言板］

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「アドレスの変更やその他の設定をする」（▶P.126）をご参照ください。
- Wi-Fi® 接続中は利用できません。
- 安否情報のお知らせメール機能は2012年春以降の提供開始予定です。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、緊急地震速報や災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ 2012年春以降、緊急速報メールとして「災害・避難情報」の提供を開始する予定です。詳細はauホームページでお知らせします。

お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

1 au災害対策メニュー ▶［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除		受信したメールを削除します。
設定	**受信設定**	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
- 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
  http://www.jma.go.jp/
- 電源を切っている時や通話中は、緊急速報メールを受信できません。
- SMS（Cメール）／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。
microSDメモリカードがセットされていない場合、ボイスレコーダーを起動できません。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［ボイスレコーダー］
ボイスレコーダー画面が表示されます。

❶ **現在の録音時間**
❷ **最大録音時間**
❸ **集音音量**
❹ **一覧表示**
❺ **録音／停止**
録音を開始／停止します。
❻ **再生**
ボイスデータを再生します。

録音する

1 ボイスレコーダー画面 ▶［● 録音］
録音が開始されます。

2 ［■ 停止］
録音が停止します。録音したボイスデータは自動的に保存されます。

■録音後に再生する

1 ボイスレコーダー画面 ▶［▶ 再生］
録音を行った直後では、録音したボイスデータが再生されます。

memo

- 録音中に着信があった場合は、録音を停止してデータを保存します。

再生する

1 ボイスレコーダー画面 ▶ [≡一覧]

2 再生したいボイスデータをタップ

録音したボイスデータが再生されます。

❶ **再生位置**

❷ **現在の再生時間**

❸ **全再生時間**

❹ **共有**

Bluetooth® やEメールなどで送信します。

❺ **削除**

選択したデータを削除します。

❻ **一覧**

録音したボイスデータの一覧が表示されます。

❼ **録音／停止**

[● 録音]：録音します。
[■ 停止]：停止します。

❽ **再生／一時停止**

[▶ 再生]：再生します。
[II 一時停止]：一時停止します。

■ ボイスレコーダー再生画面のメニューを利用する

1 ボイスレコーダー再生画面 ▶ [メニュー]

ボイスデータの再生中や一時停止中の場合は、[■ 停止] をタップしてから、[メニュー] を行ってください。

リネーム	録音したボイスデータの名前を変更します。
電話の着信音として設定する	電話の着信音として設定します。

memo

- ボイスデーター覧画面でボイスデータをロングタッチすると、ファイル情報の確認やリネームなどができます。

アプリケーション

カレンダーを利用する

カレンダーを1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- 「アカウントと同期」を利用して、サーバに保存されたカレンダーとIS11LGのカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カレンダー］

❶ **月**
カレンダーの表示を1ヶ月表示に切り替えます。

❷ **週**
カレンダーの表示を1週間表示に切り替えます。

❸ **日**
カレンダーの表示を1日表示に切り替えます。

❹ **予定リスト**
登録されている予定リストを表示します。

《カレンダー画面》

❺ **今日**
今日の日付が選択されます。

❻ **今日の日付**
左上に矢印が表示されます。

❼ **選択されている日付**
オレンジの背景色で表示されます。

❽ **予定の新規作成**
▶P.220「予定を新規登録する」

❾ **予定が登録されている日付**
登録されている予定がある場合、日付の右側に帯が表示されます。
登録した予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

❿ **予定**
登録されている予定の開始時刻やタイトルなど、繰り返しやアラームの有無が表示されます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

移動先	素早く日付を移動したいときに使用します。
検索	スケジュールを検索できます。
今すぐ同期	サーバに保存されたカレンダーと同期を行います。
予定の新規作成	▶P.220「予定を新規登録する」
カレンダー	登録されている内容をタップすると、カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
設定	▶P.221「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面 ▶ [ ] ▶ [予定の新規作成]

カレンダー画面 ▶ [ ] でも同様に操作できます。
予定編集画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終了	
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
終日	予定を終日に設定します。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
カレンダー	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
繰り返し	予定の繰り返しを設定します。

通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 ・「 」をタップすると、通知設定を削除できます。
通知の追加	「 」をタップすると、通知設定を追加できます。

3 [保存]

memo

・ 予定編集画面 ▶ [ ] ▶ [通知の追加] ／ [詳細項目の表示] と操作すると、通知の追加や詳細項目(外部向け表示・公開設定)を設定できます。

カレンダーを設定する

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 カレンダー画面 ▶ [ ] ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示にします。
週の先頭の設定	週の先頭の曜日を日／月から選択します。
自宅タイムゾーン(上)	渡航先でも自宅のタイムゾーンでカレンダーと予定時刻を表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン(下)	自宅のタイムゾーンを設定します。
通知方法	登録した予定を通知するときの方法を設定します。
通知音の選択	予定通知時の音を設定します。
バイブレータ	予定通知時のバイブレータの動作を設定します。
デフォルトの通知時間	予定入力項目の「通知」にあらかじめ入力される時間を設定します。

memo

・ 設定画面では、上記以外にビルドバージョンが確認できます。

予定を確認／編集する

1 カレンダー画面 ▶ 1ヶ月表示画面で予定の入っている日付を選択

2 予定を選択

予定詳細画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

通知の追加	通知を追加します。 「⊕」／「⊖」をタップすると、通知設定を追加／削除できます。
編集	登録した予定を編集します。
共有	登録した予定をEメールやGmailで送信します。
削除	予定を削除します。

memo

- 表示されている予定をロングタッチすると、予定の表示／編集／削除などの操作ができます。
- 1週間表示画面で対象の時刻をロングタッチすると、予定の新規作成ができます。
- 1日表示画面で対象の時刻をロングタッチすると、予定の新規作成ができます。また、予定の入っている時刻をロングタッチすると、予定のコピーができます。

アラーム／タイマー／ワールドクロック／ストップウォッチを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。15件まで登録できます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［アラーム時計］▶［アラーム］

アラーム画面が表示されます。
アラーム画面には「ON／OFF」「時刻」「繰り返し」が表示されます。アラームが「ON」のときはアラームアイコンはオレンジ色、「OFF」のときはアラームアイコンはグレーアウトされます。

2 アラームを選択

3 各項目を編集 ▶［保存］

編集内容を保存して、アラーム画面に戻ります。
アラーム編集中に［キャンセル］をタップすると、編集中のアラーム設定が初期化されます。

memo

アラームを設定した時刻になると

- アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。
- ［停止］／［⌂］をタップするか、音量キー（UP ／ DOWN）を押すとアラームは停止します。
- 電源が入っていない場合、アラームは鳴動しません。
- アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、スヌーズの設定にかかわらず、バイブレータが起動します。また、通話中画面にメッセージが表示されスヌーズモードになります。

スヌーズモードを設定すると

- スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中に［停止］をタップするか、音量キー（UP ／ DOWN）を押す、または通知パネルに「スヌーズ中...」が表示されているときに通知をタップします。
- アラーム鳴動中に［スヌーズ］／［⌂］をタップすると、アラームを停止します（スヌーズは解除されません）。

■ アラームの入力項目について

項目	説明
時刻	お知らせする時刻を設定します。 • アラーム設定が無効の場合、時刻を設定すると自動的にアラーム設定が有効になります。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日などで指定します。 • 毎日アラームを鳴動させたい場合は、「曜日」の設定ですべての曜日を選択します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
バイブレータ	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
パズルロック	アラームを止めるためにパズルを解くかどうかを設定します。
メモ	メモを入力できます。

■アラームの鳴動方法を設定する

1 アラーム画面 ▶［ ］▶［設定］

2 以下の項目をタップ

マナーモード中の鳴動	マナーモードでもアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラーム音量	アラームの音量を設定します。
サイドボタンの動作	アラーム鳴動中に音量キーを押したときの動作を設定します。
パズルロックオプション	パズルロックで使用するパズルの種類を選択します。

タイマーで時間を計る

最大23時間59分59秒までタイマーを設定できます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［アラーム時計］▶［タイマー］

タイマー画面が表示されます。

2 時間を選択 ▶［開始］

カウントダウンを開始します。
「キャンセル」でカウントダウンをやり直すことができます。
バイブレータを有効にするかどうか、通知音の設定も行えます。

memo

アラーム鳴動中にタイマーが起動した場合

- アラームがスヌーズモードになり、タイマーが鳴動します。

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［アラーム時計］▶［ワールドクロック］**

世界時計画面が表示されます。

2 **［都市の追加］▶ 確認する都市を選択**

世界時計画面に選択した都市が表示されます。
［ ］をタップすると、地球儀から都市を選択できます。

memo

- サマータイムに切り替えた都市には、時計の右上に が表示されます。サマータイムの期間により、時刻が正確に表示されない場合があります。

世界時計のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **世界時計画面 ▶［ ］**

2 **以下の項目をタップ**

都市の追加	表示する都市を選択して追加します。
削除	表示している都市を選択して削除します。
すべて削除	すべての都市を削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 **世界時計画面で都市をロングタッチ**

2 **以下の項目をタップ**

サマータイムの設定	時刻をサマータイムで表示するかどうかを設定します。
削除	選択した都市を削除します。

ストップウォッチで時間を計る

1/10秒単位で59分59秒9まで計測できます。最大100件のスプリットタイム（合計経過時間）を記録できます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［アラーム時計］▶［ストップウォッチ］**

2 **［開始］**

「ラップ」を選択するたびに、区間ごとのスプリットタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「停止」／「再開」で計測を一時停止／再開できます。
また、「リセット」で計測中の記録をすべて破棄します。

電卓で計算する

最大10桁の計算を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［電卓］

memo

- ［▼］をタップすると履歴を表示できます。
- 「クリア」をロングタッチすると、数値／エラーをすべてクリアできます。
- 表示されている数値をロングタッチすると、数式や計算結果を編集することができます。「文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける」「入力ソフトを切り替える」については、「文字入力の便利な機能を利用する」（▶P.70）をご参照ください。

■ 電卓画面のオプションメニューの場合

1 電卓画面 ▶ ［ ］

履歴消去	履歴を削除します。
関数機能	関数機能を利用します。

Link Backupを利用する

「Link Backup」アプリケーションを利用すると、通話ログ（通話履歴）、連絡先、カレンダー（スケジュール）、システム設定、ブックマーク、メッセージ（SMS（Cメール））をmicroSDメモリカードにバックアップできます。

memo

- 同期されている連絡先はバックアップされません。

バックアップする

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［Link Backup］

Link Backupトップ画面が表示されます。
初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、［同意］をタップします。

2 ［バックアップ］ ▶ ［メモリーカード］

3 ［新規追加］

すでにバックアップしたファイルがある場合は、ファイル名をタップするとファイルを置き換えてバックアップできます。

4 バックアップファイルの名前を入力し、［続行］

バックアップ項目のリストが表示されます。

5 チェックを付ける／外す

6 ［続行］

バックアップファイルが作成されます。

7 バックアップ完了画面で、［続行］

Link Backupトップ画面が表示されます。

バックアップファイルから復元する

データを復元する場合は、microSDメモリカードのバックアップファイルに含まれるデータで、IS11LGのデータを置き換えます。データの復元には十分ご注意ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［Link Backup］

Link Backupトップ画面が表示されます。

2 ［復元］▶［メモリーカード］

3 復元するファイルをタップ

復元項目のリストが表示されます。

4 チェックを付ける／外す

5 ［続行］▶［データの復元］

バックアップファイルからデータが復元されます。

6 データ復元完了画面で、［続行］

復元項目にシステム設定が含まれる場合、データ復元完了画面で、［はい］をタップします。IS11LGが再起動します。

バックアップのスケジュールを設定する

スケジュールを設定すると、自動的にバックアップができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［Link Backup］

Link Backupトップ画面が表示されます。

2 ［予約設定］▶［メモリーカード］

3 バックアップする周期を選択

［毎週］、［2週間毎］、［毎月］を選択した場合は、続けて曜日や日付を選択します。

4 ［続行］

バックアップ項目のリストが表示されます。

5 チェックを付ける／外す

6 ［続行］

バックアップのスケジュールが設定されます。

memo

- 「バックアップ開始時刻」で開始時刻を設定してください。
- IS11LGの電源を切っている場合は、バックアップ開始時刻になってもバックアップは実行されません。

Link Backupの設定を変更する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Link Backup]

Link Backupトップ画面が表示されます。

2 [ ] ▶ [設定]

バックアップ設定画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

セキュリティ	暗号化の有効化	保護を強化するためにバックアップファイルを暗号化します。
	パスワードの変更	バックアップファイルの暗号化に使用するパスワードを変更します。
予約設定したバックアップ	保存バックアップ数	何回分のバックアップを保持するか設定します。

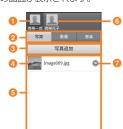
Wi-Fi Castを利用する

Wi-Fi Direct™を使用して、メディアコンテンツを送受信できます。

- Wi-Fi Castを利用するには、あらかじめ「Wi-Fi Direct™」を有効にして、他のデバイスと接続する必要があります。
- 「Wi-Fi Direct™」を有効中は、「Wi-Fi®」は無効になります。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Wi-Fi Cast]

初めてお使いの場合には、使いかたの画面が表示されます。

1. 自分の画像
2. コンテンツの種類タブ
3. [写真追加] ／ [動画追加] ／ [音楽追加]
4. ファイル
5. 転送リスト
6. 相手の画像
7. 転送ボタン

■ ファイルを転送リストに追加する場合

2 [写真追加] ／ [動画追加] ／ [音楽追加]

3 ファイルを追加

■ ファイルを個別に転送する場合

2 相手先をタップ

3 ファイルの［ ］をタップ

ファイル転送画面が表示されます。ファイル転送画面で転送の状況が確認できます。

■ ファイルを複数転送する場合

2 相手先をタップ

3 ［ ］▶［転送］

4 ファイルをチェック ▶［転送］

ファイル転送画面が表示されます。ファイル転送画面で転送の状況が確認できます。

Wi-Fi Castのメニューを利用する

■ Wi-Fi Cast画面のオプションメニューの場合

1 Wi-Fi Cast画面 ▶［ ］

2 以下の項目をタップ

転送	ファイルを転送します。
削除	ファイルを転送リストから削除します。
ソート	ファイルの並び順を変更します。
終了	Wi-Fi Castを終了します。
設定	マイプロフィール、パスワードなどの設定を変更します。

■ Wi-Fi Cast画面のコンテキストメニューの場合

1 Wi-Fi Cast画面でアイテムをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

プレビュー	ファイルを表示します。
転送	ファイルを転送します。
削除	ファイルを転送リストから削除します。
詳細情報	ファイルの詳細情報を表示します。

Polaris Officeを利用する

Polaris Officeを利用して、IS11LG本体内やmicroSDメモリカードに保存されているWord、Excel、PowerPointなどのファイルを読んだり、編集したりできます。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Polaris Office]

memo

- ユーザー登録をしていないと､「Polaris Office」を起動した際にユーザー登録画面が表示されます。
- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。
- パソコンなどで作成したファイルは、パソコンでの表示と異なっていたり表示できない場合があります。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカードを含む）をIS11LG本体にセットして、データを保存することができます。また、連絡先、メール、ブックマークなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS11LGでは正常に使用できない場合があります。IS11LGで初期化してください。（▶P.238）
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えてもIS11LGで再生できない場合があります。

<IS11LGの記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分でIS11LGに登録された内容や、外部からIS11LGに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
  IS11LGのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消失したり変化したりすることがあります。

※ 控え作成の手段

連絡先などの文字情報やダウンロードした辞書は、microSDメモリカードにバックアップすることをおすすめします。

ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■取扱上のご注意

- データの読み込み中、書き込み中、再生中、保存中などに、電池パックを取り外したり、microSDメモリカードを抜いたり、IS11LG本体や機器の電源を切ったりしないでください。IS11LG本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる、または消去されることがあります。
- microSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる、または消去されることがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- IS11LGにmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。

- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次のとおりになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせください。

<microSD ／ microSDHCメモリカード>

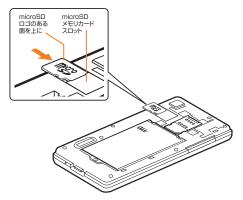
発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	-	○	○	○
Panasonic	○	○	○	-	-
Lexar	○	○	○	○	-
Transcend	-	-	○	○	-
ELECOM	-	○	-	-	-
ソニー	-	○	○	-	-
IO-DATA	○	-	-	-	-

○：動作確認済み
-：未確認または未発売
2011年11月現在

※ 4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。
※ IS11LGでは、2011年11月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 電池フタを取り外す

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、まっすぐにゆっくり差し込む

3 電池フタを装着する

memo

- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 ホーム画面▶［ ］▶［設定］▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］▶［OK］

2 電池フタを取り外す

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

4 電池フタを装着する

memo

- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

ファイル管理

microUSBケーブルでパソコンと接続する

microSDメモリカードをセットしたIS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続して、IS11LGにセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。
「USB充電」を有効にすると、パソコンの充電可能なUSBポートに接続してIS11LGを充電できます。

- microSDメモリカードが挿入されていない場合、パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。
- 外部メモリーモードを使用する場合は、パソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

1 **パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続**

2 **IS11LGが完全に起動している状態で、microUSBケーブルをIS11LGの外部接続端子に接続**

3 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [外部接続] ▶ [USB接続モード]**

4 **以下の項目をタップ**

充電のみ	充電のみが行えます。
外部メモリーモード	▶P.236「メモリカードリーダー／ライターとして使う」
PC接続	▶P.236「PC接続モードでパソコンからデータを転送する」

memo

- IS11LGをパソコンに接続すると、自動的にUSB接続モードのメニューが表示されます。
- Windows XP ／ Windows Vista ／ Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
- USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
- 通信中に電池パックを取り外さないでください。

■ メモリカードリーダー／ライターとして使う

IS11LGをメモリカードリーダー／ライターとして利用することができます。
あらかじめパソコンとIS11LGを接続し、「USB接続モード」を「外部メモリーモード」に設定してください。

1 パソコンを操作してデータを転送

2 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、IS11LGを停止

3 microUSBケーブルをIS11LGから取り外す

microUSBケーブルのコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

- マウント中は、IS11LGのアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作するとmicroSDメモリカードが挿入されていない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は、外部メモリーモードを解除してから再度操作してください。
- マウント中は、microSDメモリカードにインストールしたアプリケーションを起動することはできません。

■ PC接続モードでパソコンからデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データをIS11LGのmicroSDメモリカードに保存します。
あらかじめパソコンとIS11LGを接続し、「USB接続モード」を「外部メモリーモード」または「PC接続」に設定してください。

1 パソコンのWindows Media Playerを起動

Windows Media Player11 ／ 12をご使用ください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行

登録したデータが自動的にIS11LGに転送されます。

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、IS11LGを停止

4 microUSBケーブルをIS11LGから取り外す

microUSBケーブルのコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

- 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- 著作権保護されていないデータでも、IS11LG以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- IS11LG以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、PC接続モードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードをIS11LGで初期化することをおすすめします。なお、microSDメモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- 拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- 著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、データの初期化などを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

メモリの使用量を確認する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]

microSDメモリカードと端末容量の設定画面が表示されます。

合計容量	microSDメモリカードの合計容量が確認できます。
空き容量	microSDメモリカードの空き容量が確認できます。 • メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
SDカードのマウント解除／SDカードのマウント	microSDメモリカードの認識を解除し、取り外し可能な状態にします。／microSDメモリカードを認識します。
SDカードのデータを消去	▶P.238「microSDメモリカードをフォーマットする」
空き容量	本体の空き容量が確認できます。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータ（アプリケーションを含む）はすべて削除されます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [SDカードのマウント解除] ▶ [OK]

2 [SDカードのデータを消去]

3 [SDカードのデータを消去] ▶ [実行する]

memo

- フォーマットは、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
- マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、「SDカードのマウント」を選択してください。
- データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

端末設定

IS11LGについて設定する

1 **ホーム画面 ▶［ ▤ ］▶［設定］**

設定メニュー画面が表示されます。

無線とネットワークの設定をする

機内モード、Wi-Fi®、Bluetooth®、モバイルネットワーク設定など、通信に関する設定を行います。

1 **設定メニュー画面 ▶［無線とネットワーク］**

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
機内モード	ワイヤレス機能がすべてオフになります。
Wi-Fi	▶P.257「無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする」
Wi-Fi設定	▶P.257「Wi-Fi®ネットワークに接続する」
Wi-Fi Direct設定	▶P.259「Wi-Fi Direct™対応機と接続する」
Bluetooth	▶P.263「Bluetooth®機能を有効にする」
Bluetooth設定	▶P.265「Bluetooth®機器を登録する」

項目		説明
VPN設定		VPNの設定や管理を行います。 • VPN（Virtual Private Network）とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。 VPNを追加する場合 1.［VPNの追加］▶ VPNの種類を選択 2. 必要な項目を設定／入力 3.［ ▤ ］▶［保存］ VPNに接続する場合 1. VPNを選択 2. ユーザー名とパスワードを入力 ▶［接続］
モバイルネットワーク	**データ通信を有効にする**	データ通信を使用するかどうかを設定します。 • 無効にすると、Eメールの送受信やSMS（Cメール）の送信などができなくなります。
	データローミング	▶P.293「データローミングを設定する」
	PRL更新	PRLのバージョンを更新します。
	auネットワーク設定	auネットワークを有効にするかしないかを設定します。また、ID／パスワードも設定します。
	エリア設定	CDMAローミングモードを変更します。

フィルタリング設定	青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断するかどうかを設定します。

memo

フィルタリング設定について

- フィルタリング機能は、Wi-Fi®接続時は無効です。
- フィルタリング設定を有効にするときに入力したパスワードは、無効にするときに必要です。お忘れにならないようご注意ください。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 **設定メニュー画面 ▶［無線とネットワーク］**

2 **［機内モード］**

memo

- 携帯電話の使用が禁止されている場所（航空機内、医療機器や電子機器のそばなど）では、電源を切ってください。
- 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。ただし、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能については機内モード設定中に再び有効にすることができます。

通話に関する設定をする

留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶ ［通話設定］

2 以下の項目をタップ

着信拒否	▶P.242「着信を拒否する」
留守番電話	▶P.270「お留守番サービスを利用する（標準サービス）」
着信転送	▶P.279「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」
通話時間表示	前回通話・累積の通話時間の目安を表示します。 • 各項目をタップすると、表示されている時間をリセットできます。

memo

通話時間について

- 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面 ▶ ［通話設定］ ▶ ［着信拒否］ ▶ ［着信拒否］

2 以下の項目をタップ

OFF	着信を拒否しません。
拒否リスト	拒否リストに登録されている電話番号からの着信を拒否します。
すべて	すべての着信を拒否します。
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。

memo

- 着信転送サービスのフル転送を設定している場合は、着信拒否に設定しても着信転送サービスに転送されます。
- 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

拒否リストを登録する

特定の電話番号を指定して、その番号からの着信を拒否します。

1 設定メニュー画面 ▶［通話設定］▶［着信拒否］▶［拒否リスト］

2 ［ ▘］▶［新しい番号を登録］

連絡先	連絡先から拒否する電話番号を選択して登録します。
通話履歴	通話履歴から拒否する電話番号を選択して登録します。
新規登録	拒否する電話番号を入力して登録します。

音・バイブレータの設定をする

マナーモードの設定、音声着信音、メール受信音、操作音、バイブレータ（振動）、メディア再生音量などを変更できます。

1 設定メニュー画面 ▶［サウンド］

2 以下の項目をタップ

マナーモード	▶P.244「マナーモードを設定する」
バイブ	着信時のバイブレータを有効にするかどうかを設定します。
音量	着信音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。
着信音の選択	音声着信音に設定するデータを選択して登録します。
通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
タッチ操作音	数字キーで電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
選択時の効果音	メニュー選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
画面ロック時の音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
入力時バイブレータ	ソフトキーを押したときなどにバイブレータが動作するかどうかを設定します。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 設定メニュー画面 ▶ [サウンド] ▶ [マナーモード]

memo

- 自動車または原動機付自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。
- マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
- マナーモード中でもムービーやミュージックの再生では消音されません。
- を長押し ▶ [マナーモード] でも同様に操作できます。

画面の設定をする

アニメーション表示、画面の向き（縦横表示の切り替え）、画面消灯など、画面表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [表示]

2 以下の項目をタップ

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 • [画面の明るさを自動調整する] ▶ [明るさ自動調節] ／ [省電力] ▶ [OK] と操作すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
画面の自動回転	IS11LGの向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
アニメーション表示	画面が切り替わるときのアニメーション表示を設定します。
バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。

ジェスチャーの設定をする

各種モーションジェスチャーの有効／無効を設定したり、ジェスチャーセンサーの再キャリブレーションを行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [ジェスチャー]

2 以下の項目をタップ

モーションジェスチャー	モーションジェスチャーの各機能を使用するかどうかを設定します。
センサーの調整	ジェスチャーセンサーの再調整を行います。

位置情報とセキュリティの設定をする

GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定や、画面ロックの設定などのセキュリティに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [位置情報とセキュリティ]

2 以下の項目をタップ

無線ネットワークを使用		Wi-Fi®またはモバイルネットワークを利用して位置情報を取得するかどうかを設定します。
GPS機能を使用		高精度な位置情報を取得するかどうかを設定します。
A-GPSを使用する		GPS性能を向上させる補助データをサーバから取得するかどうかを設定します。
画面ロックの設定	**なし**	パターン、PIN、またはパスワードで画面をロックします。
	パターン	
	PIN	
	パスワード	
UIMカードのロック設定	**UIMカードロック**	起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力 ▶ [OK]**

UIMカードのロック設定	UIM PINの変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードロック」を有効に設定してください。 **1. 古いPINコードを入力 ▶ [OK]** **2. 新しいPINコードを入力 ▶ [OK]** **3. 確認のためもう一度新しいPINコードを入力 ▶ [OK]**
パスワードの表示		ロック解除時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者の選択		デバイス管理者が認証済みのときに、デバイス管理者を設定します。
安全な認証情報の使用		安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。 **認証情報ストレージパスワードを入力 ▶ [OK]** • あらかじめ「パスワードの設定」から認証情報ストレージパスワードを設定しておいてください。

SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。 **1. 認証情報のパスワードを入力 ▶ [OK]** **2. 証明書の名前を指定 ▶ [OK]** • 認証情報ストレージパスワードを設定していない場合は、設定画面が表示されます。認証情報ストレージパスワードを設定してください。
パスワードの設定	認証情報ストレージパスワードを設定します。 **1. 古い認証情報ストレージパスワードを入力※** **2. 新しい認証情報ストレージパスワードを入力** **3. 確認のためもう一度新しい認証情報ストレージパスワードを入力 ▶ [OK]** **※ 以前にパスワードを設定していた場合のみ入力が必要です。**
ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

memo

GPS機能を使用について

- 電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
- 電波が良好な場所でご利用ください。

A-GPS設定について

- A-GPSを使用する場合、1日あたり約40KBの補助データをダウンロードします。
- A-GPSが有効な場合でもGPS機能を使用しない場合は、補助データはダウンロードされません。

ロック設定について

- 画面ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）への電話はかけられます。
- ロック解除方法をパターンに設定している場合、画面ロック解除時に入力に5回失敗すると、「パターンを忘れた場合」が表示されます。「パターンを忘れた場合」をタップし、Googleアカウントでログインしてロックを解除すると、新しいパターンを設定できます。ただし、Googleアカウントを設定していない場合、「パターンを忘れた場合」は表示されません。

ロック解除方法について

- パスワードは、4～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。

UIMカードロック設定について

- PINコードについては、「PINコードについて」（▶P.29）をご参照ください。

アプリケーションの設定をする

アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。

1 **設定メニュー画面 ▶ ［アプリケーション］**

2 **以下の項目をタップ**

提供元不明のアプリ	ブラウザでダウンロードしたアプリケーションなど、提供元が不明な場合でもインストールを許可するかどうかを設定します。
アプリケーションの管理	インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。
実行中のサービス	実行中のサービスを表示します。 • サービスを選択 ▶ ［停止］ ▶ ［OK］と操作すると、実行中のサービスを停止することができます。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	利用中の機能の電池使用量を項目ごとに表示します。 • 項目を選択すると、電池使用量の詳細が表示されます。 • 電池使用量を調整できる項目の場合、詳細画面に表示される機能名をタップして、調整する画面を表示できます。

開発	USBデバッグ	USB接続時にデバッグモードにするかどうかを設定します。
	スリープモードにしない	充電中やパソコンと外部メモリーモード／PC接続モードで接続中に、スリープモードにならないようにするかどうかを設定します。
	擬似ロケーションを許可	擬似位置情報データの利用を許可するかどうかを設定します。

アプリケーションの管理について

- Androidマーケットなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。

開発について

- 開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
  http://developer.android.com/

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ ［アカウントと同期］

2 以下の項目をタップ

バックグラウンドデータ	アプリケーションが、いつでも自動的にデータ通信できるようにするかどうかを設定します。
自動同期	自動的にデータを同期するかどうかを設定します。 • 「アカウントを管理」の一覧に登録されたアカウント内の有効に設定された項目が自動同期されます。

端末設定

自動同期を設定する

IS11LGとGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期]

2 [バックグラウンドデータ]

3 [自動同期]

■自動同期する対象を設定する

4 同期するアカウントを選択

5 同期する項目にチェックを付ける ▶ [↩]

memo

- 「バックグラウンドデータ」にチェックを付けると、IS11LGにインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。さらに「自動同期」にチェックを付けると、アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。

手動で同期する

「自動同期」が無効のとき、登録されたアカウントを同期します。

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期]

2 同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

すべての項目を同期する場合は、[今すぐ同期]をタップします。

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期] ▶ [アカウントを追加]

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期] ▶ 削除するアカウントを選択 ▶ [アカウントを削除]

2 [アカウントを削除]

memo

- 他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」が必要です。

プライバシーの設定をする

データのバックアップ／復元を行ったり、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **設定メニュー画面 ▶［プライバシー］**

2 **以下の項目をタップ**

データのバックアップ	本体の設定とアプリケーションデータのバックアップを行います。
自動復元	アプリケーションの再インストール時にバックアップした設定やそのほかのデータを復元します。
データの初期化	▶P.250「IS11LGを初期化する」

IS11LGを初期化する

IS11LGをお買い上げ時の状態に戻します（リセット）。この操作を行うと、ご購入後にIS11LGにお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 **設定メニュー画面 ▶［プライバシー］▶［データの初期化］**

2 **［携帯電話のリセット］**

3 **［すべて消去］**

memo

- データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。
- データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 「SDカードのデータを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータも消去されます。
- 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
  - エリア設定
  - UIMカードロック設定

ストレージ

microSDメモリカードと端末容量の確認や初期化をする

microSDメモリカードや本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードのマウント/マウント解除や初期化を行います。(▶P.237「メモリの使用量を確認する」)

使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする

表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [言語とキーボード]

2 以下の項目をタップ

項目	説明
言語の選択	日本語と英語の表示を切り替えます。
ユーザー辞書	ユーザー辞書を表示します。 ・[ ] ▶ [追加] ▶ 単語などを入力 ▶ [OK] と操作すると、単語リストに単語などを登録できます。 ・登録した単語などを編集/削除する場合は、単語などを選択し [編集] / [削除] を選択します。
iWnn IME設定	▶P.71「iWnn IMEの設定を行う」

音声入出力の設定をする

Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。

1 設定メニュー画面 ▶ [音声入出力]

2 以下の項目をタップ

音声認識の設定	言語	音声入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	デモを聞く	音声合成の短いデモンストレーションを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に「音声の速度」と「言語」の設定に従って再生するかどうかを設定します。
	既定のエンジン	テキストを読み上げる場合に使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データのインストール	Androidマーケットから音声データをインストールできます。
テキスト読み上げの設定	読み上げ速度の調整	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	Pico TTSを設定します。 Androidマーケットからデータをインストールすることができます。

memo

- 音声入力する言語により、「セーフサーチ」「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。
- テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語の選択」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。
- インストールした音声データを削除するには、「データの初期化」が必要です。

ユーザー補助の設定をする

通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。
お買い上げ時はオプションが登録されていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめオプションをAndroidマーケットなどからダウンロードして登録する必要があります。
オプションを登録後、以下の操作でオプションを設定します。

1 **設定メニュー画面 ▶ [ユーザー補助]**

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示された場合は、「OK」を選択してユーザー補助アプリケーションをインストールしてください。

2 **以下の項目をタップ**

ユーザー補助	ユーザー補助オプションを利用するかどうかを設定します。 • ユーザー補助オプションを利用する場合は、利用するユーザー補助サービスを有効にしてください。
電源ボタンで通話を終了	通話中に を押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。

外部接続の設定をする

外部機器と接続するための設定を行います。

1 **設定メニュー画面 ▶ [外部接続]**

2 **以下の項目をタップ**

USB接続モード	**充電のみ**	充電のみを行います。
	外部メモリーモード	マスストレージとして接続します。
	PC接続	パソコンに接続して連絡先、カレンダーなどをバックアップします。
常に確認する		パソコンと接続するときに、USB接続モードを常に確認するかどうかを設定します。
On-Screen Phone		On-Screen Phone機能を有効にするかどうかを設定します。
On-Screen Phoneの切断		On-Screen PhoneとIS11LGの接続を解除します。
パスワードの変更		パソコンとUSB接続またはBluetooth®接続してパソコン上に操作するときのパスワードの変更を行います。
Wi-Fi接続		Wi-Fi®でPC Suiteに接続するかどうかを設定します。

■LG On-Screen Phone（OSP）とは

LG On-Screen PhoneはIS11LGの画面をパソコンで表示でき、パソコンのマウス／キーボード入力を使ってIS11LGを簡単に操作できる機能※です。
パソコンのキーボードを使って文字を入力したり、アラームやスケジュールや電話の着信などをパソコンに通知したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンとIS11LGでファイルの交換をしたりできます。

※ IS11LGで操作できる機能のうち、LG On-Screen Phoneでは操作できない機能もあります。

OSPについて詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

■LG PC Suiteとは

LG PC SuiteはIS11LGとパソコンをWi-Fi®でリンクして、データの管理や同期、転送などができる機能です。
IS11LGでパソコンに保存しているマルチメディアコンテンツを利用したり、マーケットなどで購入したアプリケーションを管理・転送したり、IS11LGの状態をバックアップ･復元したりできます。
PC Suiteについて詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

memo

- IS11LGがLG PC Suiteに認識されている状態でmicroUSBケーブルの抜き差しを行うと、IS11LGのUSB接続モードを設定しない状態でもLG PC SuiteからIS11LGが認識されます。

日付と時刻を設定する

日付と時刻の表示形式の設定などをします。

1 設定メニュー画面 ▶ ［日付と時刻］

2 以下の項目をタップ

自動	ネットワークから通知される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
日付の設定	日付を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
時刻の設定	時刻を設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付表示形式の選択	日付の表示形式を設定します。

端末情報に関する設定をする

電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

1 設定メニュー画面 ▶ ［デバイス情報］

2 以下の項目をタップ

ソフトウェア更新	▶P.300「ソフトウェアを更新する」
デバイスの状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
電池使用量	利用中の機能の電池使用量を項目ごとに表示します。 ・ 項目を選択すると、電池使用量の詳細が表示されます。 ・ 電池使用量を調整できる項目の場合、詳細画面に表示される機能名をタップして、調整する画面を表示できます。
法的情報	オープンソースのライセンスやGoogle利用規約が確認できます。

memo

- デバイス情報画面では、上記以外にモデル番号やソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

データ通信

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
無線LAN（Wi-Fi®）を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

- ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント（無線LAN親機）をご用意ください。
- 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］▶［Wi-Fi］にチェックを付けるか、ステータスバーを下方向にスライドしてWi-Fi®アイコンをタップしても同様に操作できます。

memo

- 「Wi-Fi®」と「Wi-Fi Direct™」を同時に使用することはできません。［Wi-Fi］を有効にすると、「Wi-Fi Direct™」は切断されます。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］

Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力 ▶［接続］

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを自動で登録する

■ WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [簡単無線LAN設定]

2 アクセスポイント機器（無線LAN親機）のWPSボタンを押し続けて、WPSモードに設定する

アクセスポイントが登録されます。

memo

- アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器（無線LAN親機）側の取扱説明書や設定をご確認ください。
- 簡単登録で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [Wi-Fiネットワークの追加]

2 ネットワークSSIDを入力 ▶ セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力 ▶ [保存]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1 x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定／入力 ▶ [保存]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
- Wi-Fi設定画面 ▶ アクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワーク設定を変更] と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

アクセスポイントとの接続を切る

1 **Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントを選択 ▶ [切断]**

Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークの切断] でも同様に操作できます。

memo

- アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fi®のネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [ネットワーク検出通知]**

接続を一時停止するタイミングを設定する

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [ ] ▶ [詳細設定] ▶ [Wi-Fiのスリープ設定]**

2 **Wi-Fiのスリープ設定を選択**

固定IPアドレスを使用して接続する

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [ ] ▶ [詳細設定] ▶ [固定IPアドレスを使用する]**

2 **項目を選択 ▶ 情報を入力 ▶ [OK]**

Wi-Fi Direct™対応機と接続する

Wi-Fi Direct™対応機とアクセスポイントを介さずに直接接続できます。IS11LGでは「Wi-Fi Cast」を利用してデータのやりとりを行えます。(▶P.228「Wi-Fi Castを利用する」)

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [Wi-Fi Direct設定]**

2 **以下の項目をタップ**

Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct™を有効にするかどうか設定します。
デバイス名	表示されるデバイス名を入力します。
強制G/Oモード	常にグループオーナーになるかどうか設定します。

memo

- 「Wi-Fi Direct™」と「Wi-Fi®」を同時に使用することはできません。[Wi-Fi Direct] を有効にすると、「Wi-Fi®」は切断されます。
- 「Wi-Fi Direct™」と「Bluetooth®」を同時に使用することはできません。[Wi-Fi Direct] を有効にすると、「Bluetooth®」を切断する旨のメッセージが表示されます。

Bluetooth® 機能

Bluetooth® 機能は、パソコンやハンズフリー機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

Bluetooth® 機能でできること

■ オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ（ワンセグ）放送を聴くことができます。

■ ハンズフリー通話

Bluetooth® 対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth® 接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■ データ送受信

連絡先、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどをBluetooth® 対応機器と送受信できます。

memo

- IS11LGはすべてのBluetooth® 機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth® 機器との接続を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth® 標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth® 通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth® 通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth® 機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器のペア設定中（新規登録中)」「データ送受信中」「検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器とIS11LGの間に障害物（身体、金属、壁など）があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS11LGの間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合は、通話中画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

主な仕様

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.3.0
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1　通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2　Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

Bluetooth® 機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。 ペア設定をした通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP(Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP(Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP(Object Push Profile)	カーナビ、パソコンなどと連絡先データなどを送受信するためのプロファイルです。
PBAP(Phone Book Access Profile)	連絡先データを転送するためのプロファイルです。
パスキー	Bluetooth® 機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS11LGおよびBluetooth® 機器で入力する暗証番号です。 IS11LGでは、1～16桁の数字を入力できます。
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。 IS11LGでは、テレビ（ワンセグ）のことを指します。
オーディオ出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth® 機器です。 IS11LGでは、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®機能を有効にする

IS11LGでBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®を起動します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索可能状態の設定、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [Bluetooth]

ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [Bluetooth設定] ▶ [Bluetooth] にチェックを付けるか、ステータスバーを下方向にスライドしてBluetooth®アイコンをタップしても同様に操作できます。

memo

- Bluetooth®を起動すると、電池の消耗が激しくなります。
- オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。
- 「Bluetooth®」と「Wi-Fi Direct™」を同時に使用することはできません。[Bluetooth] を有効にすると、「Wi-Fi Direct™」を切断する旨のメッセージが表示されます。

■ Bluetooth®機器との接続には

Bluetooth®機器との初回接続時に、同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示されます。その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、IS11LGと接続するBluetooth®機器で接続の操作を行ってください。パスキー入力画面が表示された場合は、IS11LGと接続するBluetooth®機器で同じパスキーを入力してください。
他のBluetooth®機器からの機器検索を可能にしたい場合は、「検出可能」を有効に設定してください。

memo

- パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ハンズフリー通話について

Bluetooth® を起動した状態で、ペア設定済みのハンズフリー機器やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

- ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」／「HFP」です。
- ハンズフリーをご利用になる場合は、あらかじめ対応機器と接続してください。詳しくは、「Bluetooth® 機器を登録する」（▶P.265）をご参照ください。
- ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー着信中や通話中に音量キー（UP ／ DOWN）を押すと、ハンズフリー対応機器の着信音量や通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。
- ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth® 接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

■オーディオ機器について

Bluetooth® を起動した状態で、ペア設定済みの機器から接続要求があると自動的に接続します。

オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- ＢＧＭ再生中／ＢＧＭ受信中に画面ロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては、本体の操作で音量を調節できない場合や本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- 着信があった場合は、スピーカーでお知らせします。ハンズフリー対応のオーディオ機器の場合は、オーディオ機器から着信通知音が流れます。
- アラームなどで設定している時刻になった場合は、オーディオ機器でお知らせします。ただし、オーディオ機器で電話を受けたり通話をしたりすることはできません。スピーカーとマイクで通話してください。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth® 機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。
- テレビ（ワンセグ）の番組によっては、オーディオ機器で音を聴くことができない場合があります。

memo

- オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
- オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.265)をご参照ください。
- SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
- 音楽を聴いているときなどに電話をかけたり、かかってきた電話に出たりする場合は、オーディオ機器とハンズフリー機器、またはヘッドセット機器の両方のプロファイルに対応している必要があります。
- 500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

Bluetooth®機器を登録する

IS11LGからBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [Bluetooth設定] ▶ [デバイススキャン]

検索に応答した機器が「Bluetoothデバイス」に表示されます。

2 接続するBluetooth®機器を選択

3 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキー入力画面が表示されたときは、IS11LGとBluetooth®機器で同じパスキー(1 ～ 16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器が使用できます。
ペア設定と接続の状態は、Bluetooth®デバイスリストのBluetooth®デバイス名の下に表示されます。
Bluetooth®デバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスもあります。

memo

- ペア設定をしたBluetooth®機器がヘッドセット機器、ハンズフリー機器、オーディオ機器、キーボード機器のいずれにも対応していない場合、接続が行われません。
- Bluetooth®機器がデバイスを非公開または検索不可能に設定している場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。

■ 検索したBluetooth®機器と接続する

「デバイススキャン」で検索した機器をペアリングして接続することができます。

1 「デバイススキャン」で検索した機器をロングタッチ

2 ［ペアリングと接続］

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

各機能のメニューから、データをBluetooth®送信することができます。

例：連絡先を 1 件送信する場合

1 連絡先詳細画面 ▶［ ］▶［共有］▶［Bluetooth］

2 送信先の機器を選択

例：連絡先を複数送信する場合

1 連絡先一覧画面 ▶［ ］▶［共有］

2 連絡先を選択 ▶［共有］

全件選択する場合は、［すべて選択］▶［共有］をタップします。

3 ［Bluetooth］

4 送信先の機器を選択

memo

- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、連絡先を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている連絡先が送信されます。
- データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- データ送信時は、連絡先はvCard形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

IS11LGでデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法については、「Bluetooth®機能を有効にする」（▶P.263）をご参照ください。

1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

2 ［承諾］

memo

- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。
- 連絡先以外のデータは、1件受信のみ可能です。
- 連絡先登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
- 受信したデータは、Polaris Officeで［マイドキュメント］▶［bluetooth］▶データを選択で確認することができます。

Bluetooth® 機能の設定をする

1 ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］

2 以下の項目をタップ

Bluetooth	▶P.263「Bluetooth® 機能を有効にする」
デバイス名	他のBluetooth® 機器から検索された場合に表示されるデバイス名を編集できます。
検出可能	他のBluetooth® 機器から検出可能な状態にするかどうかを設定します。 • 有効にしてから一定時間経過すると、自動的に無効になります。
デバイススキャン	▶P.265「Bluetooth® 機器を登録する」

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS（Cメール）	P.131
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	P.270
	着信転送サービス	P.279
	割込通話サービス	P.283
	発信番号表示サービス	P.286
	番号通知リクエストサービス	P.287
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.285
	迷惑電話撃退サービス	P.288
	通話明細分計サービス	P.289

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されていません。
- お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

- お留守番サービスでは、次のとおりに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 • お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］▶［ ］

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合（留守番開始 1）

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［1］▶［ ］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守番開始 1］でも同様に操作できます。

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合（留守番開始 2）

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［3］▶［ ］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守番開始 2］でも同様に操作できます。

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始 1」で開始した場合のみ）（話中転送）

memo

- お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
- お留守番サービスと着信転送サービスを同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。

お留守番サービスを停止する

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［0］▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守番停止］でも同様に操作できます。

memo

- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
- お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 **お留守番サービスで留守応答**

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS11LGのお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.276「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 **伝言を録音**

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 **「#」を押して録音を終了**

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

［1］：録音した伝言を再生して、内容を確認する
［2］：録音した伝言を「至急扱い」にする
［9］：録音した伝言を消去して、取り消す
［＊］：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 **電話を切る**

memo

- 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［6］［1］［2］＋相手の方のau電話番号を入力 ▶［ ］**

2 **ガイダンスに従ってボイスメールを録音**

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMS（Cメール）で確認できます。
伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

- 「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次のとおりです。
- 発番情報なし：1件
- 発番情報あり：20件
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、SMS（Cメール）で確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［7］▶［ ］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守伝言再生］でも同様に操作できます。
ホーム画面 ▶［電話］▶［1］をロングタッチしても同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

［1］：同じ伝言をもう一度聞く
［2］：伝言を保存
［4］：5秒間巻き戻して聞き直す
［5］：伝言を一時停止（20秒間）※
［6］：5秒間早送りして聞く
［9］：伝言を消去
［0］：伝言再生中の操作方法を聞く
［#］：次の伝言を聞く
［＊］：前の伝言を聞く

※「終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 ［終了］

memo

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。
- 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［4］▶［ ］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［応答内容変更］でも同様に操作できます。

■「個人メッセージ」（すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージ）を録音する場合

2 ［1］▶ 3分以内で応答メッセージを録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］

■「名前指定メッセージ」（名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージ）を録音する場合

2 ［2］▶ 10秒以内で名前を録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 ［3］▶ 応答メッセージを確認 ▶［終了］

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 ［7］▶ 3分以内で応答メッセージを録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］

memo

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 応答メッセージを最後まで聞いてほしい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 海外ではご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.276「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［6］［1］［0］▶［ ］

2 ［終了］

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［6］［1］［1］▶［ ］

2 ガイダンスを確認 ▶［終了］

memo

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 海外ではご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS11LG以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記の××××には、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411 ／ 1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS11LGの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.29）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［9］［1］▶［ ］

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 ［終了］

memo

- ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- 海外ではご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［9］［0］▶［ ］

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 ［終了］

memo

- 海外ではご利用になれません。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の３つから選択できます。

memo

- 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- 着信転送サービスとお留守番サービスを同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- 無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次のとおりです。
  ① 話中転送
  ② 無応答転送
- 無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS11LGまでの通話料	有料 • 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS11LGから転送先までの通話料	有料 • お客様のご負担となります。 • 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力 ▶［ ］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［無応答転送］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［1］［2］▶［ ］と操作して設定できます。
- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［3］＋転送先電話番号を入力 ▶［ ］

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［話中転送］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［1］［3］▶［ ］と操作して設定できます。
- 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［4］＋転送先電話番号を入力 ▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［フル転送］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［1］［4］▶［ ］と操作して設定できます。
- フル転送を設定している場合は、お客様のIS11LGは呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶ 転送の種類によって、それぞれの番号を入力 ▶［ ］**

［1］［4］［2］［2］：無応答転送

［1］［4］［2］［3］：話中転送

［1］［4］［2］［4］：フル転送

2 **転送先電話番号を入力**

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

3 **［終了］**

memo

- au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［0］▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［転送停止］でも同様に操作できます。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS11LG以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送）、転送停止ができます。

1 **090-4444-XXXXに電話をかける**

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 **ご利用のIS11LGの電話番号を入力**

3 **暗証番号（4桁）を入力**

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.29）をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- 新規にご加入いただいた際にはサービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。
- IS11LGはデータ通信を頻繁に行うため、割込通話サービスを停止していると着信を受けられない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［5］［1］▶［ ］

memo

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.288）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 海外ではご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［5］［0］▶［ ］

memo

- 「最大9.2Mbpsエリア／3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定どおりに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定どおりに動作します。
- 海外ではご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 ［電話に出る］を右にドラッグ

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
［通話転換］をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

- 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは（オプションサービス）

大事な用件など割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［5］［2］＋相手先電話番号を入力▶［ ］

memo

- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
- 割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう１人に電話をかけて、３人で同時に通話できます。
例：Ａさんと通話中に、Ｂさんに電話をかけて３人で通話する場合

1 **Ａさんと通話中に［ダイヤル］▶Ｂさんの電話番号を入力**

通話中に［ ］▶［通話を追加］で、通話中に連絡先や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 **［ ］**

通話中のＡさんとの通話が保留になり、Ｂさんを呼び出します。

3 **Ｂさんと通話**

4 **［グループ通話］**

３人で通話できます。「終了」をタップすると、Ａさんとの電話とＢさんとの電話が両方切れます。

memo

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう１人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、ＡさんとＢさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではＡさんとの通話、Ｂさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話中は、SMS（Cメール）を送ることはできません。
- 三者通話の２人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様のIS11LGのディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- 発信者番号（IS11LGの電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がIS11LGのディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Payphone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直してほしいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.288）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［4］［8］［1］ ▶ ［ ］

2 ［終了］

memo

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS（Cメール）
  - その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［4］［8］［0］ ▶ ［ ］

2 ［終了］

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

- お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービス、番号通知リクエストサービスのそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面 ▶ [電話] ▶ [1] [4] [4] [2] ▶ [ ]

2 [終了]

memo

- 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
- 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- 次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
  - 警察、消防機関、海上保安本部
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS（Cメール）
- 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
- 受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- 受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
  - SMS（Cメール）
  - 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1. ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［4］［8］▶［ ］
2. ［終了］

memo

- 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
- 海外ではご利用になれません。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1. ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［4］［9］▶［ ］
2. ［終了］

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1. ホーム画面▶［電話］▶［1］［3］［1］＋相手先電話番号を入力▶［ ］

memo

- 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
- フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、SMS（Cメール）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
- 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポートCDMA

グローバルパスポートについて

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のIS11LGをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。

- いつもの電話番号のまま、世界のCDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

- 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ IS11LGを盗難・紛失したら

- 海外でIS11LGを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- IS11LGに挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.29「PINコードについて」）

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、［ 📞 ］をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS11LGを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [PRL更新] ▶ [PRLバージョンを更新する]

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

memo

- PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。
- 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

IS11LGを使用するエリアを設定します。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [エリア設定]

2 以下の項目をタップ

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
自動切替（日本／海外）	海外でご利用になる場合（PRLに従って自動設定）に設定します。

memo

- 「エリア設定」を「自動切替（日本／海外）」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [データローミング]**

「OK」を選択すると、データローミングが有効になります。

memo

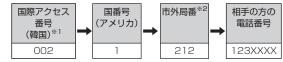
- データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」を「自動切替（日本／海外）」に設定してください。
- IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円、税込）と別途通信料がかかります。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。
例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 **ホーム画面 ▶ [電話]**

2 **国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶ [ ]**

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- 電話をかける相手の方がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

渡航先から連絡先を使用して日本に電話をかける

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［連絡先］

2 連絡先を選択

3 利用する電話番号の右にある 📞 をタップ

国際電話画面が表示されます。

4 ［日本］

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の方の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面 ▶［電話］

2 電話番号を入力

渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」＋市外局番＋相手の方の電話番号
ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	市外局番＋相手の方の電話番号
メキシコ	**■ 市内通話の場合** 相手の方の電話番号 **■ 市外通話の場合** 「01」＋市外局番＋相手の方の電話番号

3 ［📞］

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

- 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ **日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合**

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ **日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合**

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 **国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力 ▶ [ ]**

海外利用

付録・索引

付録

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（LGI11UAA）

■ ACアダプタ（LGI11PQA）※

■ auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)

■ microUSBケーブル01（0301HVA）(別売)

■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）(別売)

■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）(別売)

■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）(別売)

■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）(別売)

※ IS11LGでご使用になる場合は、microUSBケーブルと接続する必要があります。

memo

- 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- 本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
  http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
[電源キー] を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.40
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.37
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.22
	[電源キー] を長押ししていますか？	P.43
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.40
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.40
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.43
	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか?)	P.75
	電話番号入力後、[[発信]] を選択していますか？	P.75
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.292
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.241

付録・索引

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.58
	電源は入っていますか？	P.43
	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.292
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.242
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.241
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.279
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.58
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.36
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.292
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.59
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.257
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.241

こんなときは	ご確認ください	参照
ディスプレイは点灯するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.243
	マナーモードに設定されていませんか？	P.244
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.41 P.42
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.37
	「USB充電」の設定は有効になっていますか？	P.235
キー／タッチパネルの操作ができない	「画面ロック」が設定されていませんか？	P.245
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.43
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	IS11LGに大量のデータが保存されているときや、IS11LGとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.237
au ICカード(UIM)エラー表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.40 P.58

こんなときは	ご確認ください	参照
電池の使用時間が短い	十分に充電されていますか？	P.58
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.18
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.58
	使用していないアプリケーションや機能を終了・停止してみてください。	P.54 P.197
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.58
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
ディスプレイの照明がすぐ消える	「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？	P.244
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.244
	明るい場所で操作していませんか？ 周囲が明るいとバックライトは点灯しません。	P.244
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.75
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.35
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？奥までしっかり挿入してください。	—
テレビ（ワンセグ）が、映らない、映像が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送波は十分に届いてますか？	P.179
	テレビアンテナを伸ばしていますか？	P.179
	視聴している場所が選択している地域と合っていますか？	P.180
	電池残量が不足していませんか？	P.179 P.58

こんなときは	ご確認ください	参照
連絡先の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。また、連絡先のグループ音声着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上連絡先に登録されていませんか？	P.84
画像がウェブページに表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.153
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.233
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.237
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.156 P.40
	本体の温度が高くなっていませんか？	P.156

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。
一般電話からは
0077-7-111（通話料無料）
au 電話からは
局番なしの157（通話料無料）

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
更新は、次の方法があります。

- IS11LG本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続してソフトウェアをIS11LGに転送して更新する

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用してIS11LGからインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、IS11LGをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS11LGをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェアの更新に失敗することがあります。

・ソフトウェアを更新しても、IS11LGに登録された各種データ（連絡先、メール、フォト、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。ただし、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

・ソフトウェア更新中に電池パックを取り外さないでください。電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
・ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について

・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

・ソフトウェア更新に失敗すると、IS11LGが使用できなくなる場合があります。IS11LGが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

パケット通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、IS11LGから直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 ホーム画面▶［ ］▶［設定］▶［デバイス情報］▶［ソフトウェア更新］▶［アップデートを確認］

新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

2 通信方式を選択

ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

3 ［ダウンロード］

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

4 ［インストールする］

ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中はIS11LGの再起動を1、2回ほど行います。

5 ［OK］

■ソフトウェア更新をWi-Fi®のみでダウンロードする場合

ホーム画面▶［ ］▶［設定］▶［デバイス情報］▶［ソフトウェア更新］▶［アップデートを確認］▶［Wi-Fi接続でダウンロード］と操作します。Wi-Fi®通信を利用して更新する場合、Wi-Fi®通信が不安定になると自動的にパケット通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動確認する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動確認します。更新がある場合、ステータスバーに が表示されます。

1 ホーム画面▶［ ］▶［設定］

2 ［デバイス情報］▶［ソフトウェア更新］

3 「自動確認」にチェックを入れる

memo

- 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

PC Suite（▶P.254）を利用してIS11LGのソフトウェアを更新できます。

1 パソコンで、PC Suiteを起動する

2 PC Suiteで、［デバイス］▶［デバイス接続］▶［USB接続ケーブル］

3 IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続する

4 USB接続モード画面 ▶［PC接続］

5 PC Suiteで、［デバイス］▶［デバイスソフトウェアのアップグレード］

6 パソコンの画面に従って操作

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのIS11LG本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

※ アフターサービスの内容変更を予定しております。詳細については、au ホームページでお知らせいたします。

memo

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　　　フリーコール 0077-7-113（通話料無料）

au電話からは　　　　局番なしの113（通話料無料）

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
①保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
②修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引（無料）	お客様負担額 5,250円（税込）
③水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円（税込）	お客様負担額 10,500円（税込）
④紛失時あんしんサービス	新しいau電話購入代金 最大18,900円（税込）OFF	新しいau電話購入代金 最大6,300円（税込）OFF
⑤電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント	なし

修理代金割引サービス

- 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

- 「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。
- お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

- ご購入から同一のau電話を１年以上継続利用経過時に１個、３年以上継続利用経過時に１個の電池パックを無料で提供いたします。（合計２回まで）
- 電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後１年〜２年までの間、３年〜４年までの間の計２回（各１個の提供）となります。

無事故ポイントパック

- 「修理代金割引サービス」「水濡れ･全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から１年間※同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。
  ※ １年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

画像・ムービー・音楽・その他の詳細情報

データの登録先一覧

データの種類と登録先の対応は次のとおりです。

■ 画像の登録先一覧

データの種類＼登録先		壁紙画像	通話中背景画像	メール送信中画像	メール受信中画像	連絡先の連絡先画像	プロフィール画像
JPEG	jpg/jpeg	○	―	―	―	○	○
デコレーション絵文字 (JPEG)	jpg/jpeg	○	―	―	―	○	○
GIF	gif	○	―	―	―	○	○
デコレーション絵文字 (GIF)	gif	○	―	―	―	○	○
Image:PNG	png	○	―	―	―	○	○
Image:BMP	bmp	○	―	―	―	○	○
Image:WBMP	wbmp	○	―	―	―	○	○

○:登録可能

memo

- 著作権保護が設定されているデータは、登録できない場合があります。
- データの種類や形式、容量、サイズにより登録操作は異なります。

■ 音の登録先一覧

データの種類＼登録先		アラーム音	音声着信音	メール受信音	通知音
Audio:AMR（1 ～ 2ch）	amr	○	○	○	○
Audio:MP3（1 ～ 2ch）	mp3	○	○	○	○
Audio:WMA（1 ～ 2ch）	wma	○	○	○	○
Audio:ogg（1ch）	ogg	○	○	○	○
Audio:AAC（1 ～ 2ch）	aac	○	○	○	○

○:登録可能

memo

- 著作権保護が設定されているデータは、登録できない場合があります。
- データの種類や形式、容量によっては、登録できない場合があります。
- データの種類により登録操作は異なります。

表示／再生できる画像・ムービー

データの種類	拡張子
画像	.jpg、.jpeg、.png、.bmp、.wbmp、.gif
ムービー	.asf、.avi、.mp4、.3gp、.wmv

memo

- サイズによっては表示／再生できない場合があります。

主な仕様

項目		仕様
ディスプレイ		約4.0インチ、約1677万色、IPS液晶
		800×480ドット（WVGA）
質量		約130g（電池パック含む）
連続通話時間	国内	約500分
	海外	約530分:アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／ニュージーランド／タイ／マカオ／バングラデシュ／バミューダ諸島／バハマ／ベネズエラ／香港 • 対象国は2011年11月時点
連続待受時間	国内	約250時間（3G使用時）
		約160時間（3GおよびWi-Fi®機能使用時）
	海外	約300時間：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土 約360時間：ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港 約400時間：ニュージーランド／タイ／マカオ／バミューダ諸島／ベネズエラ • 対象国は2011年11月時点
サイズ （幅×高さ×厚さ）		約64mm×118mm×9.9mm（最厚部約10.2mm）

memo

- 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 充電時間

充電時間	約160分

■ 無線LAN（Wi-Fi®）

通信方式	IEEE802.11b/g/n準拠
使用周波数帯	2.4GHz帯

■ Bluetooth®

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.3.0
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

■ SMS（Cメール）／Eメール

SMS（Cメール）	メールセンター	保存件数	無制限センターに蓄積されてから72時間まで
Eメール	新規作成	宛先	30件（To／Cc／Bccを含む）
		件名	全角50／半角100文字
		本文	全角約5,000／半角10,000文字
		添付データ	最大5件（合計2MB以下）
	受信	件名	全角約50/半角約100文字
		本文	全角約5,000／半角約10,000文字
		添付データ	最大2MB
	サーバ	保存容量	12MBまたは最大500件
		保存期間	30日
受信ボックス		保存件数	最大2,000件※
送信ボックス		保存件数	最大1,000件※

※ 本体の空き容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります

memo

- Eメール送信数は1日最大1,000通（同報宛先数を含む）までです。

■ アウトカメラ

撮影素子		CMOS	
有効画素数		約800万画素	
フォト	撮影サイズ	QVGA 320×240	8倍ズーム／15段階
		VGA 640×480	
		1M 1,280×960	
		2M 1,600×1,200	
		3M 2,048×1,536	
		5M 2,560×1,920	
		8M 3,264×2,448	
ムービー	撮影サイズ	QCIF 176×144	8倍ズーム／15段階
		QVGA 320×240	
		VGA 640×480	
		TV 720×480	
		HD 1,280×720	
		Full HD 1,920×1,088	

■ インカメラ

撮影素子		CMOS	
有効画像数		約30万画素	
フォト	撮影サイズ	VGA 640×480	ズームなし
ムービー	撮影サイズ	QCIF 176×144	ズームなし
		QVGA 320×240	
		VGA 640×480	

■ 本体内の容量

保存可能容量	約2.5GB

※ アプリケーションの専用保存領域です。

■ テレビ（ワンセグ）

連続視聴可能時間	約4時間20分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【IS11LG】の携帯電話は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR : Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.774W/kgです。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI 推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。

KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/
○LG Electronics Inc.のホームページ:
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です（2011年3月現在）。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.51 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.40 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID ZNFIS11LG.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSD、microSDHCは、SDアソシエーションの商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Androidマーケット、Androidマーケットロゴ、Gmail、Googleマップ、Googleトーク、YouTubeおよびYouTubeロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- © Gracenote, Inc. 2012-present
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。

  Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:

  http://www.gracenote.com/

  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:

  Copyright© 2000 - present Gracenote.

  Gracenote Software:

  Copyright© 2000 - present Gracenote.

  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:

  #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、

  #6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、

  およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。

  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。

  Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:

  http://www.gracenote.com/corporate/
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Copyright © 2010-2011 Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player 、Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。
  - Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved

  - Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing LLC.の商標または、登録商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】
Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
【Original SSLeay License】
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,L.L.C.にお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。
お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。
お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。
Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。**

  Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

索引

英数字

あ

か

な

は

ま

や

ら

わ

お客様各位

このたびは、IS11LGをご買い上げいただき、誠にありがとうございました。
IS11LG 取扱説明書（詳細版）の記載内容に誤りがございましたのでお詫び申し上げますと共に、以下の内容を訂正させていただきます。

■microSDメモリカードを利用する／■取扱上のご注意（P.233）

誤：

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	-	○	○	○
Panasonic	○	○	○	-	-
Lexar	○	○	○	○	-
Transcend	-	-	○	○	-
ELECOM	-	○	-	-	-
ソニー	-	○	○	-	-
IODATA	○	-	-	-	-

正：

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	-	○	○	○
Panasonic	○	○	○	-	-
Lexar	○	○	○	○	-
Transcend	-	-	○	○	-
ELECOM	-	○	-	-	-
ソニー	-	○	○	-	-
IO-DATA	○	-	-	-	-

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま〜す！

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい〜な〜

取説も生まれかわるよ！

3

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号　お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（通話料無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）

フリーコール 0120-977-699（沖縄）

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。取扱説明書リサイクルにご協力ください。このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

発売元　KDDI株式会社
　　　　沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　LG Electronics Japan株式会社
製造元　LG Electronics Inc.

2012年4月 第3版
MFL67375001